

小金井市農業振興計画の策定に関する  
農業者アンケート調査  
報告書

令和3年8月

小金井市

## もくじ

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施概要	1
3	回収状況	1
4	留意事項	1
II	調査結果	2
1	販路に関する現状や取組意向	2
(1)	販路について	2
(2)	販売方法について	4
(3)	今後の販売意向	8
(4)	新しい取組への関心・実施意向	10
2	自身の農園での直売所（庭先直売所）について	12
(1)	直売所（庭先直売所）の所有状況	12
(2)	参加したい支援事業	24
3	今後の営農意向について	26
(1)	現在の年間農業所得	26
(2)	年間農業所得の目標額	29
(3)	10年先の農地利用の規模	32
(4)	相続について	36
(5)	後継者の状況	38
(6)	今後の担い手・労働力について	41
4	新型コロナウイルス感染拡大による影響について	43
(1)	農業分野の売上への影響	43
(2)	農業経営への影響	45
(3)	ウィズコロナの時代における農業経営	47
5	農業施策について	48
(1)	農業振興計画の認知度	48
(2)	小金井市の農業をよりよくするための取組	49
6	あなた自身について	52
(1)	営農地区	52
(2)	年齢	53
(3)	所得構成	54
(4)	営農形態	56
(5)	所有している農地の利用状況	57
(6)	耕作している農地面積	59
(7)	農業従事者の人数	61
7	小金井市農業を発展させるアイデアについて（自由意見）	67

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 23 年 3 月に改定した小金井市農業振興計画が改定から 10 年を迎え、小金井市の農業を取り巻く環境も大きく変わっていることから、小金井市農業振興計画を策定するにあたり、市民の市内農業・農地に対するお考えうかがうことを目的に実施した。

## 2 調査の実施概要

- 調査対象：市内の農業者
- 配布数：161 人
- 調査方法：農業委員による直接配布・直接回収
- 調査期間：令和 3 年 7 月 1 日（木）～7 月 20 日（火）

## 3 回収状況

- 回収数：151 票（回収率 93.8%）
- 有効回収数：147 票【白票 4 票】（有効回収率 91.3%）

## 4 留意事項

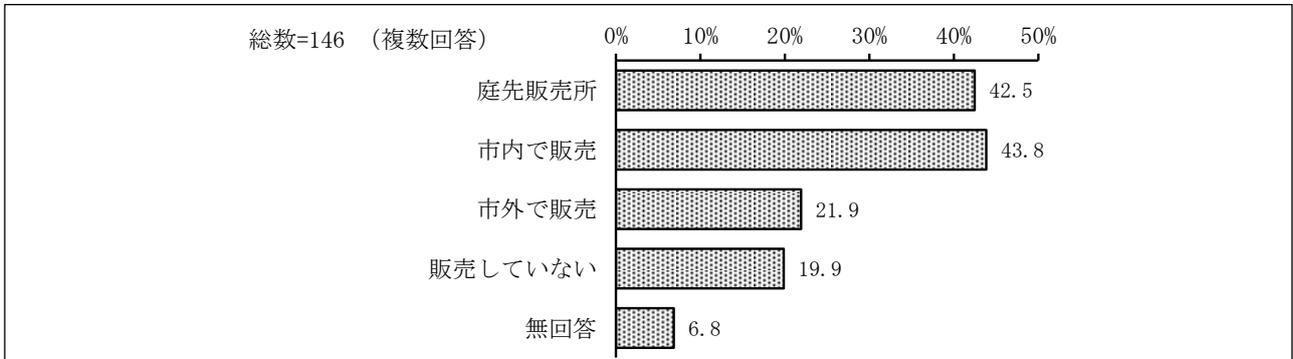
- 回答の比率は、総数を 100%として算出し、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答の質問は、回答者数（＝総数）を分母として比率を算出しているため、合計が 100%を超える場合がある。
- 属性別の記述では、原則として全体の集計結果や他の属性項目と比較して、特徴又は傾向がみられるものを記述の対象としている。

## II 調査結果

### 1 販路に関する現状や取組意向

#### (1) 販路について

あなたの販路について、あてはまるものすべてに○印をつけてください。



「市内で販売」(43.8%)、「庭先販売所」(42.5%)が40%台が多い。「市外で販売」や「販売していない」は20%前後となっている。

#### ■属性別■

##### 【地区】

〈中心エリア(緑町・本町)〉では「庭先販売所」及び「市内で販売」の比率が他の地区に比べて多い。

##### 【年齢】

〈60代〉では「市内で販売」及び「市外で販売」が他の年齢層に比べて多い。また、〈80歳以上〉では「販売していない」が30%台と多い。

##### 【営農形態】

〈露地野菜を中心とした経営〉では「庭先販売所」が約70%と多い。また、〈植木・造園を中心とした経営〉では「市外で販売」が他の営農形態に比べて多い。

##### 【耕作面積】

「庭先販売所」及び「市内で販売」は〈50a～1ha(5反～1町歩)未満〉をピークに、耕作面積が大きいほど多い傾向がみられる。「販売していない」は耕作面積が小さいほど多い傾向がみられる。

##### 【現在の年間農業所得】

「市内で販売」及び「市外で販売」は年間農業所得が高いほど多い傾向がみられる。「庭先販売所」は50～200万円未満で60%前後と多い。

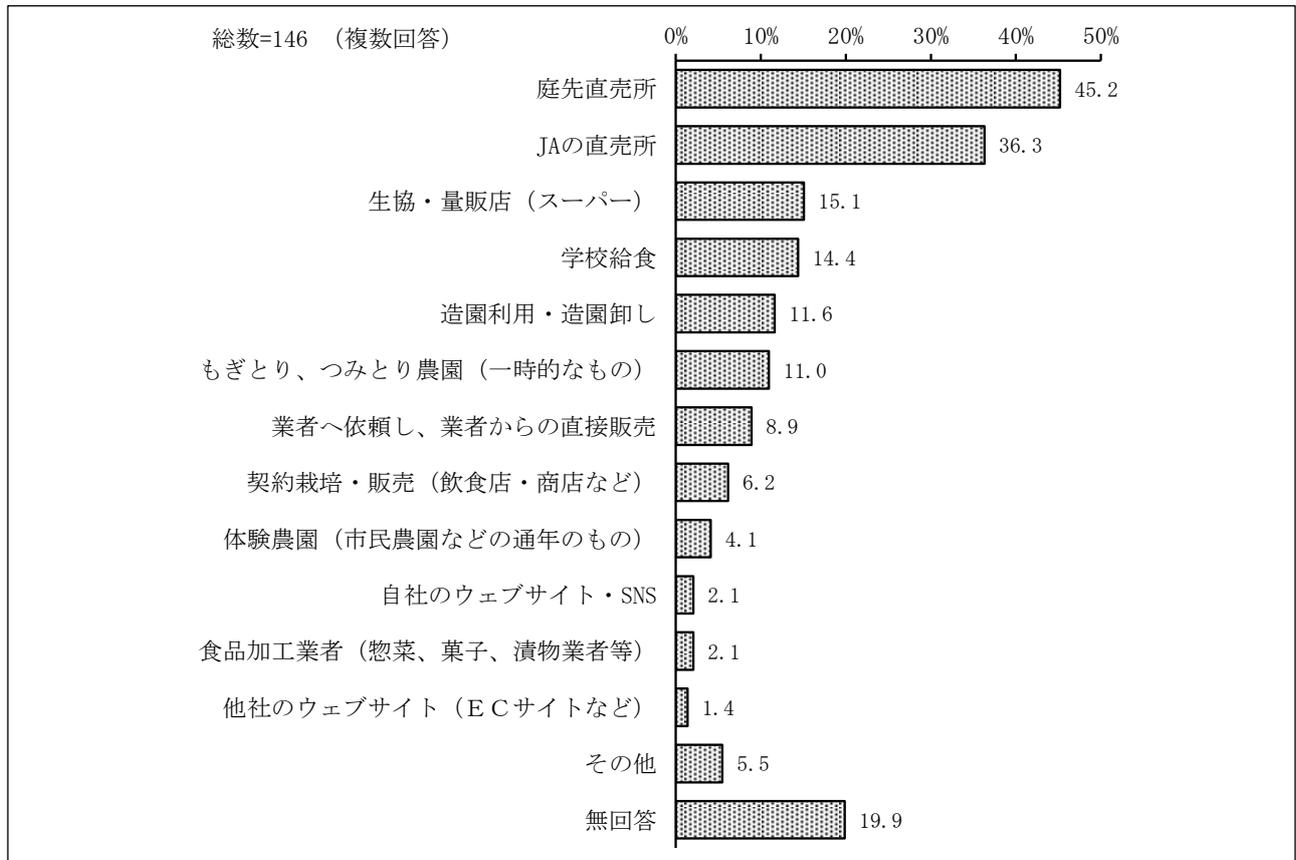
		全体	庭先販売所	市内で販売	市外で販売	販売していない	無回答
全体		146	<b>42.5</b>	<b>43.8</b>	<i>21.9</i>	19.9	6.8
地区	北東エリア(関野町・梶野町)	25	<b>48.0</b>	<b>52.0</b>	<i>24.0</i>	16.0	-
	中心エリア(緑町・本町)	27	<b>55.6</b>	<b>40.7</b>	<i>29.6</i>	7.4	7.4
	北西エリア(桜町・貫井北町)	20	<b>45.0</b>	<b>55.0</b>	<i>25.0</i>	15.0	10.0
	南東エリア(東町・中町)	29	<b>41.4</b>	<b>48.3</b>	<i>17.2</i>	<i>17.2</i>	3.4
	南西エリア(前原町・貫井南町)	28	46.4	<b>46.4</b>	17.9	17.9	7.1
	市外	3	-	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	<b>66.7</b>	-
年齢	60歳未満	25	<b>48.0</b>	<b>56.0</b>	<i>24.0</i>	20.0	-
	60代	49	<b>42.9</b>	<b>65.3</b>	<i>40.8</i>	10.2	4.1
	70代	39	<b>46.2</b>	<b>35.9</b>	10.3	<i>15.4</i>	7.7
	80歳以上	29	<b>34.5</b>	<i>13.8</i>	6.9	<b>34.5</b>	17.2
営農形態	露地野菜を中心とした経営	52	<b>69.2</b>	<b>40.4</b>	<i>17.3</i>	3.8	7.7
	施設野菜を中心とした経営	11	<b>45.5</b>	<b>90.9</b>	<i>27.3</i>	-	-
	果樹を中心とした経営	15	<b>40.0</b>	<b>46.7</b>	6.7	6.7	20.0
	野菜と果樹の混合経営	16	<b>43.8</b>	<b>56.3</b>	6.3	<i>18.8</i>	-
	花きを中心とした経営	3	<i>33.3</i>	<b>66.7</b>	<b>100.0</b>	-	-
	植木・造園を中心とした経営	29	<i>13.8</i>	<b>51.7</b>	<b>44.8</b>	<i>31.0</i>	6.9
	その他	3	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	-
耕作面積	10a(1反)未満	27	<b>37.0</b>	<i>22.2</i>	11.1	<b>25.9</b>	14.8
	10~30a(1~3反)未満	47	<b>42.6</b>	<b>31.9</b>	14.9	<i>21.3</i>	8.5
	30~50a(3~5反)未満	30	<b>46.7</b>	<b>63.3</b>	<i>36.7</i>	13.3	3.3
	50a~1ha(5反~1町歩)未満	22	<b>59.1</b>	<b>72.7</b>	<i>18.2</i>	9.1	-
	1ha(1町歩)以上	10	<i>30.0</i>	<b>60.0</b>	<b>70.0</b>	10.0	-
	耕作していない	4	-	-	-	<b>100.0</b>	-
現在の年間農業所得	なし(自家用のみ)	26	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	-	<b>88.5</b>	7.7
	50万円未満	45	<b>42.2</b>	<b>40.0</b>	<i>17.8</i>	6.7	11.1
	50~100万円未満	27	<b>63.0</b>	<b>40.7</b>	<i>7.4</i>	<i>7.4</i>	7.4
	100~200万円未満	19	<b>57.9</b>	<b>63.2</b>	<i>36.8</i>	5.3	-
	200~300万円未満	13	<i>46.2</i>	<b>84.6</b>	<b>53.8</b>	-	-
	300万円以上	9	<i>44.4</i>	<b>77.8</b>	<b>66.7</b>	-	-

※凡例：**99.9** (太文字・下線)：第1位、**99.9** (太文字)：第2位、*99.9* (斜体)：第3位

## (2) 販売方法について

### 1) 現在の販売方法

現在の販売方法についておうかがいします。(いくつでも○)



「庭先販売所」が45.2%で最も多く、以下、「JAの直売所」(36.3%)、「生協・量販店(スーパー)」(15.1%)、「学校給食」(14.4%)などが続いている。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

60代以下では「JAの直売所」が他の年齢層に比べて多い。また、〈60歳未満〉では「もぎとり、つみとり農園(一時的なもの)」が30%台と多い。

##### 【営農形態】

〈露地野菜を中心とした経営〉では「庭先販売所」が約70%と多い。また、〈施設野菜を中心とした経営〉では「学校給食」や「契約栽培・販売(飲食店・商店など)」が他の営農形態に比べて多い。

##### 【耕作面積】

「庭先販売所」及び「JAの直売所」は〈30~50a(3~5反)未満〉及び〈50a~1ha(5反~1町歩)未満〉で50%以上と多い。

##### 【現在の年間農業所得】

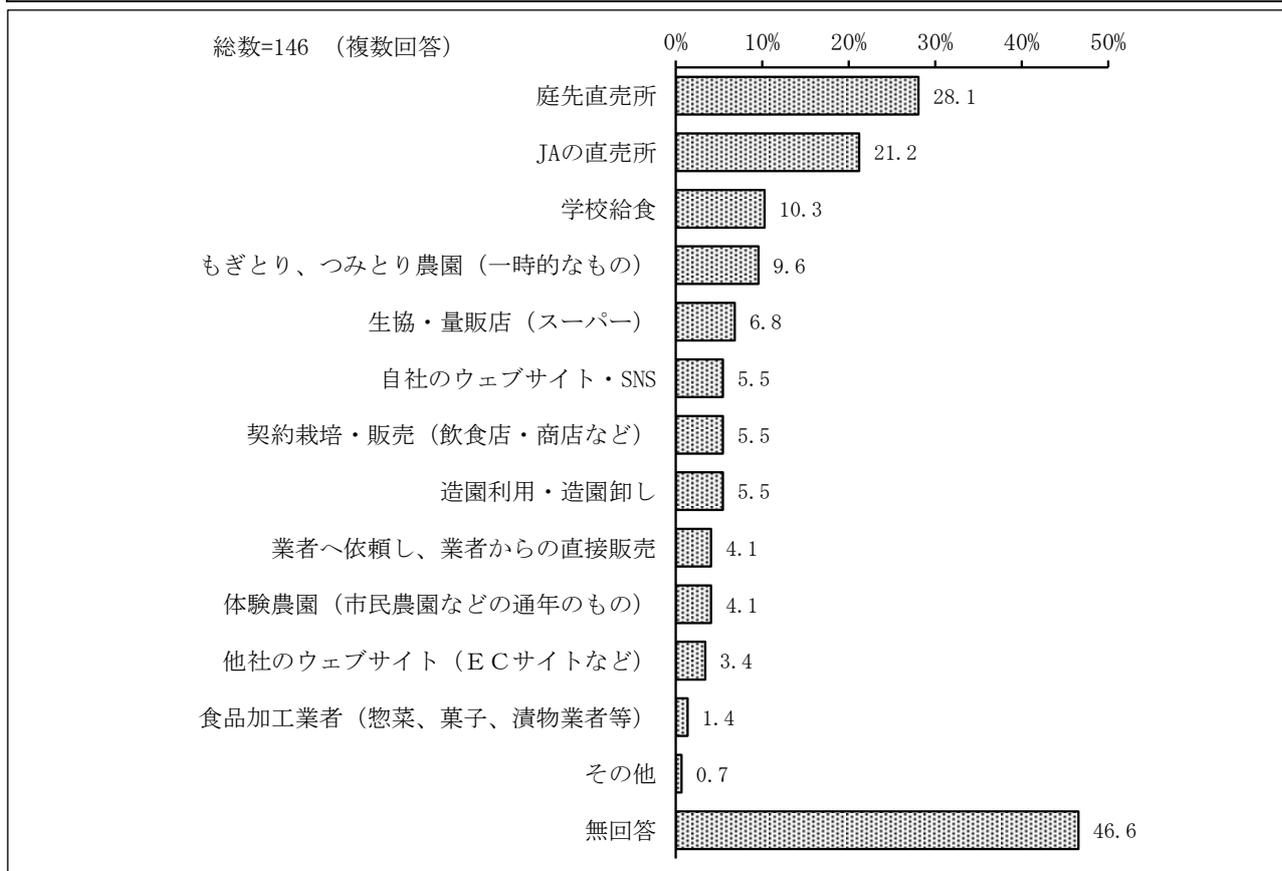
「JAの直売所」「生協・量販店(スーパー)」「学校給食」は〈200~300万円未満〉を中心に比較的農業所得が高い層で多い傾向がみられる。

		全体	庭先直売所	自社のウェブサイト・SNS	J A の直売所	生協・量販店（スーパー）	食品加工業者（惣菜、菓子、漬物業者等）	業者へ依頼し、業者からの直接販売	契約栽培・販売（飲食店・商店など）	学校給食	体験農園（市民農園などの通年のもの）	もぎとり、つみとり農園（一時的なもの）	造園利用・造園卸し	他社のウェブサイト（ECサイトなど）	その他	無回答
	全体	146	<b>45.2</b>	2.1	<b>36.3</b>	15.7	2.1	8.9	6.2	14.4	4.1	11.0	11.6	1.4	5.5	19.9
年齢	60歳未満	25	<b>48.0</b>	4.0	<b>44.0</b>	16.0	8.0	20.0	8.0	12.0	8.0	<i>32.0</i>	16.0	8.0	4.0	16.0
	60代	49	<b>42.9</b>	4.1	<b>51.0</b>	<i>26.5</i>	-	8.2	12.2	20.4	4.1	6.1	16.3	-	6.1	12.2
	70代	39	<b>53.8</b>	-	<b>28.2</b>	12.8	2.6	10.3	-	<i>20.5</i>	5.1	5.1	7.7	-	5.1	15.4
	80歳以上	29	<b>37.9</b>	-	<b>20.7</b>	-	-	-	3.4	-	-	<i>10.3</i>	3.4	-	6.9	37.9
営農形態	露地野菜を中心とした経営	52	<b>69.2</b>	-	<b>36.5</b>	21.2	-	7.7	7.7	<i>25.0</i>	5.8	11.5	-	1.9	3.8	7.7
	施設野菜を中心とした経営	11	<i>54.5</i>	9.1	<b>90.9</b>	<b>81.8</b>	9.1	9.1	36.4	45.5	-	9.1	-	-	-	-
	果樹を中心とした経営	15	<b>46.7</b>	13.3	<i>33.3</i>	-	6.7	-	-	-	-	<b>40.0</b>	-	-	6.7	20.0
	野菜と果樹の混合経営	16	<b>50.0</b>	-	<b>56.3</b>	6.3	6.3	6.3	6.3	<i>18.8</i>	12.5	12.5	6.3	-	6.3	18.8
	花きを中心とした経営	3	<b>33.3</b>	-	<b>66.7</b>	-	-	<b>33.3</b>	-	-	-	-	-	-	<b>33.3</b>	-
	植木・造園を中心とした経営	29	13.8	-	<b>27.6</b>	3.4	-	<i>20.7</i>	-	-	3.4	-	<b>51.7</b>	3.4	3.4	24.1
	その他	3	<b>33.3</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>33.3</b>	-	-	-	33.3
耕作面積	10a（1反）未満	27	<b>40.7</b>	-	<b>11.1</b>	-	3.7	-	-	3.7	-	3.7	3.7	-	7.4	40.7
	10～30a（1～3反）未満	47	<b>42.6</b>	-	<b>31.9</b>	<i>12.8</i>	-	4.3	6.4	10.6	2.1	6.4	4.3	2.1	8.5	23.4
	30～50a（3～5反）未満	30	<b>53.3</b>	6.7	<b>53.3</b>	<i>26.7</i>	6.7	<i>26.7</i>	16.7	20.0	10.0	10.0	20.0	-	6.7	3.3
	50a～1ha（5反～1町歩）未満	22	<b>59.1</b>	-	<b>50.0</b>	18.2	-	9.1	-	<i>27.3</i>	4.5	<i>27.3</i>	13.6	-	-	9.1
	1ha（1町歩）以上	10	<b>40.0</b>	10.0	<b>40.0</b>	<b>40.0</b>	-	10.0	10.0	30.0	-	20.0	<b>40.0</b>	10.0	-	-
	耕作していない	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>25.0</b>	-	-	75.0
現在の年間農業所得	なし（自家用のみ）	26	<b>3.8</b>	-	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	-	<b>11.5</b>	-	<b>3.8</b>	-	<b>3.8</b>	-	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	84.6
	50万円未満	45	<b>44.4</b>	2.2	<b>33.3</b>	6.7	6.7	6.7	6.7	4.4	4.4	<i>15.6</i>	8.9	-	13.3	8.9
	50～100万円未満	27	<b>70.4</b>	-	<b>33.3</b>	-	-	3.7	3.7	7.4	3.7	<i>14.8</i>	<i>14.8</i>	3.7	-	3.7
	100～200万円未満	19	<b>52.6</b>	5.3	<b>63.2</b>	<i>31.6</i>	-	5.3	10.5	<i>31.6</i>	10.5	10.5	10.5	-	-	5.3
	200～300万円未満	13	<b>53.8</b>	-	<b>76.9</b>	<i>46.2</i>	-	23.1	7.7	<i>46.2</i>	-	7.7	30.8	-	7.7	-
	300万円以上	9	<b>55.6</b>	11.1	<b>55.6</b>	<b>55.6</b>	-	11.1	11.1	33.3	11.1	-	11.1	-	-	-

※凡例：**99.9**（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

## 2) 今後力を入れたい販売方法

今後重視したい販売方法についておうかがいします。(いくつでも○)



今後重視したい販売方法では、「庭先販売所」(28.1%)、「JAの直売所」(21.2%)と上位2位までの順位は現在の販売方法と同じだが、「学校給食」(10.3%)、「もぎとり、つみとり農園(一時的なもの)」(9.6%)、「自社のウェブサイト・SNS」(5.5%)は順位が上がっている一方、「生協・量販店(スーパー)」(6.8%)、「造園利用・造園卸し」(5.5%)などは順位を下げている。

### ■属性別■

#### 【年齢】

〈60歳未満〉では「学校給食」及び「もぎとり、つみとり農園(一時的なもの)」が20%と他の年齢層に比べて多い。

#### 【営農形態】

〈露地野菜を中心とした経営〉や〈野菜と果樹の混合経営〉では「庭先販売所」が約40%台と多い。また、〈施設野菜を中心とした経営〉では「学校給食」、「食品加工業者(惣菜、菓子、漬物業者等)」、「契約栽培・販売(飲食店・商店など)」が他の営農形態に比べて多い。

#### 【耕作面積】

〈50a～1ha(5反～1町歩)未満〉では「庭先販売所」、「JAの直売所」、「学校給食」などの比率が他の属性に比べて多い。

#### 【現在の年間農業所得】

全体結果と回答傾向に大きな違いはないが、100万円以上の所得層では「学校給食」が20%以

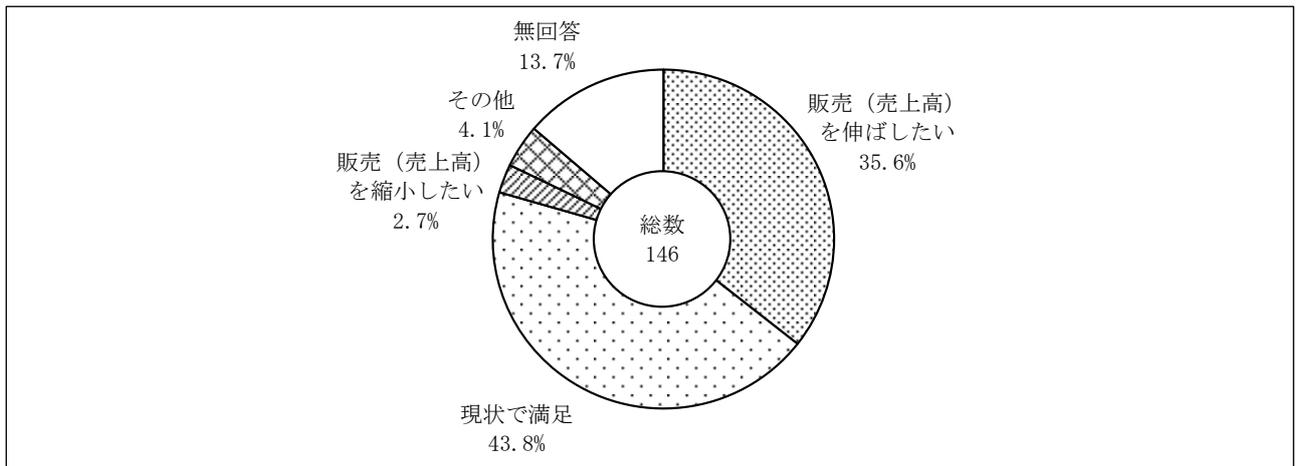
上と他の属性に比べて多い。

		全体	庭先直売所	自社のウェブサイトで・SNS	J A の直売所	生協・量販店（スーパー）	食品加工業者（惣菜、菓子、漬物業者等）	業者へ依頼し、業者からの直接販売	契約栽培・販売（飲食店・商店など）	学校給食	体験農園（市民農園などの通年のもの）	もぎとり、つみとり農園（一時的なもの）	造園利用・造園卸し	他社のウェブサイトで（ECサイトなど）	その他	無回答
全体		146	<b>28.1</b>	5.5	<b>21.2</b>	6.8	1.4	4.1	5.5	<i>10.3</i>	4.1	9.6	5.5	3.4	0.7	46.6
年齢	60歳未満	25	<b>24.0</b>	4.0	<b>28.0</b>	12.0	4.0	16.0	4.0	<i>20.0</i>	4.0	<i>20.0</i>	-	12.0	4.0	40.0
	60代	49	<b>28.6</b>	<i>12.2</i>	<b>22.4</b>	6.1	-	-	<i>12.2</i>	8.2	4.1	<i>12.2</i>	<i>12.2</i>	2.0	-	36.7
	70代	39	<b>35.9</b>	-	<b>28.2</b>	10.3	2.6	5.1	-	<i>12.8</i>	7.7	5.1	2.6	2.6	-	43.6
	80歳以上	29	<b>20.7</b>	<i>3.4</i>	<b>6.9</b>	-	-	-	<i>3.4</i>	<i>3.4</i>	-	<i>3.4</i>	<i>3.4</i>	-	-	69.0
営農形態	露地野菜を中心とした経営	52	<b>42.3</b>	7.7	<b>19.2</b>	13.5	-	1.9	9.6	13.5	1.9	<i>15.4</i>	-	3.8	-	34.6
	施設野菜を中心とした経営	11	<i>27.3</i>	9.1	<b>54.5</b>	<i>27.3</i>	18.2	9.1	18.2	<b>36.4</b>	-	9.1	-	-	-	36.4
	果樹を中心とした経営	15	<b>26.7</b>	<i>20.0</i>	<b>33.3</b>	-	-	6.7	-	-	-	13.3	-	6.7	-	46.7
	野菜と果樹の混合経営	16	<b>43.8</b>	-	<b>43.8</b>	-	-	-	6.3	18.8	<i>25.0</i>	12.5	-	-	-	18.8
	花きを中心とした経営	3	-	-	<b>33.3</b>	-	-	<b>33.3</b>	-	-	-	-	-	<b>33.3</b>	-	33.3
	植木・造園を中心とした経営	29	<b>13.8</b>	-	<i>6.9</i>	-	-	<i>6.9</i>	-	3.4	3.4	3.4	<b>27.6</b>	3.4	3.4	55.2
	その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耕作面積	10a（1反）未満	27	<b>22.2</b>	<i>11.1</i>	<b>14.8</b>	-	3.7	-	-	-	-	3.7	-	-	-	59.3
	10～30a（1～3反）未満	47	<b>19.1</b>	-	<b>19.1</b>	4.3	2.1	4.3	4.3	<i>8.5</i>	4.3	6.4	6.4	4.3	-	53.2
	30～50a（3～5反）未満	30	<b>26.7</b>	<i>13.3</i>	<i>13.3</i>	10.0	-	6.7	<b>16.7</b>	6.7	6.7	10.0	6.7	3.3	3.3	40.0
	50a～1ha（5反～1町歩）未満	22	<b>59.1</b>	-	<b>45.5</b>	13.6	-	4.5	4.5	<i>22.7</i>	9.1	18.2	9.1	-	-	18.2
	1ha（1町歩）以上	10	<b>20.0</b>	10.0	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>	-	10.0	-	<b>30.0</b>	-	20.0	10.0	20.0	-	50.0
	耕作していない	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の年間農業所得	なし（自家用のみ）	26	<b>7.7</b>	3.8	<b>3.8</b>	3.8	-	<b>3.8</b>	-	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	-	84.6
	50万円未満	45	<b>24.4</b>	6.7	<b>22.2</b>	4.4	2.2	-	6.7	8.9	2.2	<i>11.1</i>	-	2.2	-	48.9
	50～100万円未満	27	<b>40.7</b>	-	<b>25.9</b>	-	-	3.7	3.7	-	<i>11.1</i>	7.4	7.4	3.7	-	33.3
	100～200万円未満	19	<b>36.8</b>	10.5	<b>31.6</b>	10.5	5.3	5.3	10.5	<i>21.1</i>	-	15.8	5.3	5.3	5.3	21.1
	200～300万円未満	13	<b>30.8</b>	15.4	<b>23.1</b>	7.7	-	-	7.7	<b>23.1</b>	-	15.4	15.4	-	-	38.5
	300万円以上	9	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	-	11.1	-	22.2	11.1	-	11.1	11.1	-	33.3

※凡例：**99.9**（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

### (3) 今後の販売意向

今後の販売意向について教えてください。(1つだけに○)



「現状で満足」が43.8%で最も多い。「販売(売上高)を伸ばしたい」農家は35.6%で、「販売(売上高)を縮小したい」農家は2.7%と少ない。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

「販売(売上高)を伸ばしたい」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

##### 【営農形態】

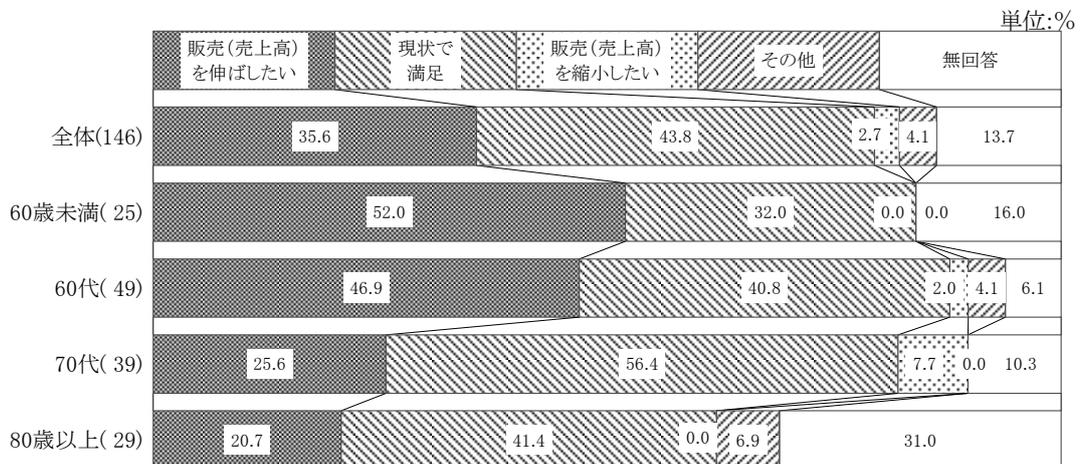
「販売(売上高)を伸ばしたい」は〈施設野菜を中心とした経営〉で50%台と多い。また、「現状で満足」は〈植木・造園を中心とした経営〉では20%台と少ない。

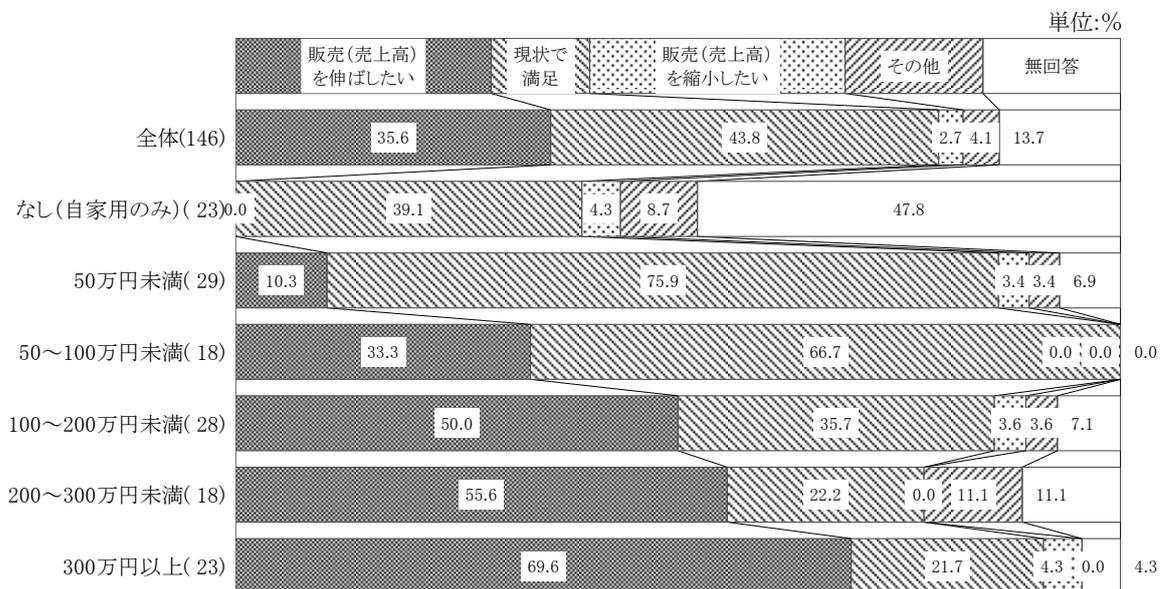
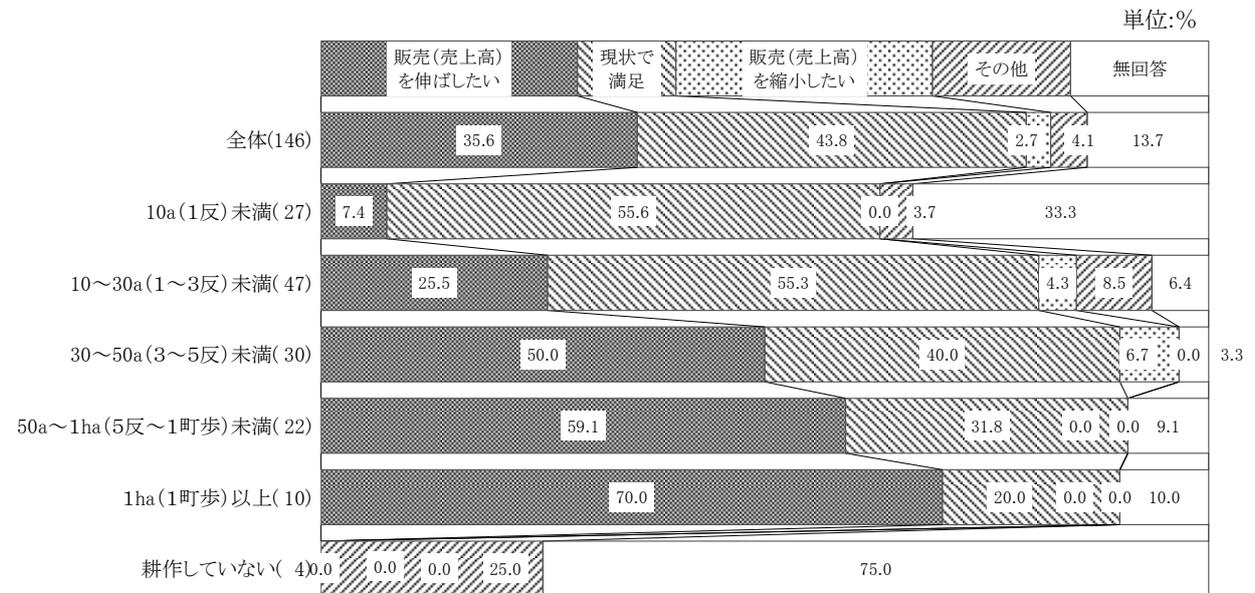
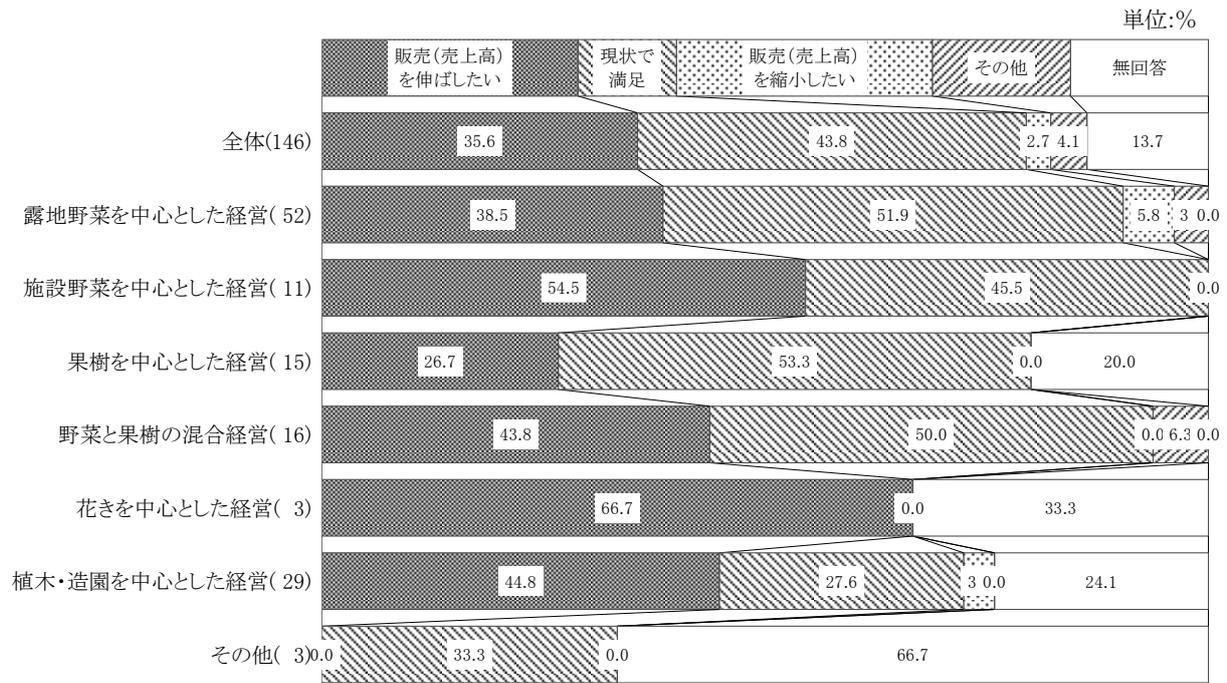
##### 【耕作面積】

「販売(売上高)を伸ばしたい」は耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。

##### 【現在の年間農業所得】

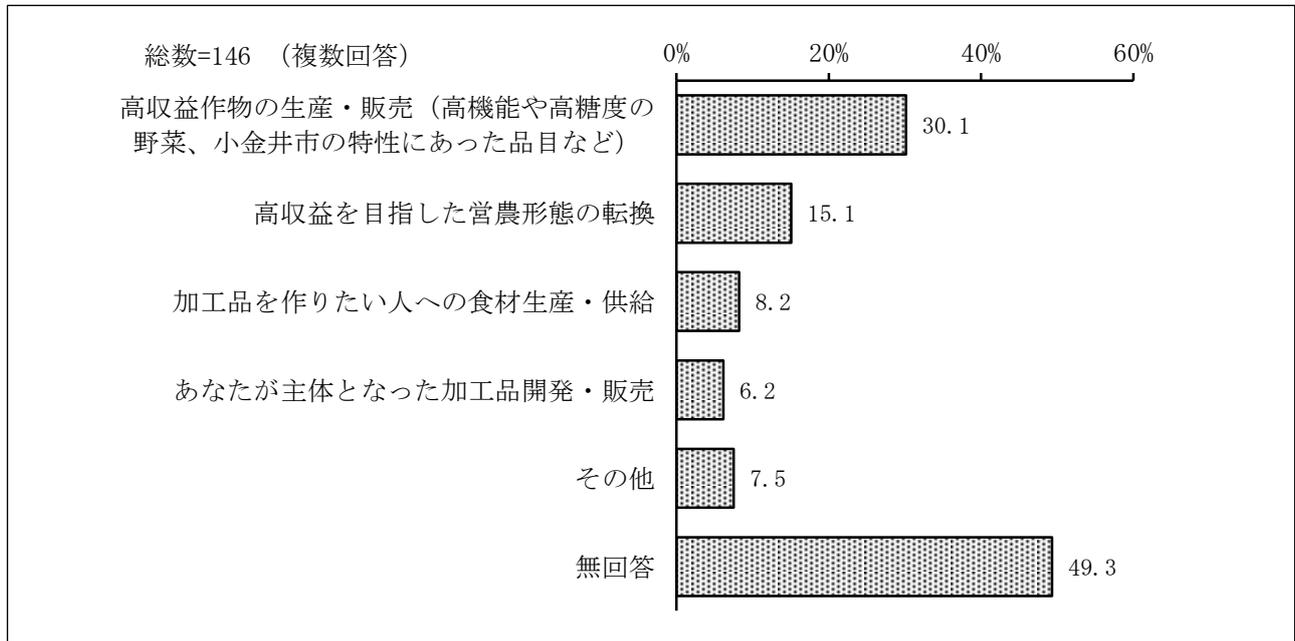
「販売(売上高)を伸ばしたい」は現在の年間農業所得が高いほど多い傾向がみられる。





#### (4) 新しい取組への関心・実施意向

あなたは、次のような新しい取組について、関心があり、やってみたいと思いますか。(いくつでも○)



無回答を除くと、「高収益作物の生産・販売 (高機能や高糖度の野菜、小金井市の特性にあった品目など)」が 30.1% で最も多く、以下「高収益を目指した営農形態の転換」が 15.1% で続いている。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

〈60代〉では「高収益作物の生産・販売 (高機能や高糖度の野菜、小金井市の特性にあった品目など)」や「高収益を目指した営農形態の転換」が他の年齢層に比べて多い。

##### 【営農形態】

「高収益作物の生産・販売 (高機能や高糖度の野菜、小金井市の特性にあった品目など)」は〈施設野菜を中心とした経営〉で 70% 台と多い。また、「高収益を目指した営農形態の転換」は〈野菜と果樹の混合経営〉や〈植木・造園を中心とした経営〉では 30% 前後と多い。

##### 【今後の販売意向】

〈販売 (売上高) を伸ばしたい〉農家では、「高収益作物の生産・販売 (高機能や高糖度の野菜、小金井市の特性にあった品目など)」や「高収益を目指した営農形態の転換」が〈現状で満足〉な農家に比べて多い。

##### 【今後の年間農業所得】

「高収益作物の生産・販売 (高機能や高糖度の野菜、小金井市の特性にあった品目など)」などは今後の年間農業所得が高いほど多く、全般に今後の目標とする所得が高いほど取組に積極的な傾向がみられる。

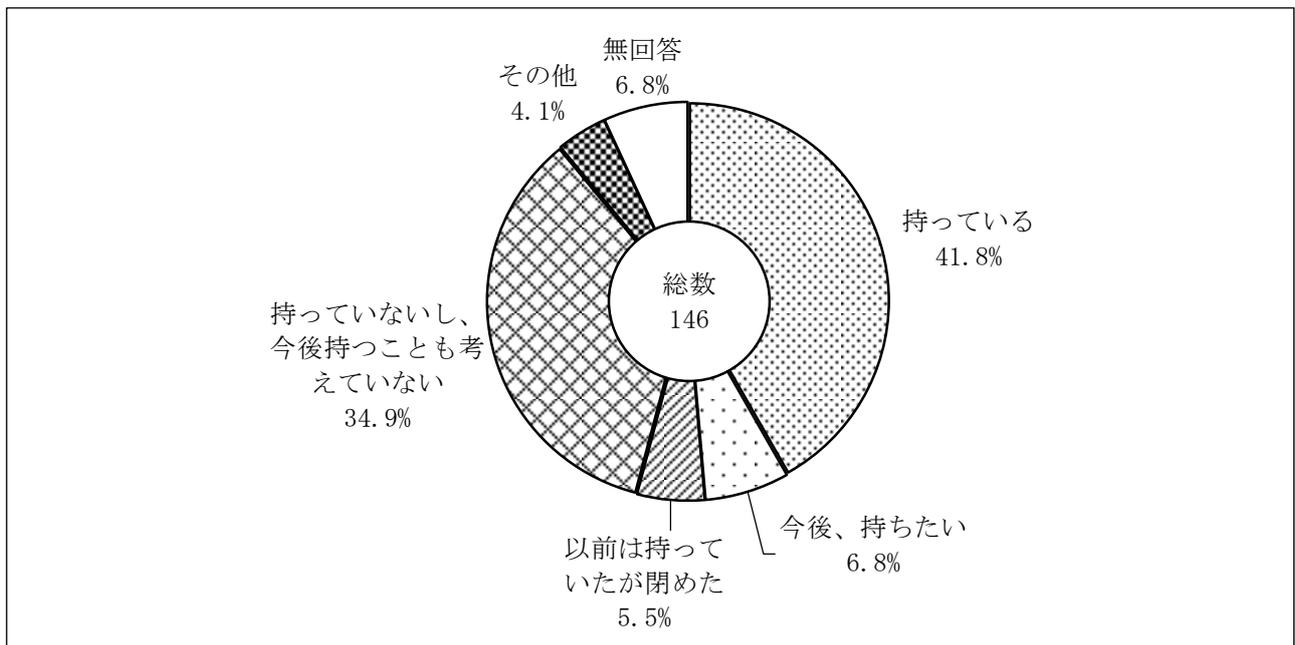
		全体	高収益作物の生産・販売（高機能や高糖度の野菜、小売（高市の特性にあつた品目など）	あなたが主体となった加工品開発・販売	加工品を作りたい人への食材生産・供給	高収益を目指した営農形態の転換	その他	無回答
	全体	146	<b>30.1</b>	6.2	8.2	15.1	7.5	49.3
年齢	60歳未満	25	<b>32.0</b>	8.0	8.0	16.0	4.0	44.0
	60代	49	<b>40.8</b>	6.1	8.2	26.5	8.2	36.7
	70代	39	<b>25.6</b>	7.7	10.3	7.7	12.8	46.2
	80歳以上	29	<b>20.7</b>	3.4	6.9	6.9	3.4	72.4
営農形態	露地野菜を中心とした経営	52	<b>42.3</b>	9.6	13.5	13.5	13.5	36.5
	施設野菜を中心とした経営	11	<b>72.7</b>	9.1	18.2	-	-	18.2
	果樹を中心とした経営	15	<b>26.7</b>	-	20.0	6.7	-	53.3
	野菜と果樹の混合経営	16	<b>12.5</b>	12.5	-	<b>31.3</b>	6.3	43.8
	花きを中心とした経営	3	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	-	33.3
	植木・造園を中心とした経営	29	<b>20.7</b>	-	-	<b>27.6</b>	6.9	58.6
	その他	3	-	-	-	-	-	100.0
今後の販売意向	販売（売上高）を伸ばしたい	52	<b>53.8</b>	9.6	7.7	26.9	9.6	25.0
	現状で満足	64	<b>18.8</b>	6.3	12.5	7.8	7.8	53.1
	販売（売上高）を縮小したい	4	<b>25.0</b>	-	-	-	-	75.0
	その他	6	<b>33.3</b>	-	-	<b>33.3</b>	16.7	66.7
今後の年間農業所得	なし（自家用のみ）	23	<b>4.3</b>	-	-	<b>4.3</b>	-	95.7
	50万円未満	29	3.4	3.4	<b>13.8</b>	3.4	<b>13.8</b>	62.1
	50～100万円未満	18	<b>27.8</b>	5.6	5.6	<b>27.8</b>	5.6	38.9
	100～200万円未満	28	<b>42.9</b>	10.7	7.1	17.9	3.6	35.7
	200～300万円未満	18	<b>50.0</b>	-	11.1	16.7	16.7	33.3
	300万円以上	23	<b>56.5</b>	17.4	13.0	30.4	8.7	21.7

※凡例：99.9（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

## 2 自身の農園での直売所（庭先直売所）について

### (1) 直売所（庭先直売所）の所有状況

あなたは、自身の農園で直売所（庭先直売所）を持っていますか。（1つだけに○）



41.8%が直売所（庭先直売所）を「持っている」と回答している。また、「今後、持ちたい」は6.8%で、「持っていないし、今後持つことも考えていない」は34.9%となっている。

#### ■属性別■

##### 【地区】

〈中央エリア(緑町・本町)〉、〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉では「持っている」農家が50%台と多い。

##### 【年齢】

〈70代〉では「持っている」農家が50%台と多い。また、〈60歳未満〉では「今後、持ちたい」が10%台と他の年齢層に比べて多い。

##### 【営農形態】

〈露地野菜を中心とした経営〉では「持っている」農が全体の2/3を占める。また、「今後、持ちたい」農家も10%弱と多くなっている。

##### 【耕作面積】

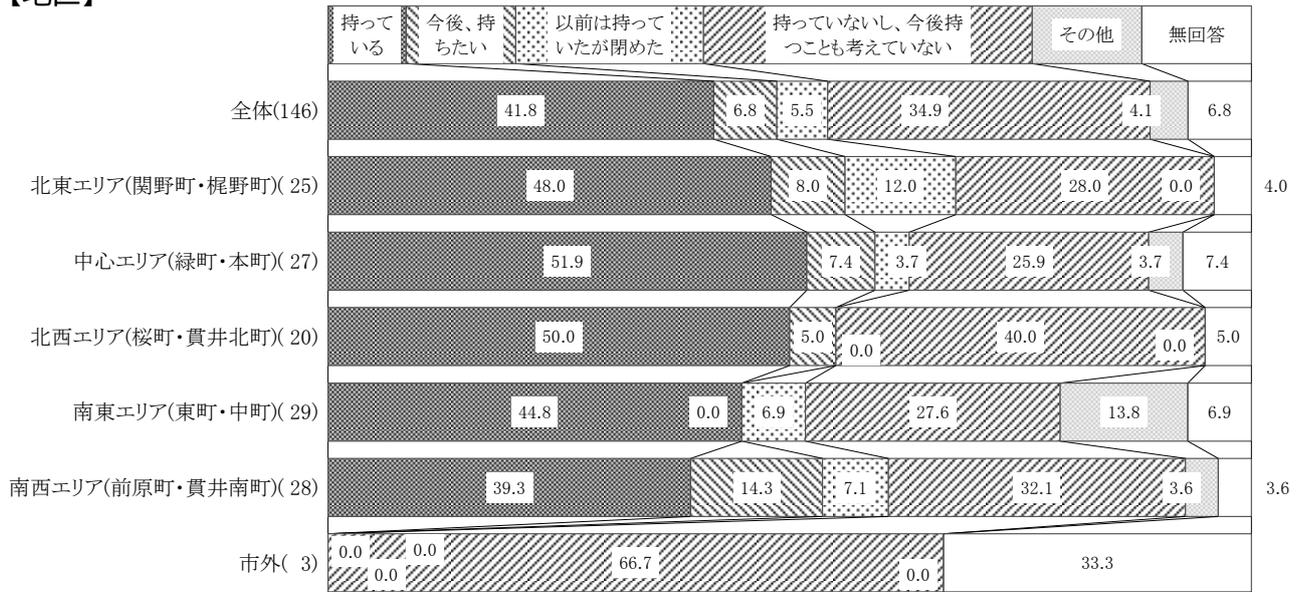
〈30～50a(3～5反)未満〉では「持っている」が50%台と多い。また、30a未満の層では「持っていないし、今後持つことも考えていない」が40%台と多い。

##### 【今後の販売意向】

〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家では「持っている」及び「今後、持ちたい」が〈現状で満足〉な農家よりも多くなっている。

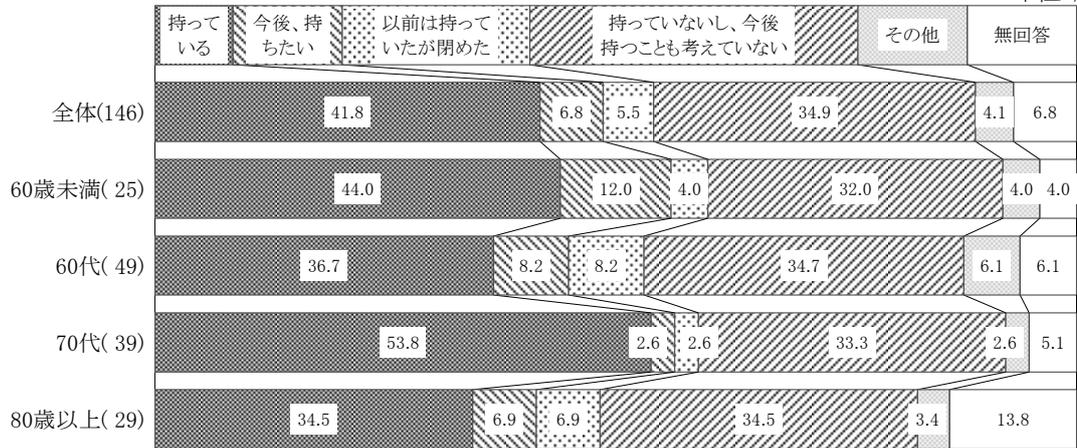
【地区】

単位:%



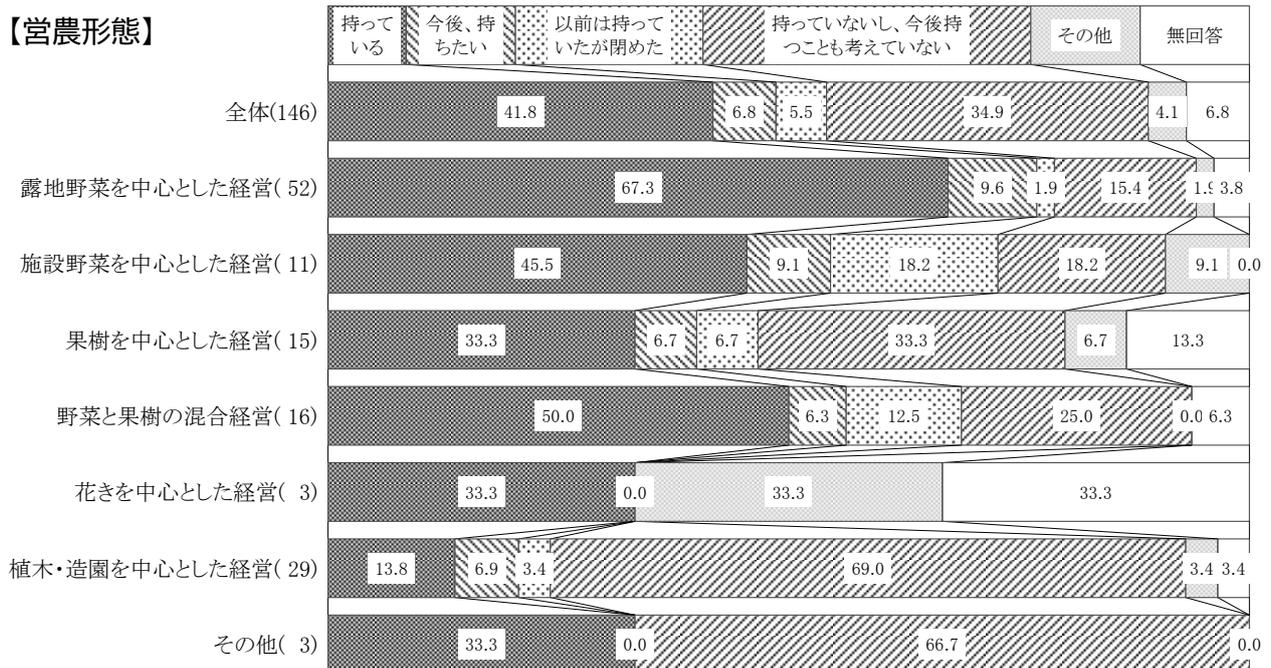
【年齢】

単位:%

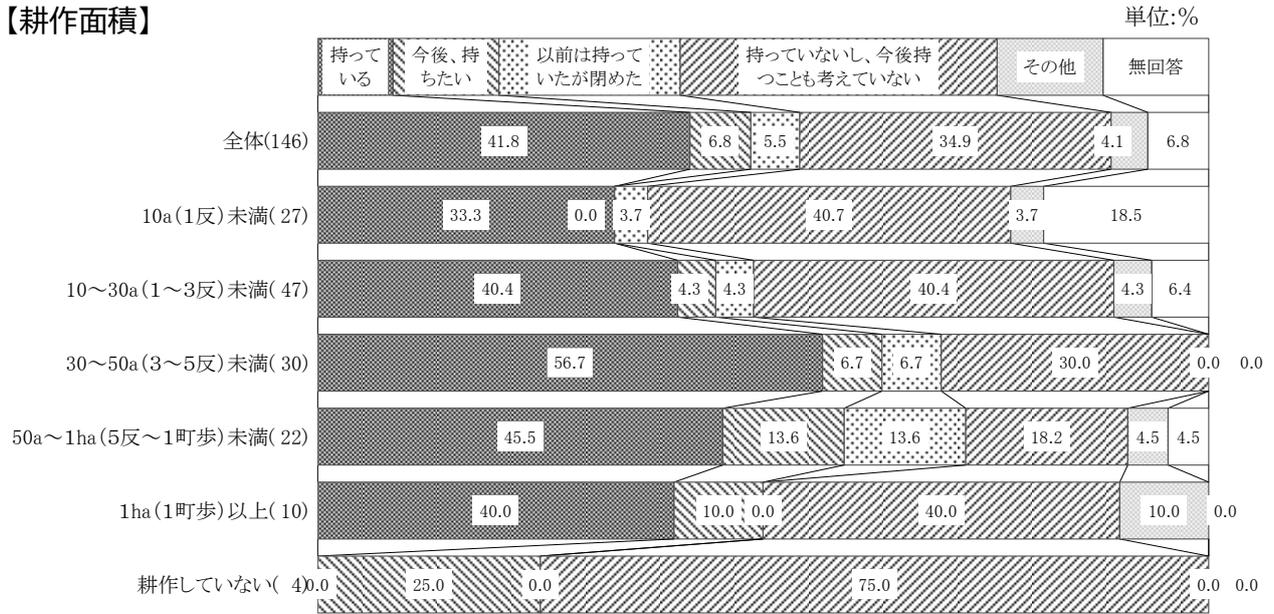


【営農形態】

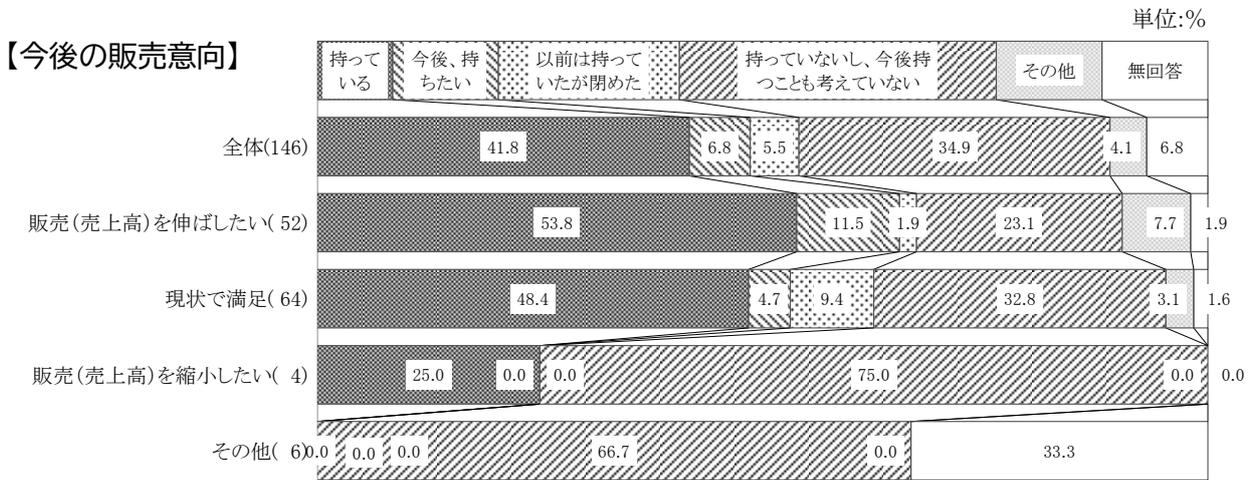
単位:%



【耕作面積】



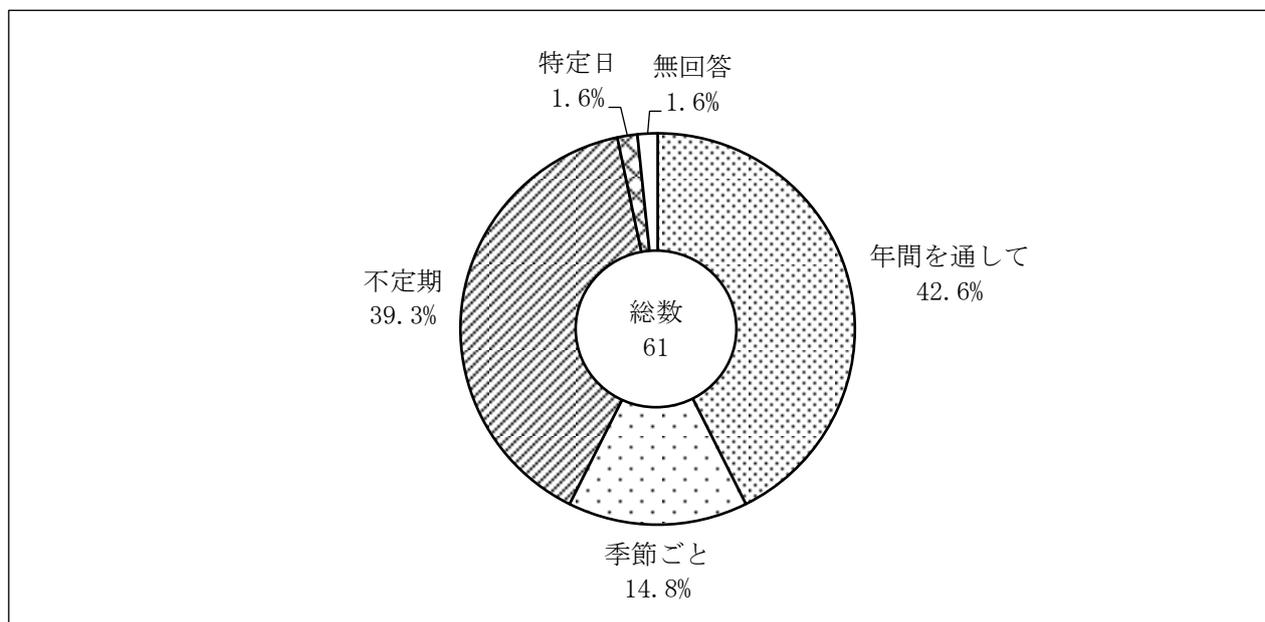
【今後の販売意向】



## (1) - 1 直売所（庭先直売所）の運営状況

(1) で「持っている」と回答した方にお聞きします。設置状況を教えてください。

### 1) 開店日



42.6%は「年間を通して」営業している。14.8%は「季節ごと」の営業で、39.3%は「不定期」となっている。

### ■属性別■

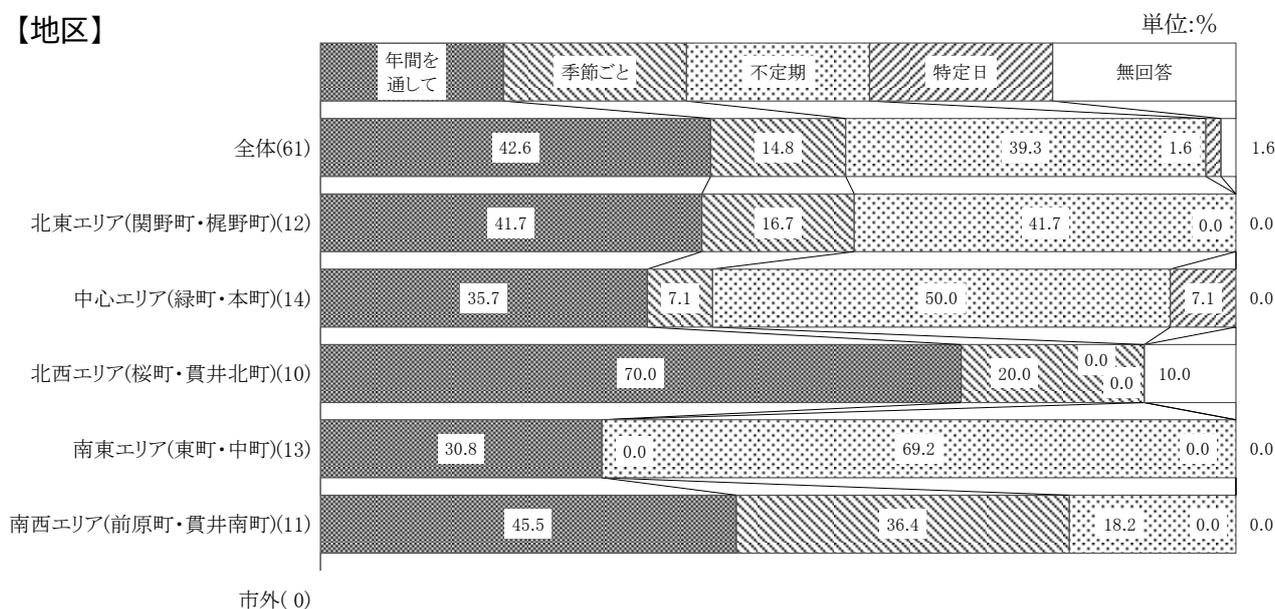
#### 【地区】

〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉では「年間を通して」が70%と多い。

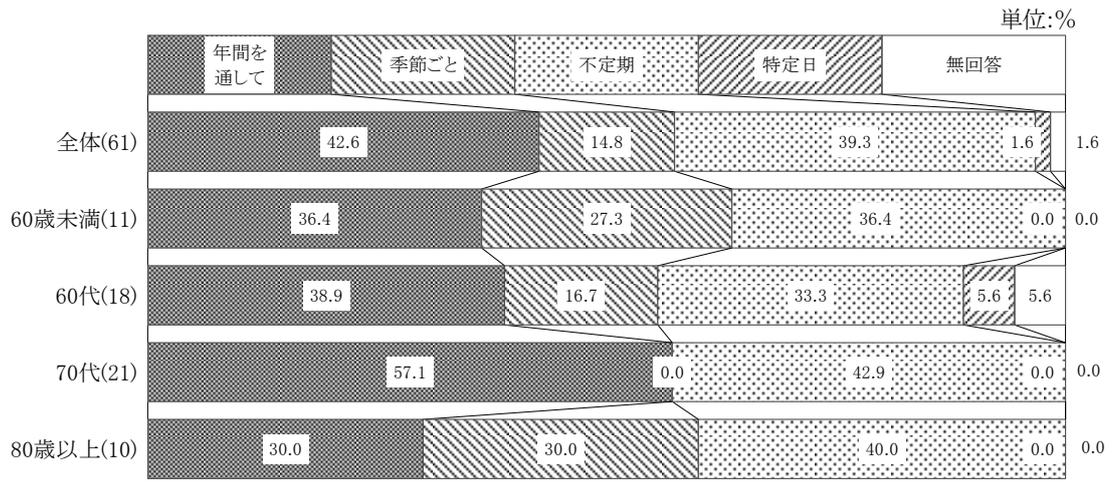
#### 【年齢】

〈70代〉では「年間を通して」が50台と他の年齢層に比べて多い。

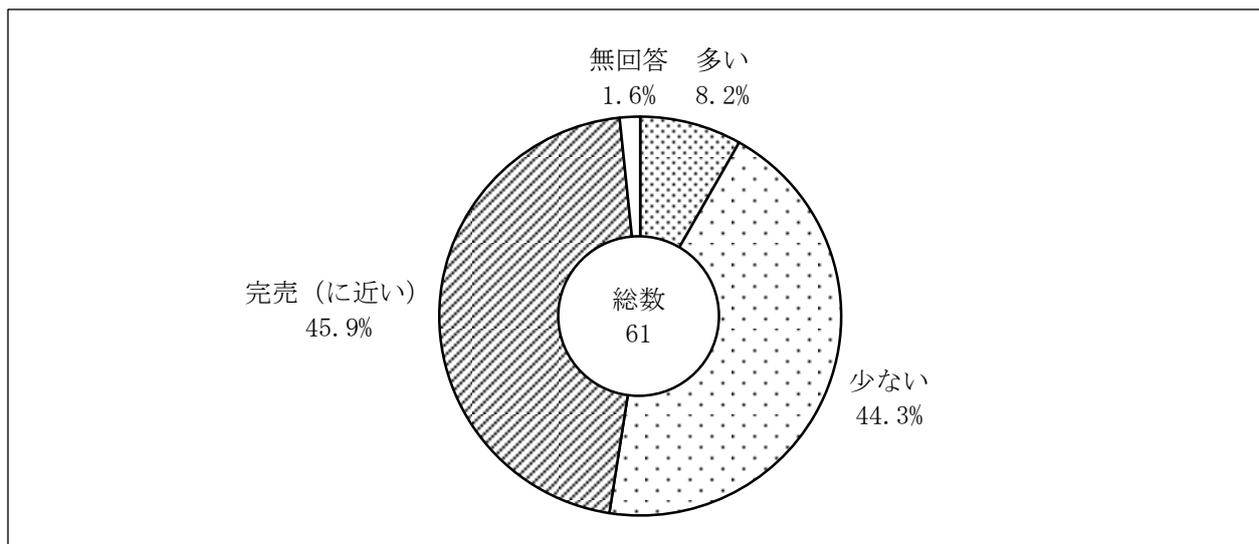
#### 【地区】



【年齢】



## 2) 売れ残り状況

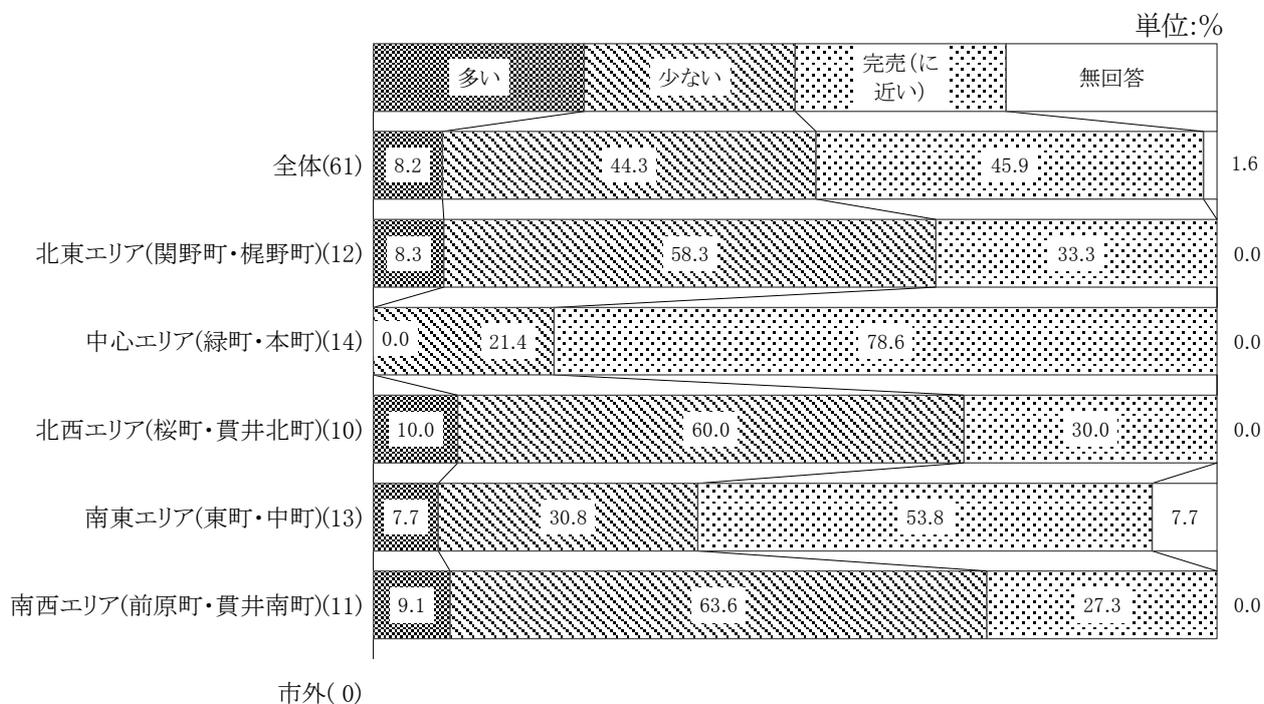


45.9%が「完売 (に近い)」、44.3%が売れ残りは「少ない」と回答しており、売れ行きは良好とみられる。

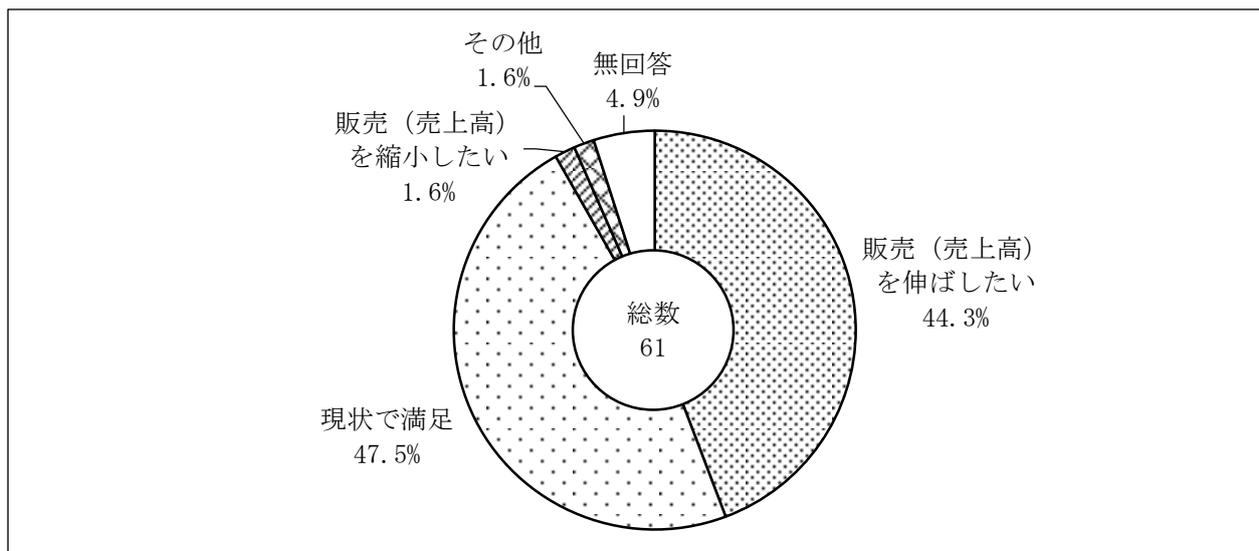
### ■属性別■

#### 【地区】

〈中央エリア(緑町・本町)〉では「完売に近い」が80%弱と多く、他の地区に比べて売上が良好な直売所が多くなっている。



### 3) 今後の販売意向



「現状で満足」が47.5%で最も多い。「販売(売上高)を伸ばしたい」農家は44.3%で、「販売(売上高)を縮小したい」農家は1.6%と少ない。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

〈60代〉では「販売(売上高)を伸ばしたい」が全体の2/3を占めており、販売意欲が強い。

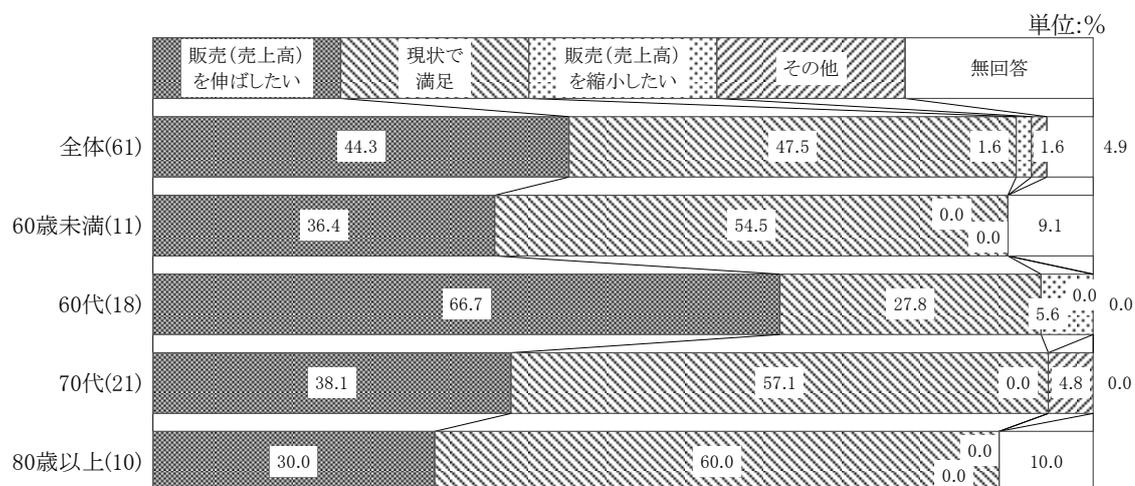
##### 【耕作面積】

30a 未満の比較的耕作面積が小さい農家では、「現状で満足」が70%前後と多く、販売意欲が弱い。

##### 【今後の農業所得額】

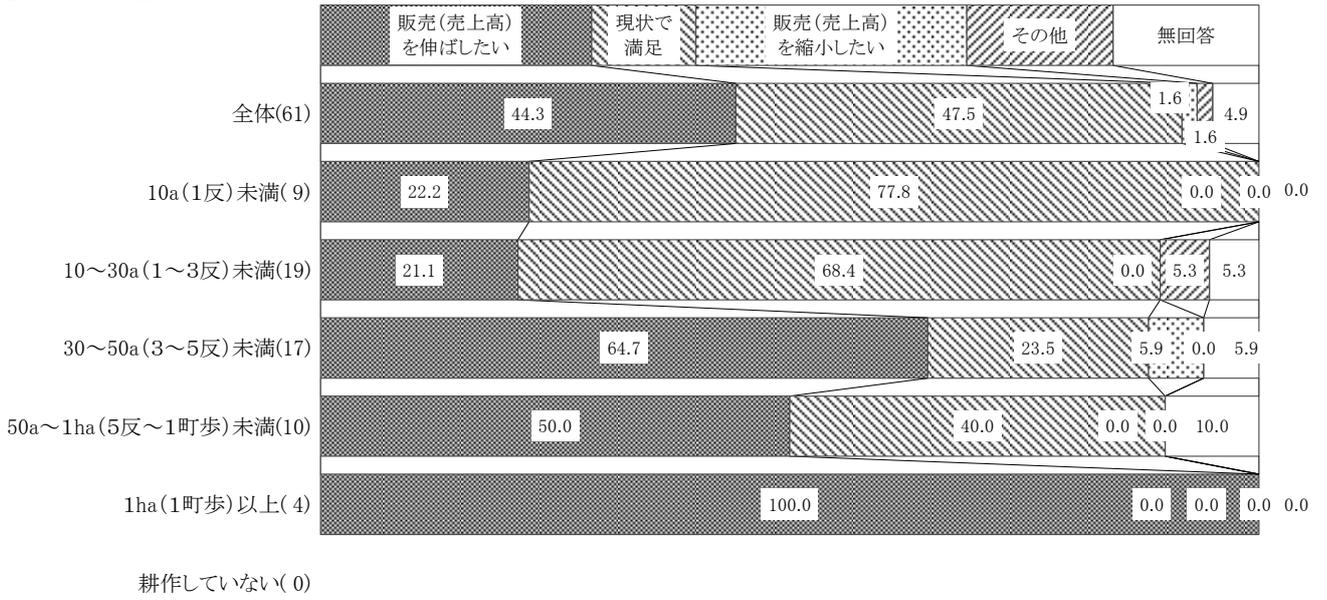
「販売(売上高)を伸ばしたい」は、今後の所得額が高いほど多い傾向がみられる。

##### 【年齢】



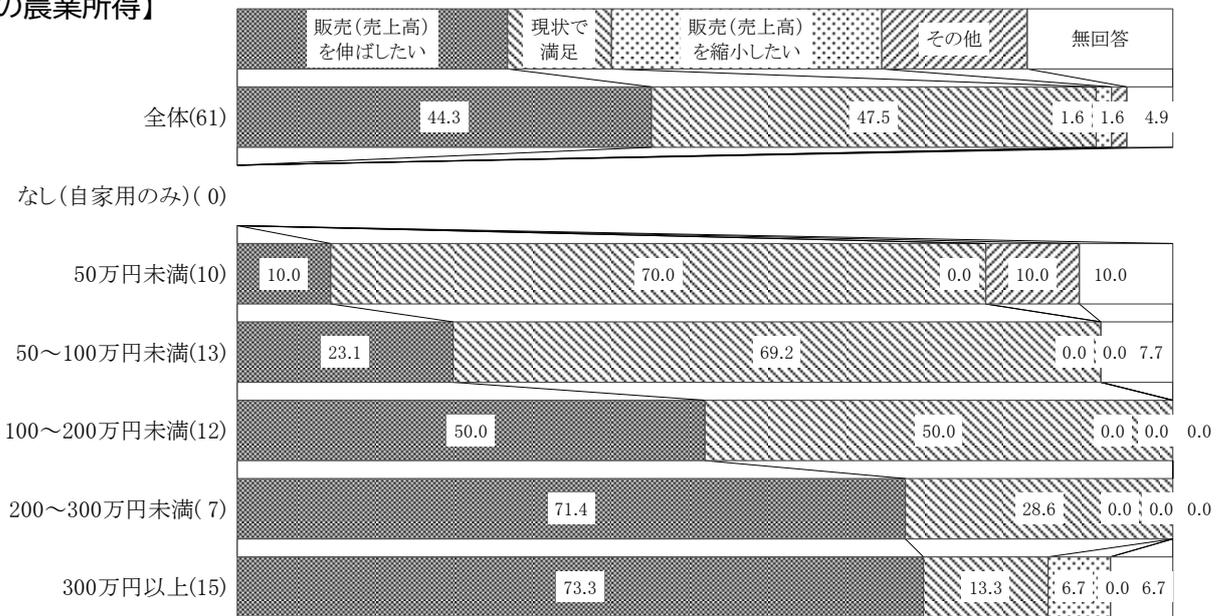
【耕作面積】

単位:%

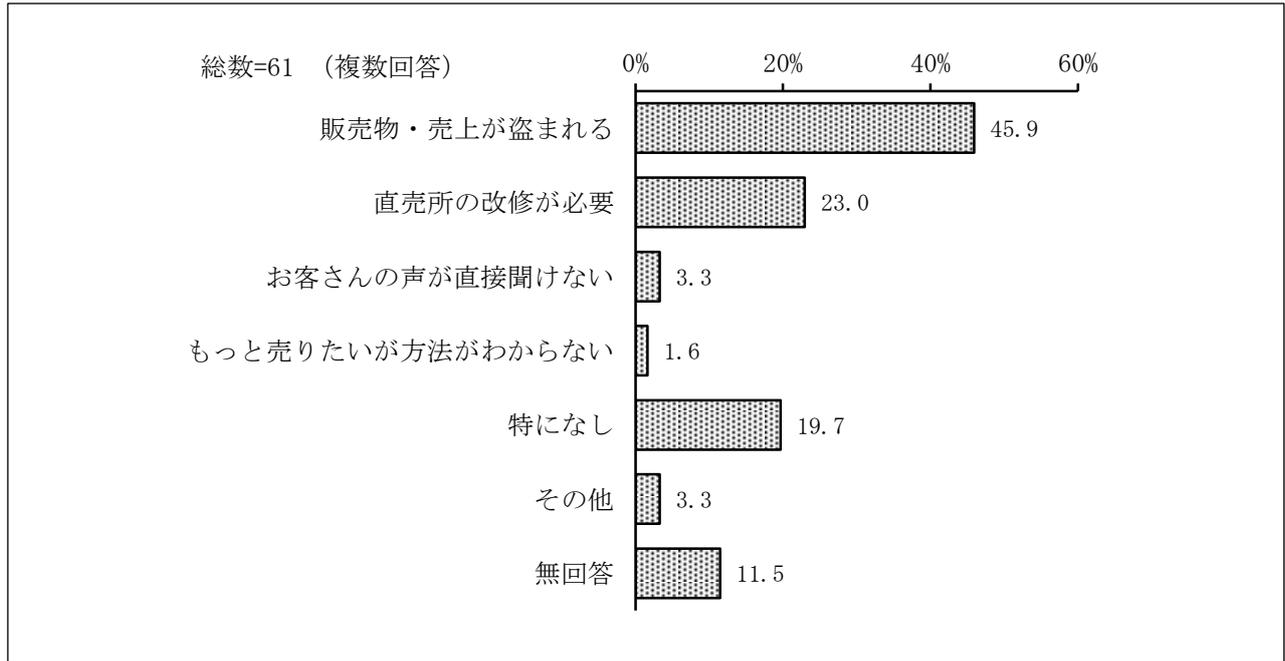


【今後の農業所得】

単位:%



#### 4) 課題



「販売物・売上が盗まれる」が45.9%で最も多く、「直売所の改修が必要」が23.0%が続いている。また、約20%は「特になし」と回答している。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

「販売物・売上が盗まれる」は〈70代〉で60%以上と多い。また、「直売所の改修が必要」は60代以下の層で30%台と多くなっている。

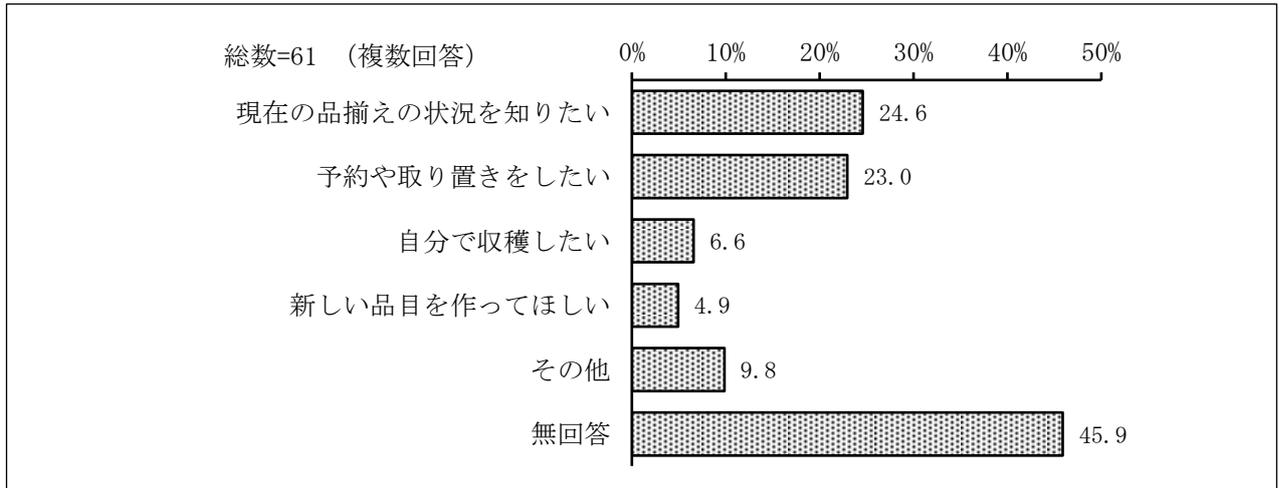
##### 【今後の販売意向】

「直売所の改修が必要」は、〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家で30%台と多い。

		全体	販売物・売上が盗まれる	直売所の改修が必要	もっと売りたいが方法がわからない	お客さんの声が直接聞けない	特になし	その他	無回答
	全体	61	<b>45.9</b>	<b>23.0</b>	1.6	3.3	<i>19.7</i>	3.3	11.5
年齢	60歳未満	11	<i>18.2</i>	<b>36.4</b>	-	-	<i>18.2</i>	9.1	36.4
	60代	18	<b>50.0</b>	<b>33.3</b>	5.6	5.6	<i>11.1</i>	-	-
	70代	21	<b>61.9</b>	<i>9.5</i>	-	4.8	<b>28.6</b>	-	4.8
	80歳以上	10	<b>40.0</b>	<b>20.0</b>	-	-	<b>20.0</b>	10.0	10.0
今後の販売意向	販売（売上高）を伸ばしたい	28	<b>35.7</b>	<b>35.7</b>	3.6	7.1	<i>14.3</i>	3.6	10.7
	現状で満足	31	<b>51.6</b>	<i>12.9</i>	-	-	<b>25.8</b>	3.2	12.9
	販売（売上高）を縮小したい	1	<b>100.0</b>	-	-	-	-	-	-
	その他	-	*	*	*	*	*	*	*

※凡例：**99.9**（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

## 5) お客さんからの要望



「現在の品揃えの状況を知りたい」(24.6%)、「予約や取り置きをしたい」(23.0%)などの要望が多い。

### ■属性別■

#### 【地区】

「現在の品揃えの状況を知りたい」は〈北東エリア(関野町・梶野町)〉で50%と多い。また、「予約や取り置きをしたい」も〈北東エリア(関野町・梶野町)〉で40%台と多くなっている。

#### 【年齢】

「現在の品揃えの状況を知りたい」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。一方、「予約や取り置きをしたい」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

#### 【今後の販売意向】

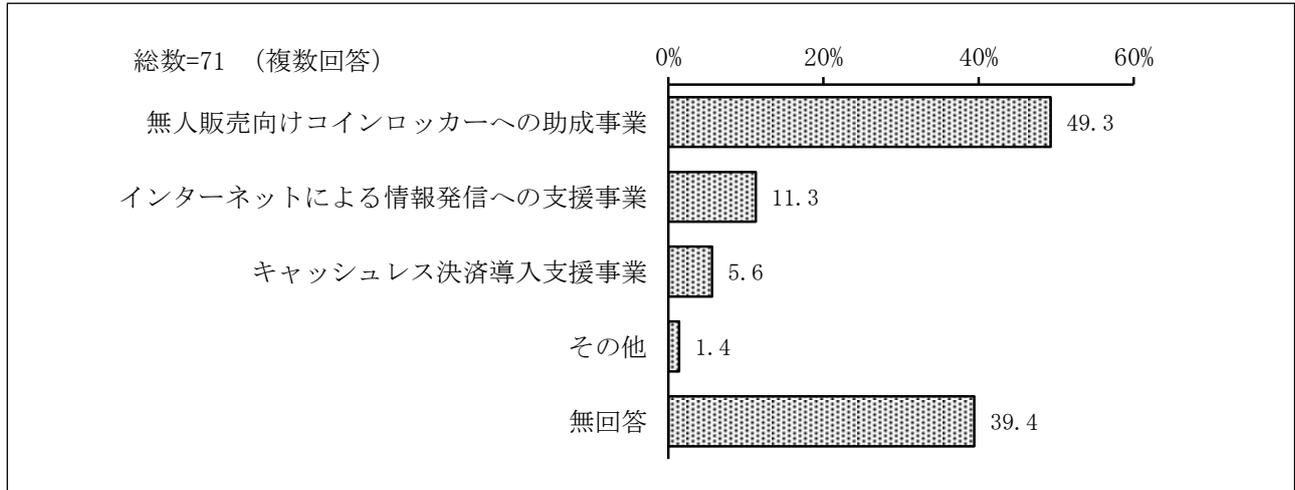
「現在の品揃えの状況を知りたい」は、〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家で40%台と多い。

		全体	新しい品目を作ってほしい	現在の品揃えの状況を知りたい	自分で収穫したい	予約や取り置きをしたい	その他	無回答
	全体	61	4.9	<b>24.6</b>	6.6	<b>23.0</b>	9.8	45.9
地区	北東エリア(関野町・梶野町)	12	-	<b>50.0</b>	-	<b>41.7</b>	-	33.3
	中心エリア(緑町・本町)	14	7.1	7.1	7.1	<b>21.4</b>	7.1	57.1
	北西エリア(桜町・貫井北町)	10	10.0	<b>20.0</b>	10.0	<b>20.0</b>	-	60.0
	南東エリア(東町・中町)	13	7.7	<b>23.1</b>	7.7	15.4	<b>23.1</b>	38.5
	南西エリア(前原町・貫井南町)	11	-	<b>27.3</b>	9.1	<b>18.2</b>	<b>18.2</b>	36.4
	市外	-	*	*	*	*	*	*
年齢	60歳未満	11	-	<b>36.4</b>	-	9.1	9.1	45.5
	60代	18	11.1	<b>27.8</b>	16.7	<b>22.2</b>	5.6	33.3
	70代	21	-	<b>23.8</b>	4.8	<b>28.6</b>	14.3	47.6
	80歳以上	10	<b>10.0</b>	<b>10.0</b>	-	<b>30.0</b>	<b>10.0</b>	60.0
今後の販売意向	販売(売上高)を伸ばしたい	28	3.6	<b>42.9</b>	7.1	<b>25.0</b>	7.1	35.7
	現状で満足	31	6.5	9.7	6.5	<b>19.4</b>	<b>12.9</b>	54.8
	販売(売上高)を縮小したい	1	-	-	-	<b>100.0</b>	-	-
	その他	-	*	*	*	*	*	*

※凡例：**99.9** (太文字・下線)：第1位、**99.9** (太文字)：第2位、*99.9* (斜体)：第3位

## (2) 参加したい支援事業

(1)で「持っている」・「今後、持ちたい」を選ばれた方にお聞きします。次のような支援事業を行った場合に、参加したいものを教えてください。(いくつでも○)



「無人販売向けコインロッカーへの助成事業」が49.3%と約半数となっている。「インターネットによる情報発信への支援事業」(11.3%)や「キャッシュレス決済導入支援事業」(5.6%)のニーズはあまり高くない。

### ■属性別■

#### 【地区】

「無人販売向けコインロッカーへの助成事業」は〈中心エリア(緑町・本町)〉では25%と少ない。また、「インターネットによる情報発信への支援事業」は〈北東エリア(関野町・梶野町)〉で30%弱と多い。

#### 【年齢】

「キャッシュレス決済導入支援事業」は〈80歳以上〉で10%台と他の年齢層に比べて多い。また、〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家では〈60代〉で20%弱と他の年齢層に比べて多い。

#### 【耕地面積】

「無人販売向けコインロッカーへの助成事業」は50a以上の比較的規模が大きな農家で多く、「インターネットによる情報発信への支援事業」は50a以下の比較的規模の小さな農家で多い傾向がみられる。

#### 【今後の販売意向】

〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家では「無人販売向けコインロッカーへの助成事業」が60%台と多い。

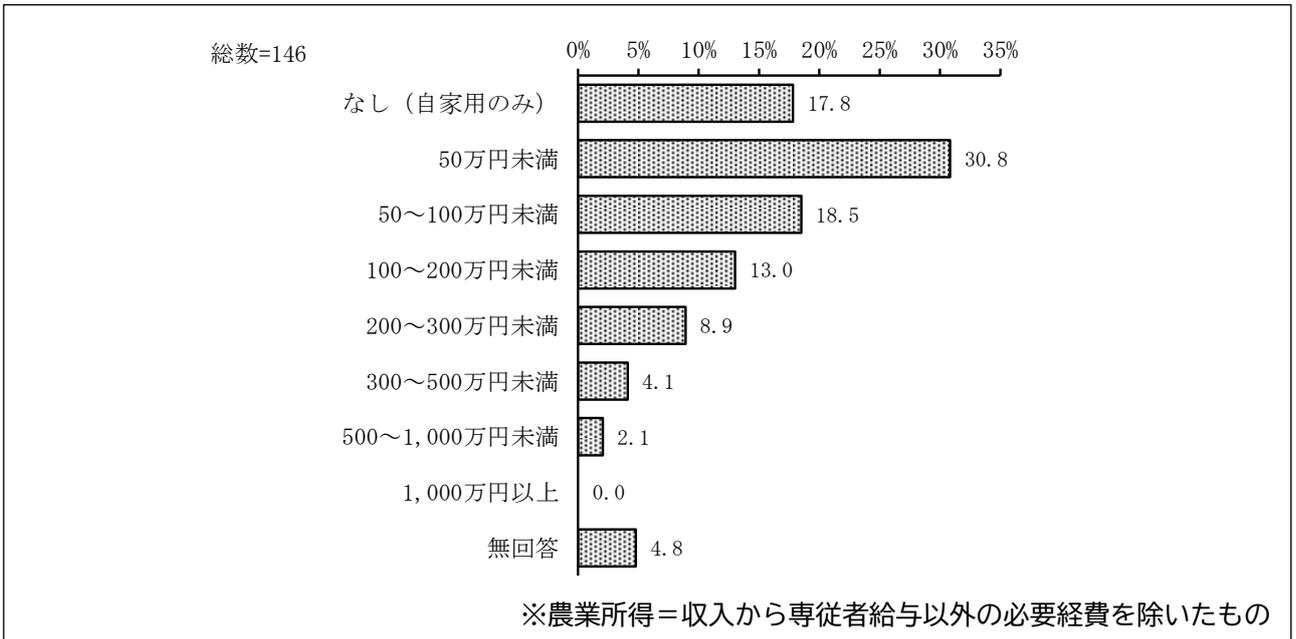
		全体	無人販売向けコインロッカーへの助成事業	キャッシュレス決済導入支援事業	インターネットによる情報発信への支援事業	その他	無回答
	全体	71	<b>49.3</b>	5.6	11.3	1.4	39.4
地区	北東エリア(関野町・梶野町)	14	<b>50.0</b>	7.7	28.6	-	21.4
	中心エリア(緑町・本町)	16	<b>25.0</b>	-	6.3	6.3	68.8
	北西エリア(桜町・貫井北町)	11	<b>72.7</b>	9.1	-	-	18.2
	南東エリア(東町・中町)	13	<b>61.5</b>	-	7.7	-	38.5
	南西エリア(前原町・貫井南町)	15	<b>46.7</b>	13.3	13.3	-	40.0
	市外	-	*	*	*	*	*
年齢	60歳未満	14	<b>42.9</b>	7.1	7.1	-	42.9
	60代	22	<b>54.5</b>	4.5	18.2	-	31.8
	70代	22	<b>50.0</b>	-	9.1	-	45.5
	80歳以上	12	<b>50.0</b>	16.7	8.3	8.3	33.3
耕作面積	10a(1反)未満	9	-	-	22.2	-	77.8
	10~30a(1~3反)未満	21	<b>52.4</b>	-	14.3	4.8	42.9
	30~50a(3~5反)未満	19	<b>47.4</b>	5.3	15.8	-	36.8
	50a~1ha(5反~1町歩)未満	13	<b>84.6</b>	7.7	-	-	15.4
	1ha(1町歩)以上	5	<b>80.0</b>	-	-	-	20.0
	耕作していない	1	-	100.0	-	-	-
今後の販売意向	販売(売上高)を伸ばしたい	34	<b>61.8</b>	5.9	11.8	-	29.4
	現状で満足	34	<b>41.2</b>	2.9	8.8	2.9	50.0
	販売(売上高)を縮小したい	1	-	-	100.0	-	-
	その他	-	*	*	*	*	*

※凡例：**99.9** (太文字・下線)：第1位、**99.9** (太文字)：第2位、*99.9* (斜体)：第3位

### 3 今後の営農意向について

#### (1) 現在の年間農業所得

あなたの家の年間の農業所得を教えてください。(1つだけに○)



「50万円未満」が30.8%で最も多く、「50～100万円未満」(18.5%)、「100～200万円未満」(13.0%)と、所得階層が上がるほど比率が下がっており、全体の90%近くは認定農業者の目標所得である300万円を下回っている。

#### ■属性別■

##### 【地区】

300万円以上の比較的所得の高い農家は〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉で10%台と他の地区に比べて多い。一方、「なし(自家用のみ)」は〈南西エリア(前原町・貫井南町)〉で20%台と多く、「50万円未満」は〈中心エリア(緑町・本町)〉で40%台と多くなっている。

##### 【年齢】

300万円以上の比較的所得の高い農家は〈60代〉及び〈70代〉で10%程度となっているものの、他の年齢層では0となっている。「なし(自家用のみ)」は〈80歳以上〉で30%台と多い。また、「50万円未満」は〈70代〉で40%台、〈60歳未満〉でも30%台半ばと多くなっている。

##### 【営農形態】

300万円以上の比較的所得の高い農家は〈施設野菜を中心とした経営〉や〈野菜と果樹の混合経営〉で10%台と他の属性に比べて多い。また、「50万円未満」は〈果樹を中心とした経営〉及び〈露地野菜を中心とした経営〉でも40%前後と多くなっている。

##### 【耕地面積】

300万円以上の比較的所得の高い農家は、〈1ha(1町歩)以上〉で30%となっているなど、耕作面積が広いほど多い傾向がみられる。また、「なし(自家用のみ)」及び「50万円未満」などの所得が低い農家は耕作面積が狭いほど多い傾向がみられる。

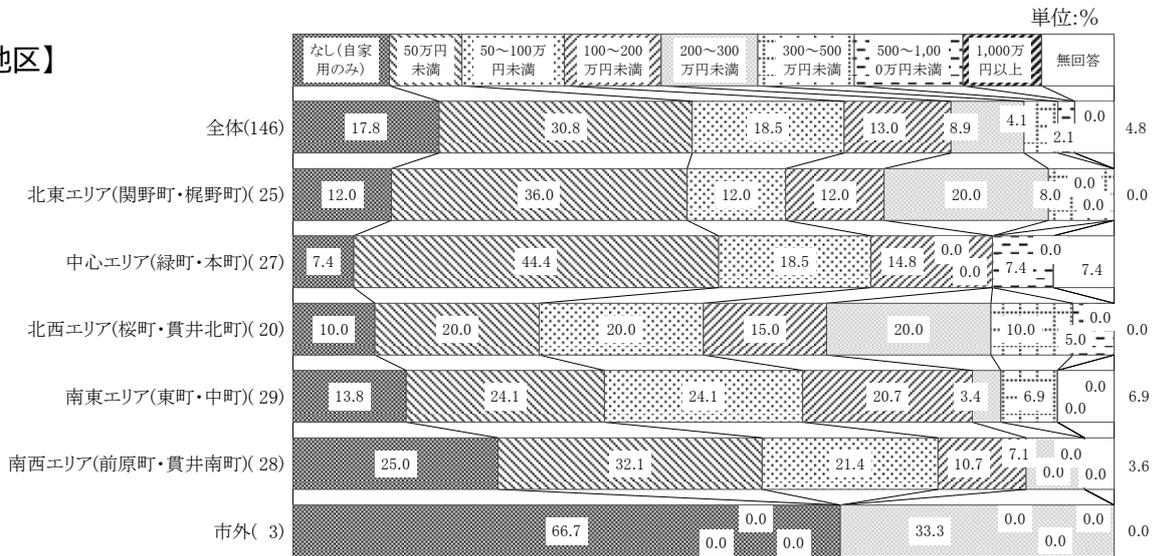
【今後の販売意向】

「なし(自家用のみ)」及び「50万円未満」の農家は〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家に比べ、〈現状で満足〉な農家で多い。

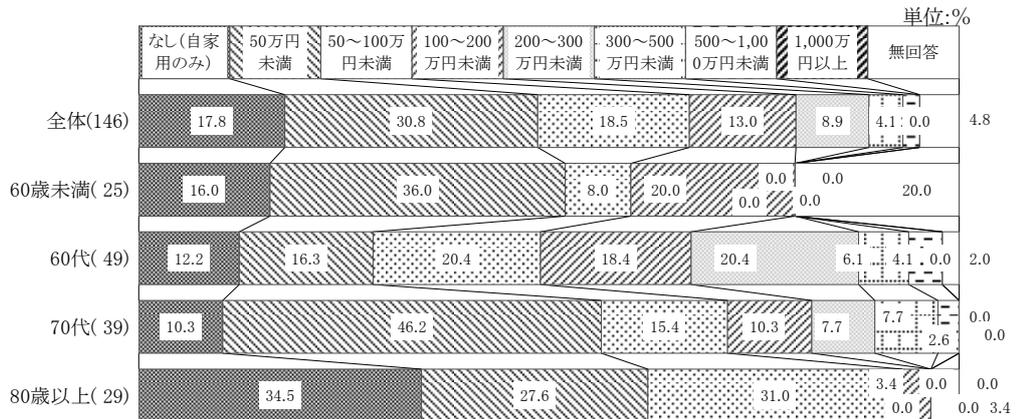
【今後の年間農業所得】

将来の年間農業所得が現在の年間農業所得よりも低い農家は〈なし(自家用のみ)〉及び〈100～200万円未満〉で存在しているが、多くの農家は現状維持または収入アップを希望している。

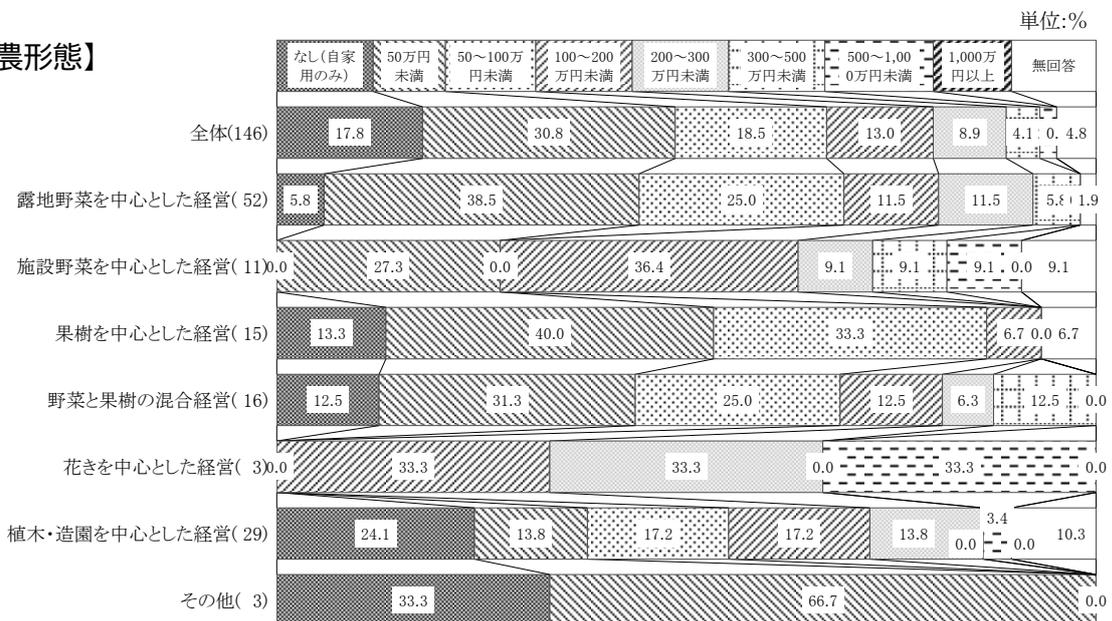
【地区】



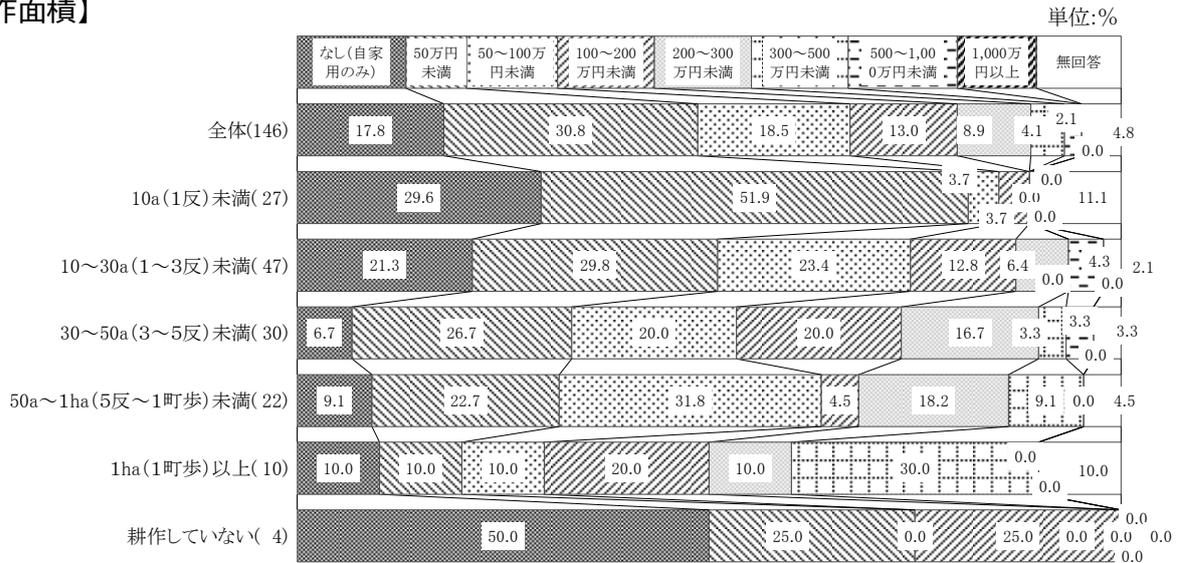
【年齢】



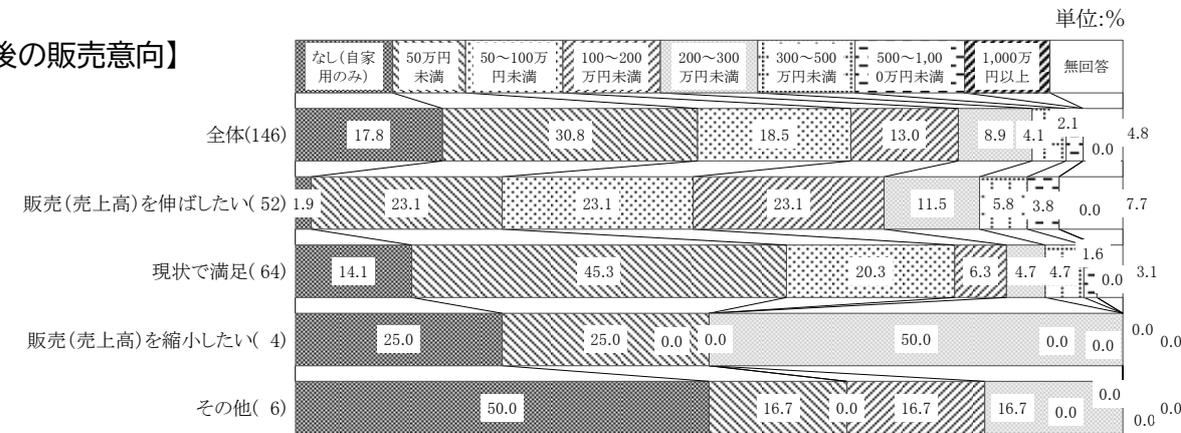
【営農形態】



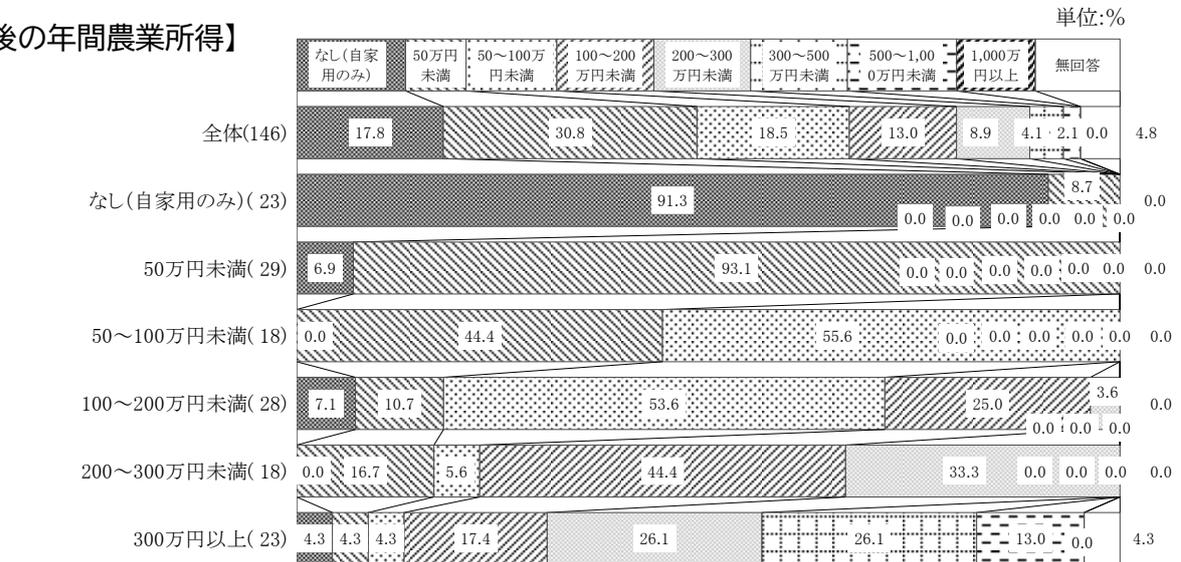
【耕作面積】



【今後の販売意向】

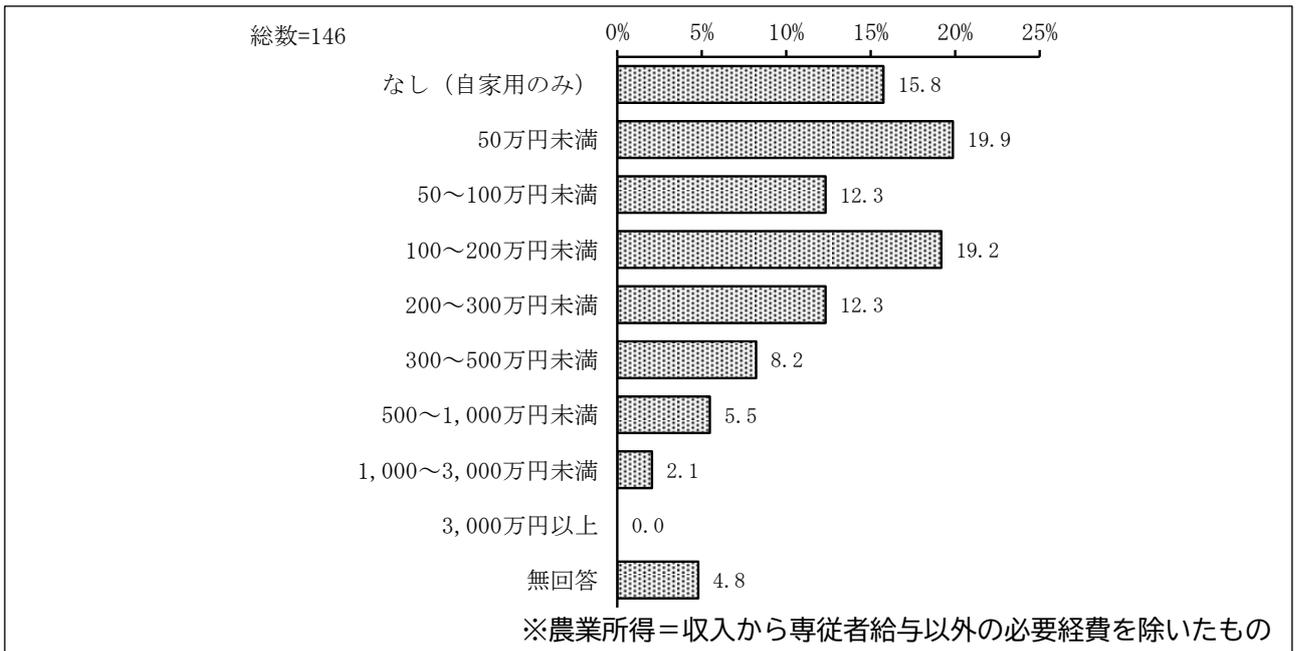


【今後の年間農業所得】



## (2) 年間農業所得の目標額

あなたの家の今後の年間の農業所得目標額を教えてください。(1つだけに○)



現在の所得と比較すると、100万円未満の所得階層の比率が低下する一方で、100万円～10,000万円未満の所得階層の比率が上昇している。

### ■属性別■

#### 【地区】

300万円以上を希望する農家は〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉で30%台と多く、現在の所得に比べて倍になっている。

#### 【年齢】

300万円以上を希望する農家は〈60代〉で20%台と他の年齢層に比べて多く、現在の年間農業所得との比較でも14.3ポイント増加している。また、〈60歳未満〉についても現在の所得では0%だった300万円以上を希望する農家が16%と比較的多くなっている。

#### 【営農形態】

300万円以上を希望する農家は〈施設野菜を中心とした経営〉で20%台と他の属性に比べて多く、現在の年間農業所得との比較でも10ポイント近く増加している。また、〈露地野菜を中心とした経営〉や〈野菜と果樹の混合経営〉では「50万円未満」などの比率が減少しているのが目立つ。

#### 【耕地面積】

300万円以上を希望する農家は、〈1ha(1町歩)以上〉で60%と多いほか、〈30～50a(3～5反)未満〉でも30%と比較的多くなっている。「50万円未満」は耕作面積が狭いほど多い傾向がみられるが、現在の年間農業所得に比べると比率が低下している。

#### 【今後の販売意向】

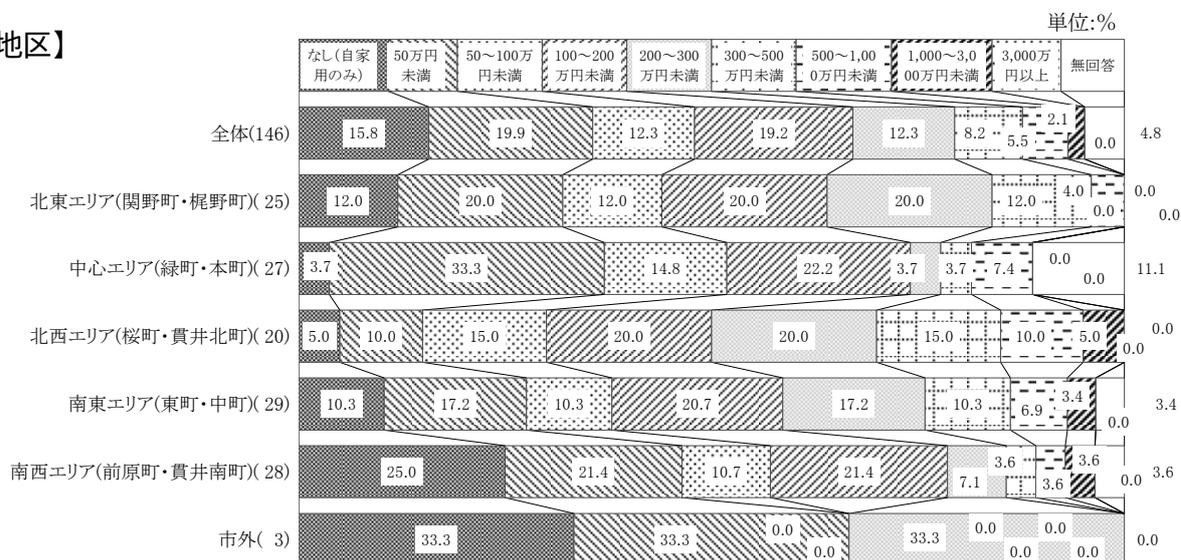
300万円以上を希望する農家は、〈販売(売上高)を伸ばしたい〉農家では30%台と多く、現在

の年間農業所得との比較でも 20 ポイント以上増加している。

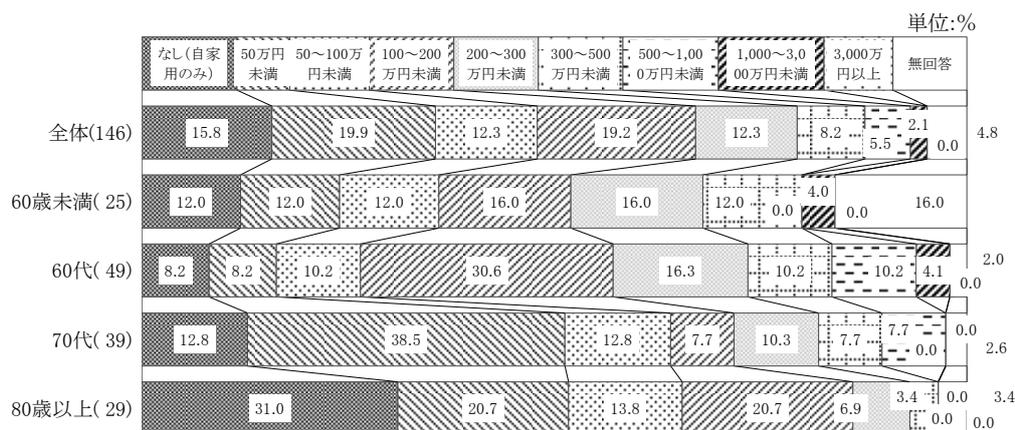
【今後の年間農業所得】

現在の収入より年収のアップを希望する農家の比率は〈なし(自家用のみ)〉で約 20%、〈50 万円未満〉で 30%台、〈50~100 万円未満〉・〈100~200 万円未満〉で 60%台、〈200~300 万円未満〉では 40%台となっており、50~200 万円未満の層を中心に年収アップを希望する農家が多い。

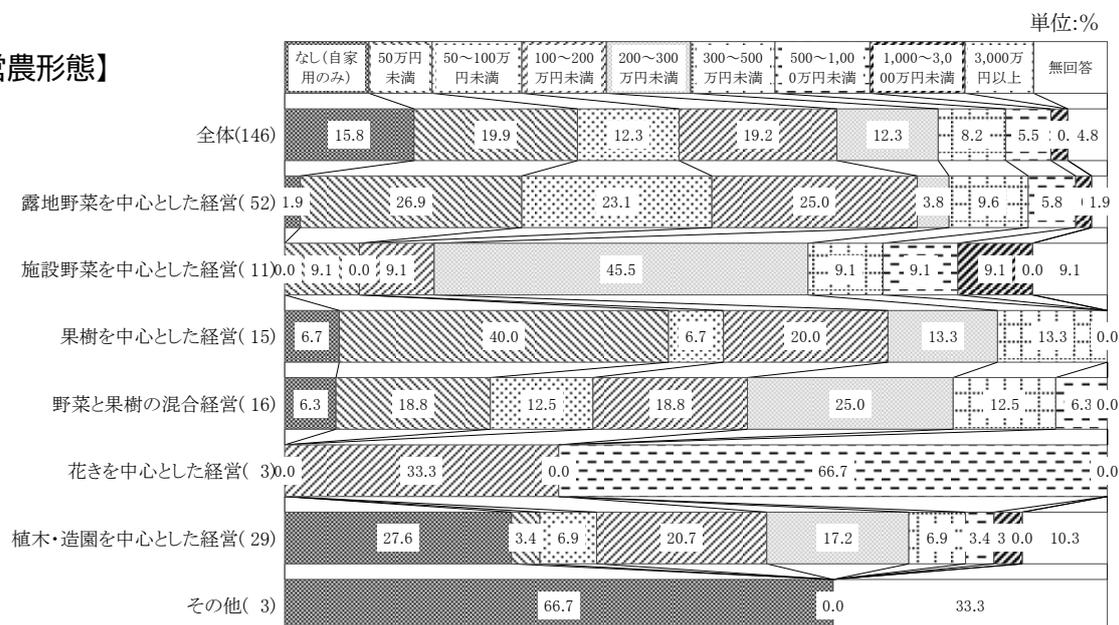
【地区】



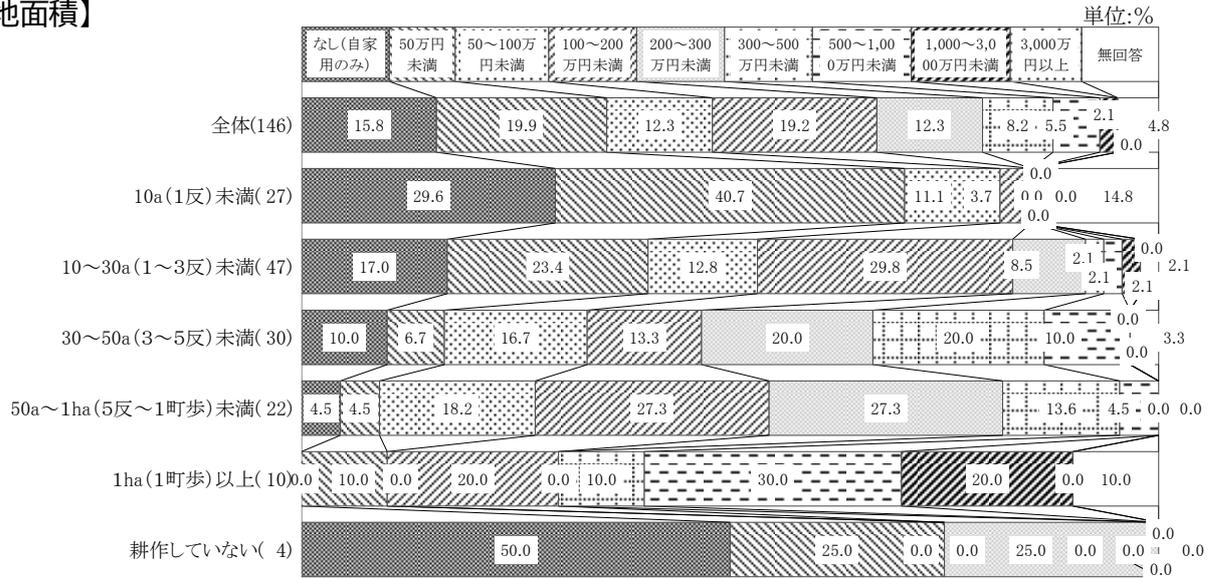
【年齢】



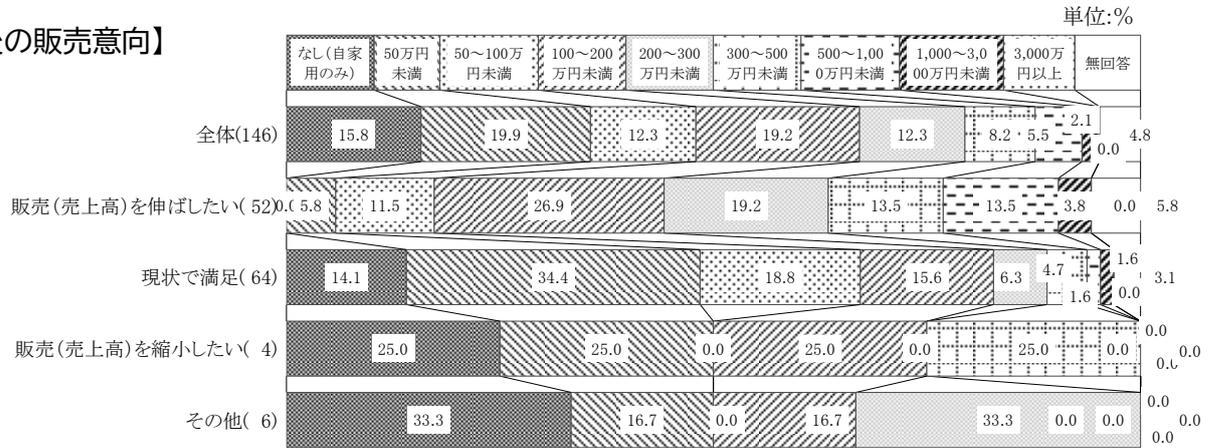
【営農形態】



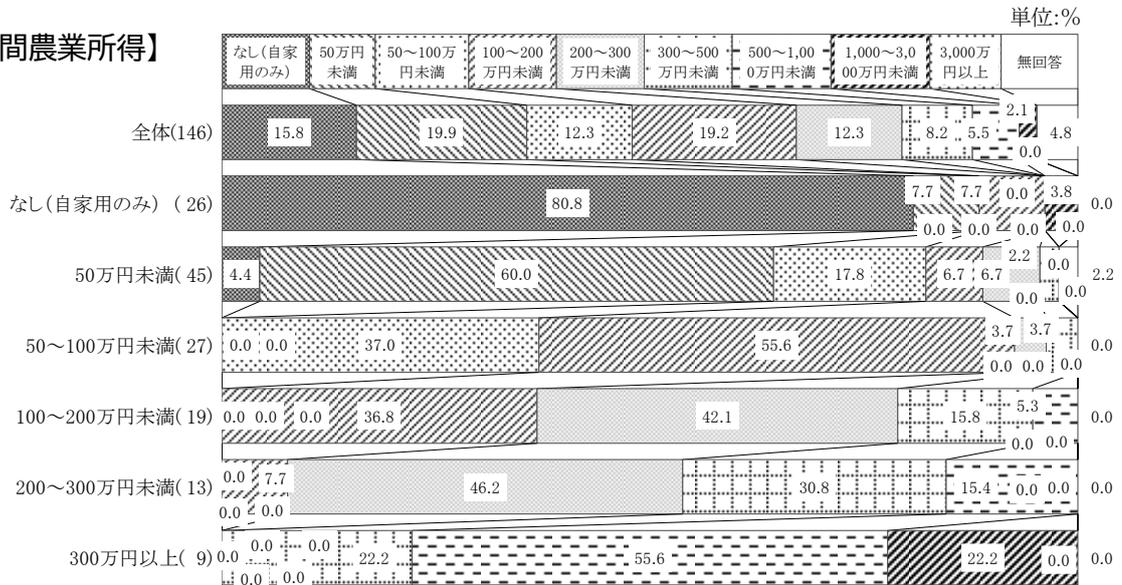
【耕地面積】



【今後の販売意向】

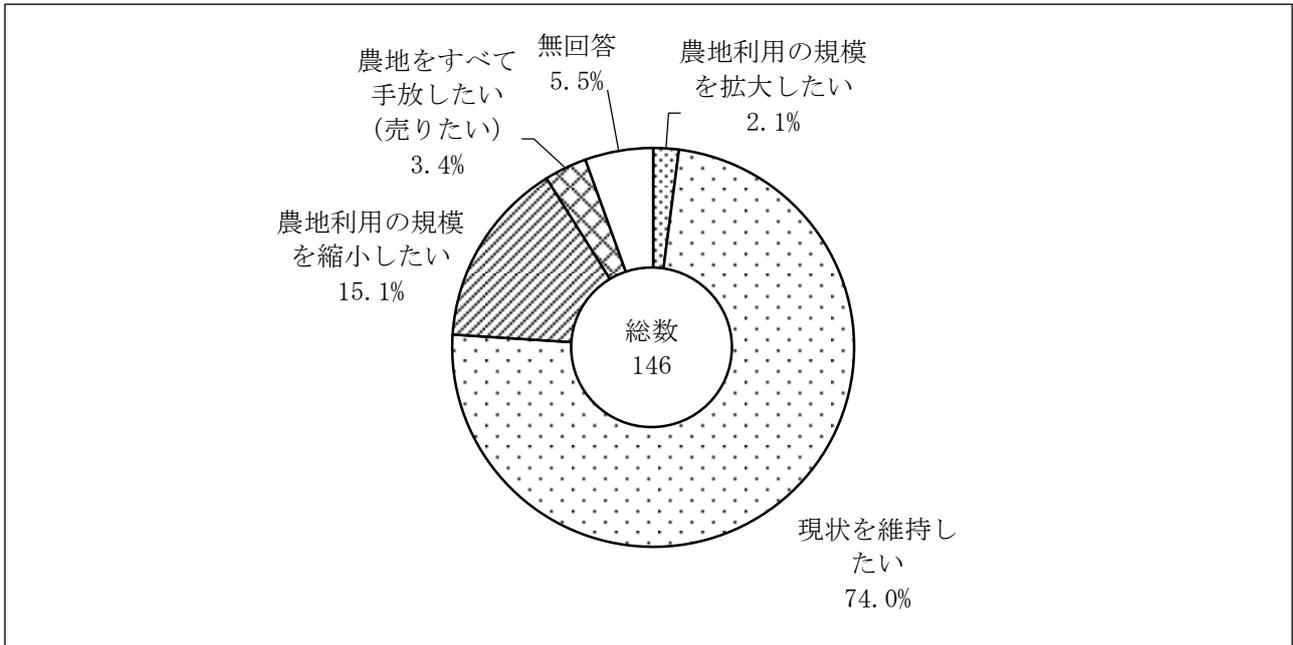


【今後の年間農業所得】



### (3) 10年先の農地利用の規模

あなたは、概ね10年先の農業経営について、農地利用の規模をどのようにお考えですか。(1つだけに○)



「現状を維持したい」が74.0%で最も多い。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）18.5%であるのに対し、「農地利用の規模を拡大したい」という拡大派は2.1%にとどまっている。

#### ■属性別■

##### 【地区】

「農地利用の規模を拡大したい」は〈北東エリア(関野町、梶野町)〉及び〈中心エリア(緑町・本町)〉で1桁台あるのみで、他の地区ではない。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）は〈南東エリア(東町・中町)〉及び〈南西エリア(前原町・貫井南町)〉で20%台と多い。

##### 【年齢】

「農地利用の規模を拡大したい」は〈60代〉及び〈70代〉で1桁台あるのみで、他の年齢層ではない。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）は〈80歳以上〉で30%台と多い。

##### 【営農形態】

「農地利用の規模を拡大したい」は〈施設野菜を中心とした経営〉及び〈露地野菜を中心とした経営〉で1桁台あるのみで、他の属性ではない。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）は〈植木・造園を中心とした経営〉や〈野菜と果樹の混合経営〉で全体の1/4以上と他の属性に比べて多くなっている。

##### 【耕地面積】

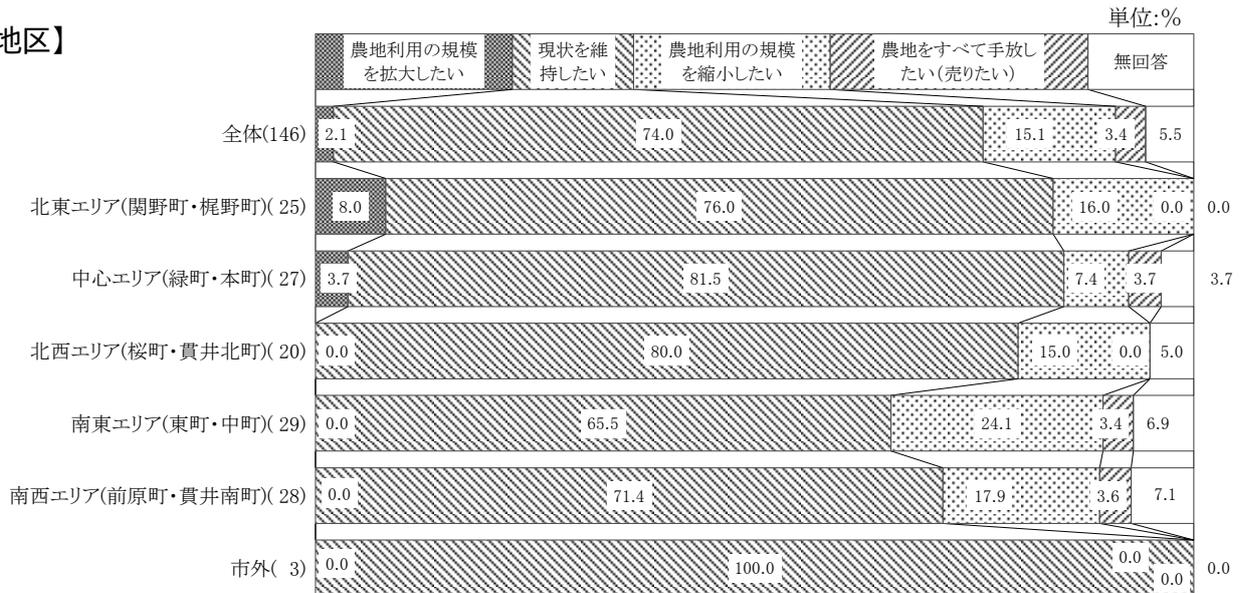
「農地利用の規模を拡大したい」は〈1ha（1町歩）以上〉で10%と他の属性に比べて多い。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）は

〈10～30a（1～3反）未満〉や〈10a（1反）未満〉で20%台と他の属性に比べて多くなっている。

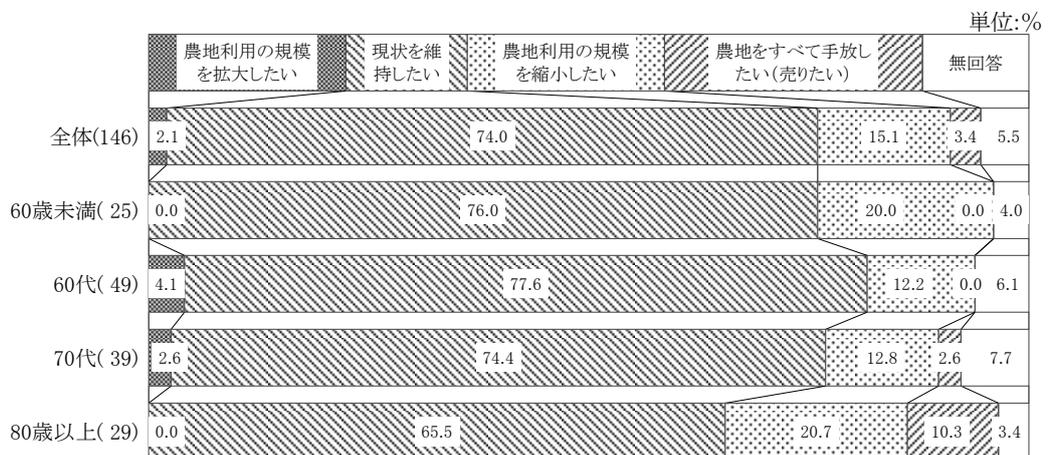
【今後の年間農業所得】

「農地利用の規模を拡大したい」は〈300万円以上〉や〈200～300万円未満〉で1桁台あるのみで、他の属性ではない。縮小派（「農地利用の規模を縮小したい」と「農地をすべて手放したい（売りたい）」の合計）は〈50～100万円未満〉や〈なし（自家用のみ）〉で20%台と他の属性に比べて多くなっている。

【地区】

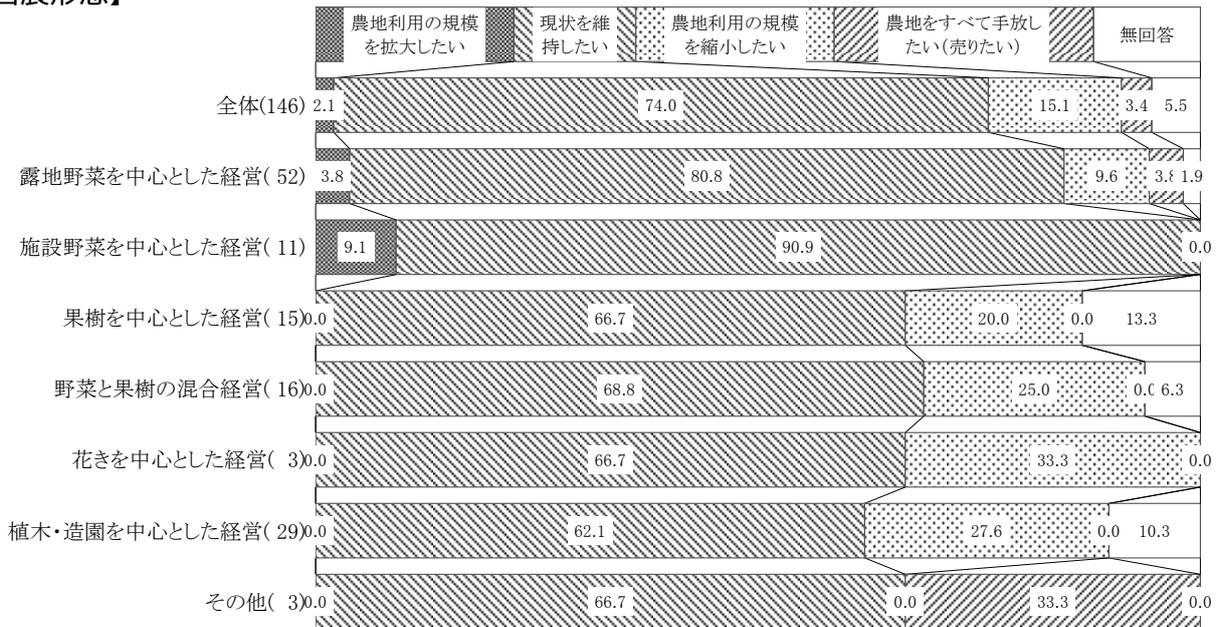


【年齢】



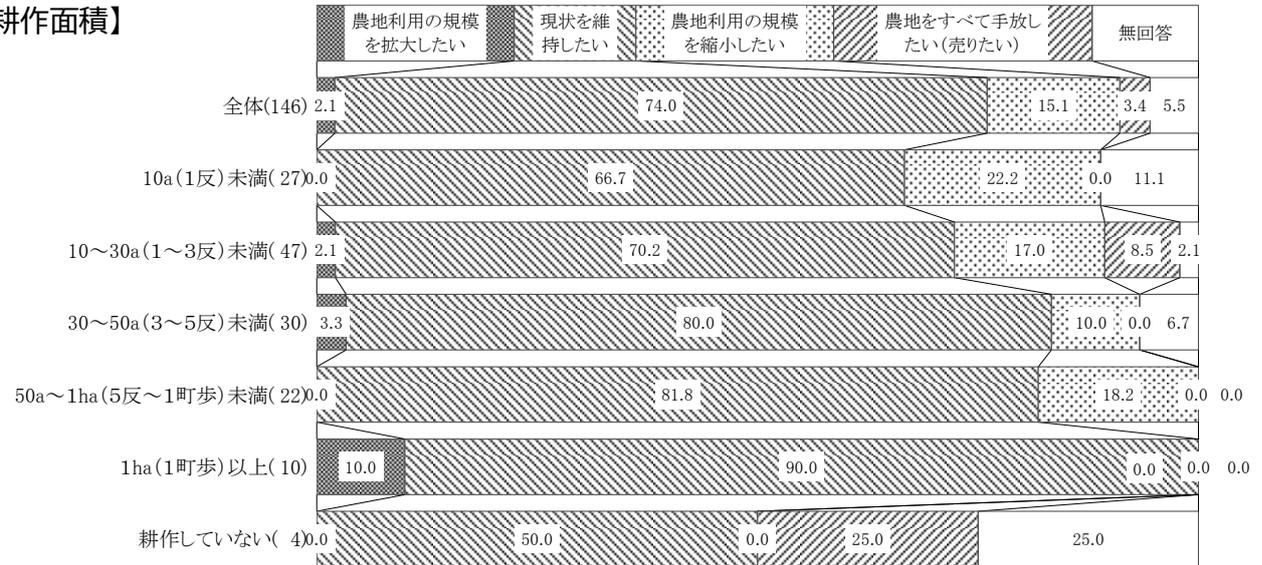
【営農形態】

単位:%



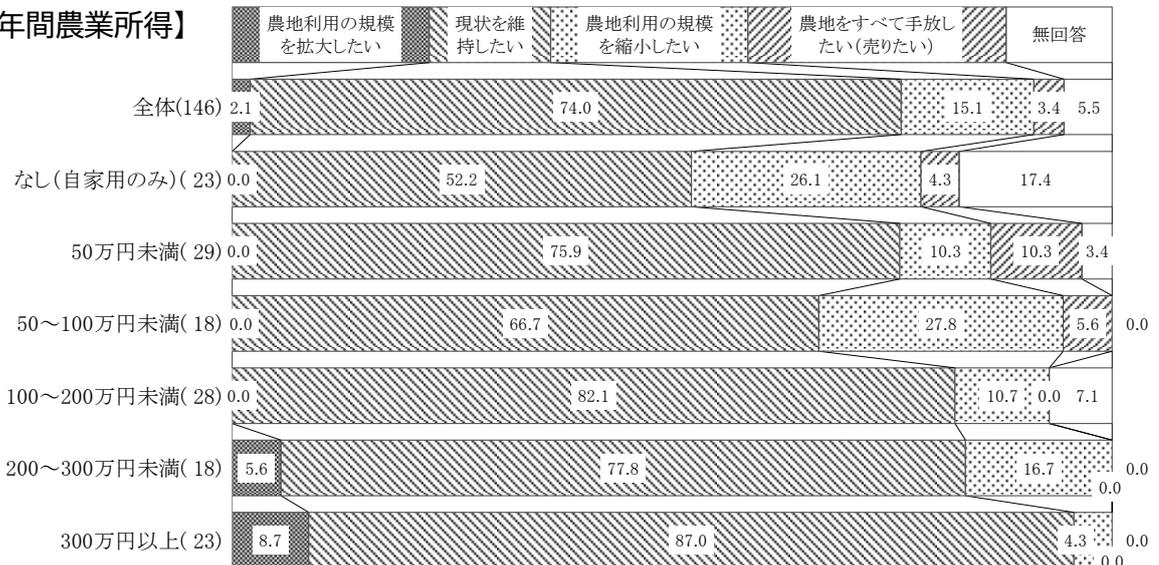
【耕作面積】

単位:%



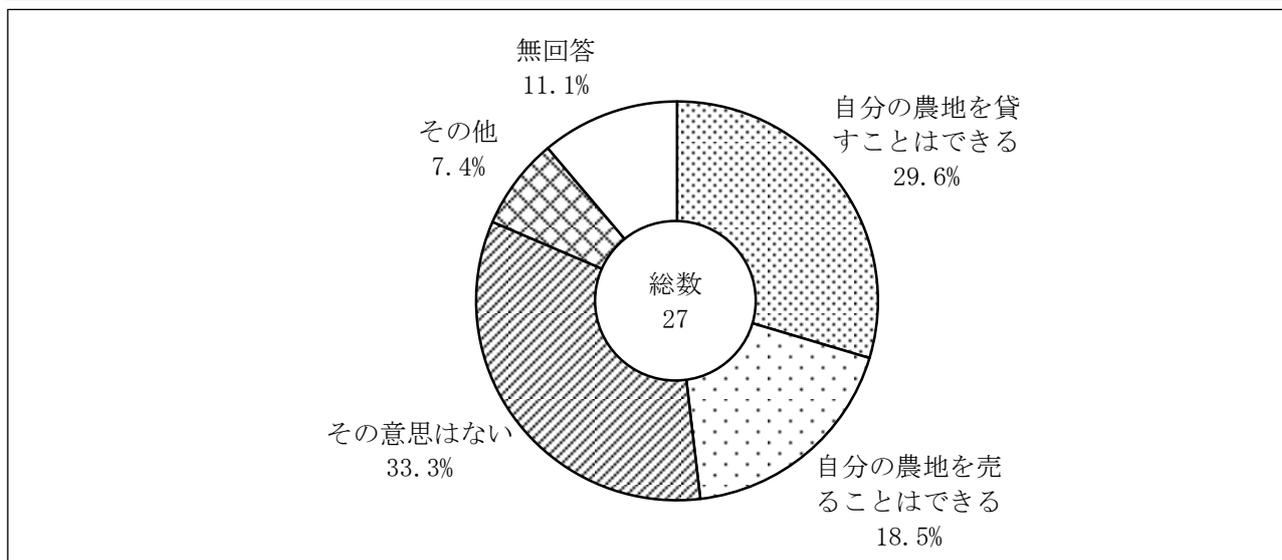
【今後の年間農業所得】

単位:%



### (3) -1 農地を貸したり、売ったりすること

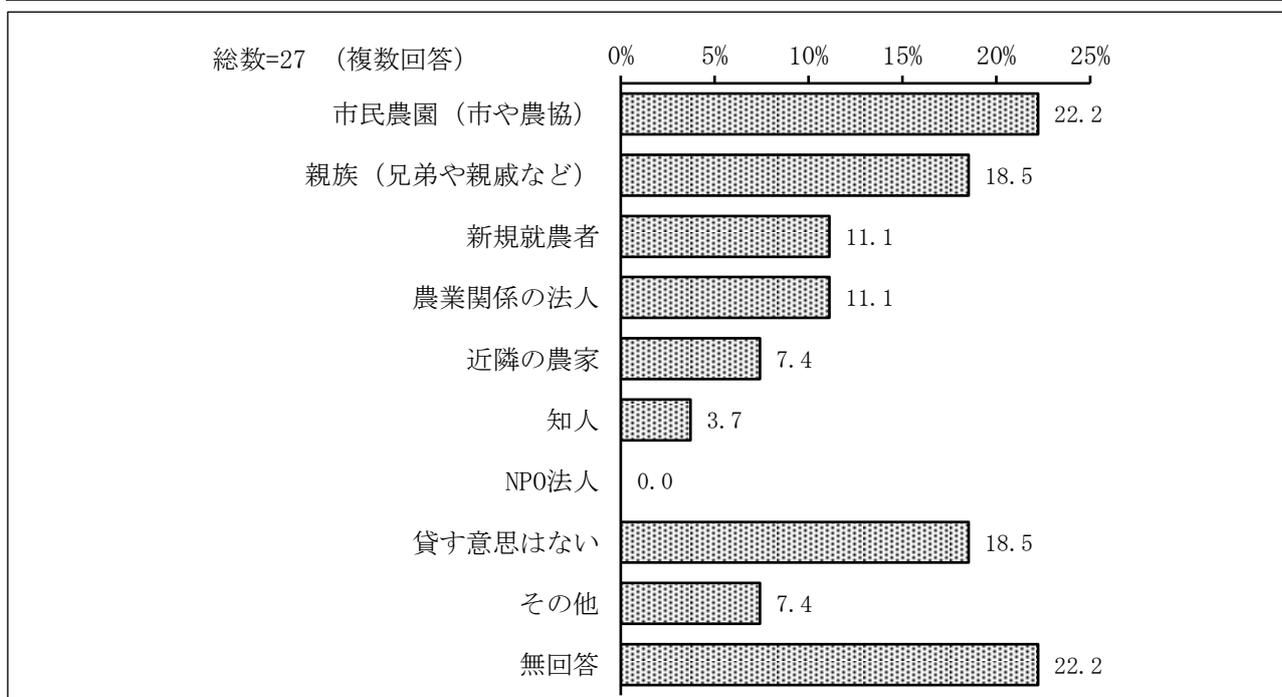
(3) で、「農地利用の規模を縮小したい」・「農地をすべて手放したい (売りたい)」を選ばれた方にお聞きします。農業経営のために規模拡大したい農家や、活用したい農家がいれば、条件次第ではありますが、あなたの農地を貸したり、売ったりすることはできますか。(1つだけに○)



「その意思はない」が 33.3%で最も多い。「自分の農地を貸すことはできる」農家が 29.6%、「自分の農地を売ることができる」農家は 18.5%となっている。

### (3) -2 農地を貸してもよい相手

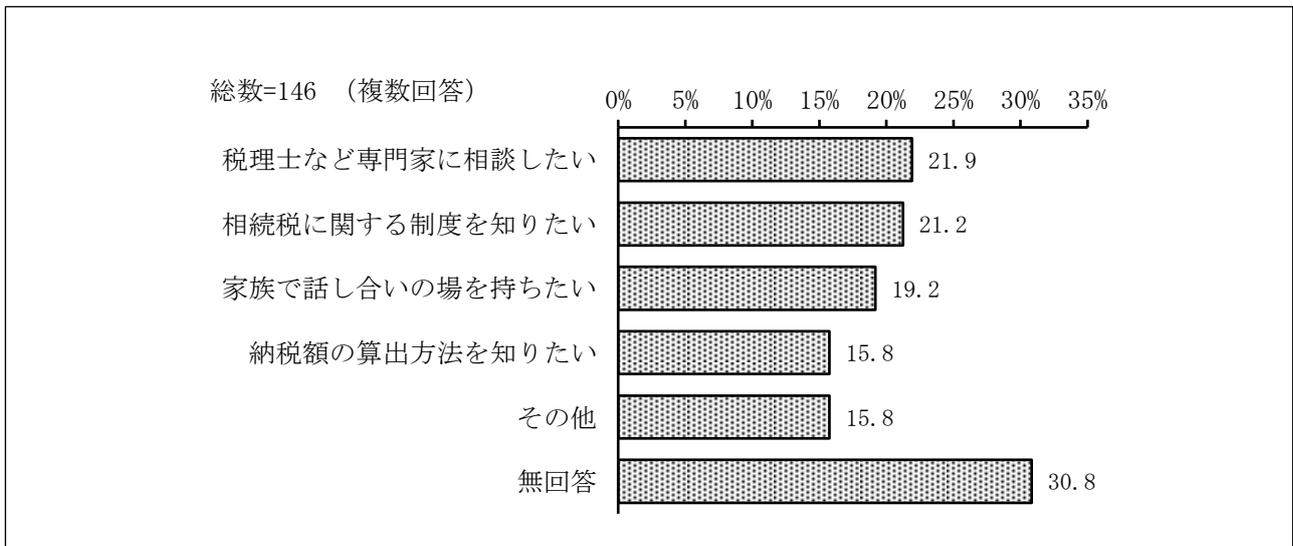
(3) で、「農地利用の規模を縮小したい」・「農地をすべて手放したい (売りたい)」を選ばれた方にお聞きします。あなたの農地を貸してもよい相手を教えてください。(いくつでも○)



「市民農園 (市や農協)」が 22.2%で最も多く、以下「親族 (兄弟や親戚など)」(18.5%)、「新規就農者」(11.1%)、「農業関係の法人」(11.1%)が続いている。

#### (4) 相続について

相続に関することについて、当てはまるものを教えてください。(いくつでも○)



「税理士など専門家に相談したい」が21.9%で最も多く、以下「相続税に関する制度を知りたい」(21.2%)、「家族で話し合いの場を持ちたい」(19.2%)、「納税額の算出方法を知りたい」(15.8%)が続いている。

「その他」では「既に相談している」、「相続中である」、「話し合い済みである」等の意見がある。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

〈60歳未満〉では「相続税に関する制度を知りたい」や「納税額の算出方法を知りたい」が他の年齢層に比べて多い。〈60代〉では「家族で話し合いの場を持ちたい」が比較的多い。また、〈70代〉では「税理士など専門家に相談したい」が30%台と多くなっている。

##### 【耕地面積】

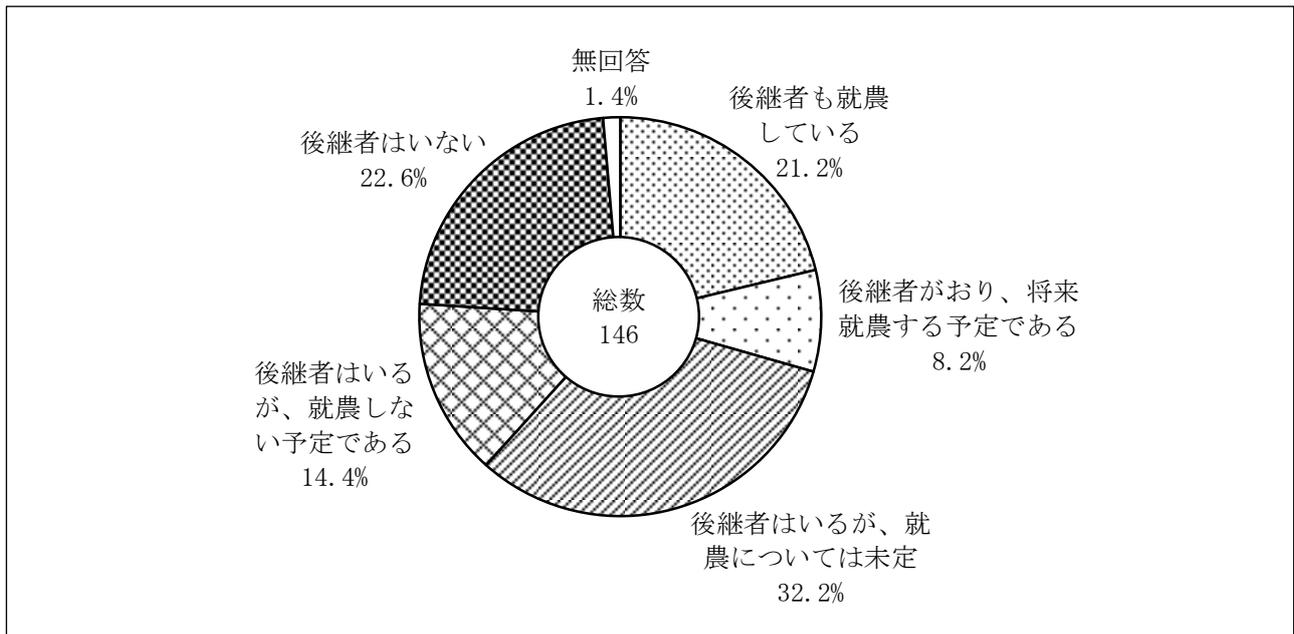
「相続税に関する制度を知りたい」や「家族で話し合いの場を持ちたい」は耕作面積が広いほど比率が高い傾向がみられる。また、「税理士など専門家に相談したい」は〈10～30a(3～5反)未満〉で30%台と多い。

		全体	相続税に関する制度を知りたい	納税額の算出方法を知りたい	税理士など専門家に相談したい	家族で話し合いの場を持ちたい	その他	無回答
全体		146	<b>21.2</b>	15.8	<b>21.9</b>	19.2	15.8	30.8
年齢	60歳未満	25	<b>28.0</b>	<b>24.0</b>	20.0	16.0	16.0	36.0
	60代	49	16.3	8.2	14.3	<b>26.5</b>	<b>22.4</b>	32.7
	70代	39	<b>20.5</b>	17.9	<b>33.3</b>	<b>20.5</b>	5.1	25.6
	80歳以上	29	<b>24.1</b>	17.2	<b>24.1</b>	10.3	17.2	27.6
耕作している農地の面積	10a（1反）未満	27	14.8	7.4	<b>25.9</b>	11.1	<b>22.2</b>	48.1
	10～30a（1～3反）未満	47	19.1	<b>21.3</b>	<b>31.9</b>	12.8	14.9	27.7
	30～50a（3～5反）未満	30	<b>20.0</b>	6.7	6.7	<b>26.7</b>	16.7	33.3
	50a～1ha（5反～1町歩）未満	22	22.7	22.7	<b>27.3</b>	<b>31.8</b>	4.5	22.7
	1ha（1町歩）以上	10	<b>30.0</b>	20.0	10.0	<b>40.0</b>	<b>30.0</b>	-
	耕作していない	4	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	-	-	-	75.0

※凡例：99.9（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

## (5) 後継者の状況

後継者の状況について教えてください。(1つだけに○)



22.6%が「後継者はいない」、14.4%が「後継者はいるが、就農しない予定である」と回答している。また、32.2%は「後継者はいるが就農については未定」と回答していることから、将来も就農が期待できる農家（「後継者も就農している」と「後継者がおり、将来就農する予定である」の合計）は全体の30%弱にとどまる。

### ■属性別■

#### 【地区】

〈北東エリア(関野町・梶野町)〉では「後継者がいない」と「後継者はいるが、就農しない予定である」の合計が50%以上となっており、半数以上の農家が将来の就農者がいない状況となっている。一方、〈中心エリア(緑町・本町)〉や〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉では「後継者も就農している」及び「後継者がおり、将来就農する予定である」の合計が40%以上となっている。

#### 【年齢】

「後継者がいない」と「後継者はいるが、就農しない予定である」の合計は70代以下の年齢層では30~40%台ある一方、〈80歳以上〉では20%程度と少ない。「後継者も就農している」は〈60代〉及び〈70代〉20%台半ばと他の年齢層に比べて多い。

#### 【営農形態】

「後継者がいない」は〈露地野菜を中心とした経営〉で30%台と多い。一方、「後継者も就農している」は〈施設野菜を中心とした経営〉で60%台と多い。

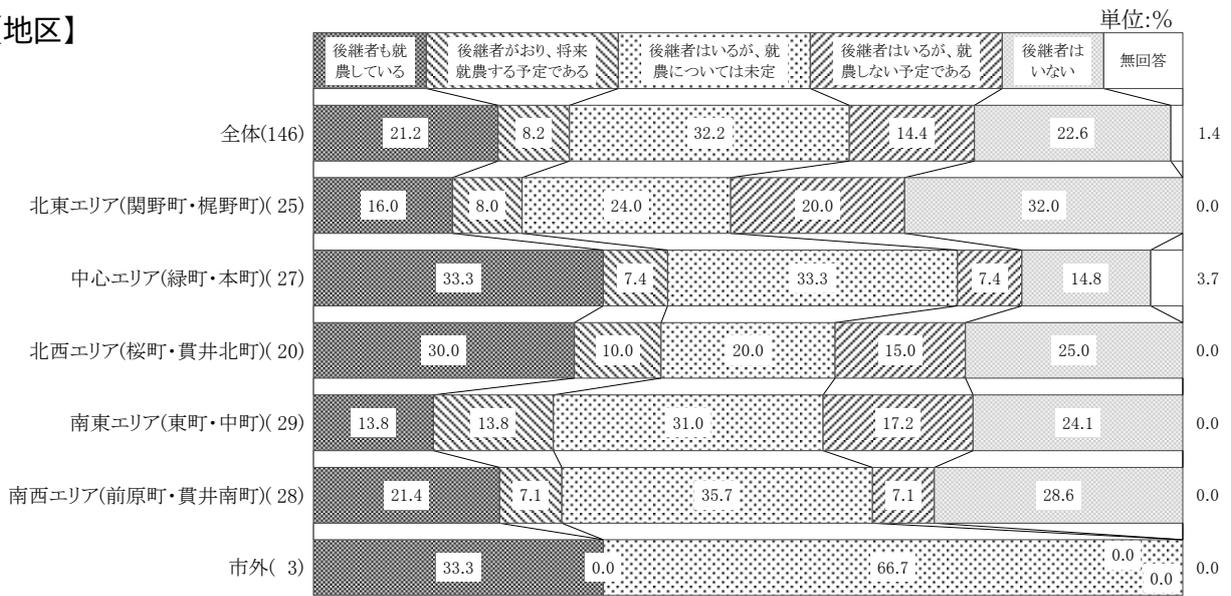
#### 【耕地面積】

「後継者も就農している」は耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。一方、「後継者がいない」及び「後継者はいるが、就農しない予定である」は耕地面積が狭いほど多い傾向がみられる。

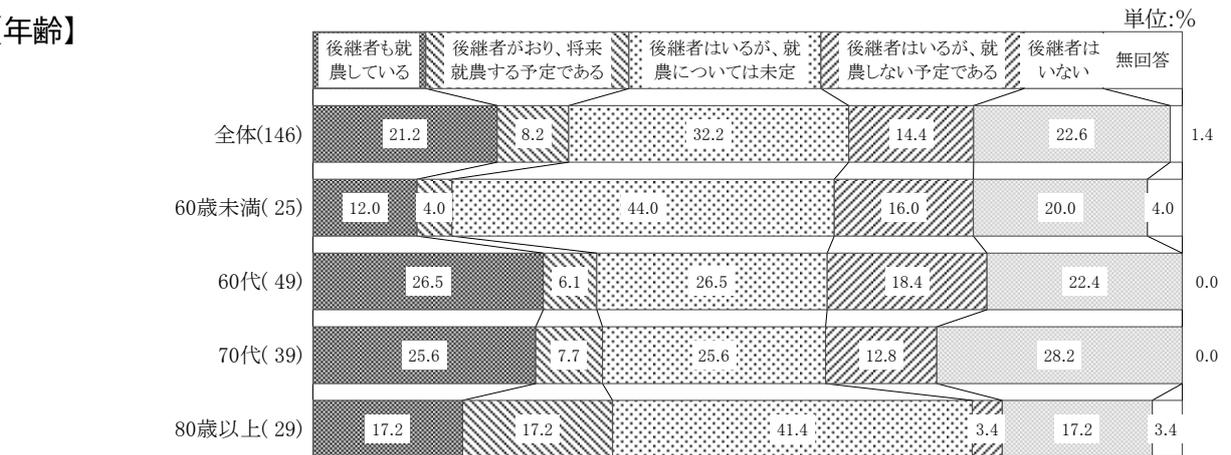
#### 【現在の年間農業所得】

「後継者がいない」は 300 万円未満の年齢層では 20%台である一方、〈300 万円以上〉では 10%程度と少ない。また、「後継者も就農している」は 200 万円以上の所得層では 40%台と多い。

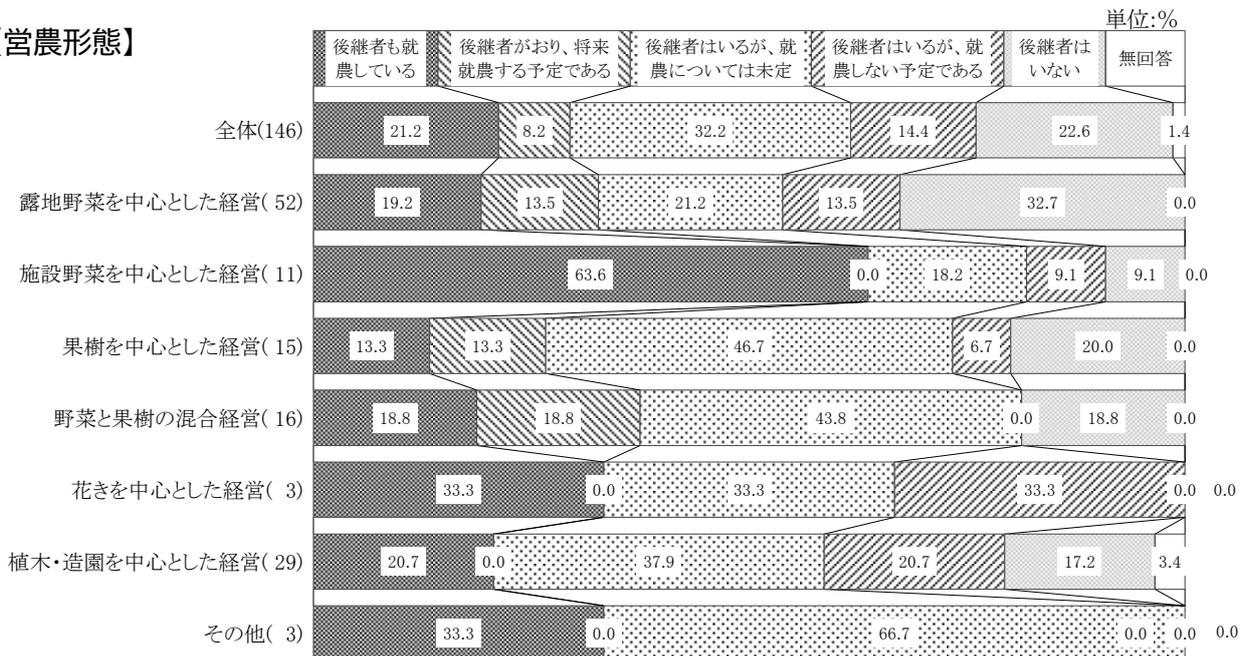
【地区】



【年齢】

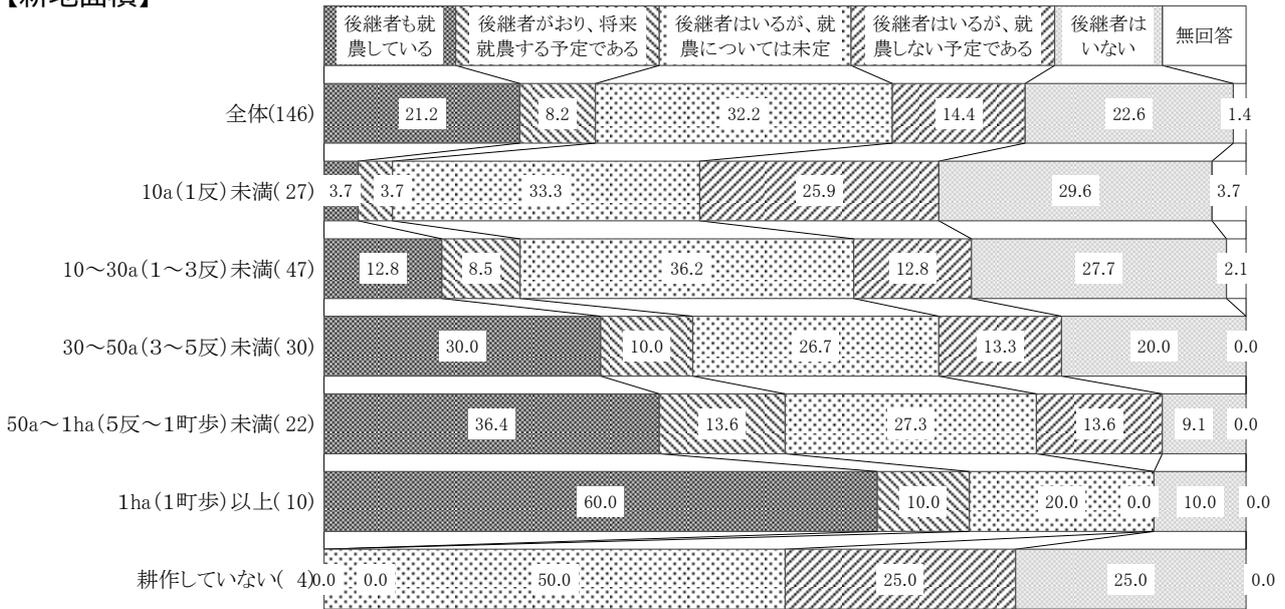


【営農形態】



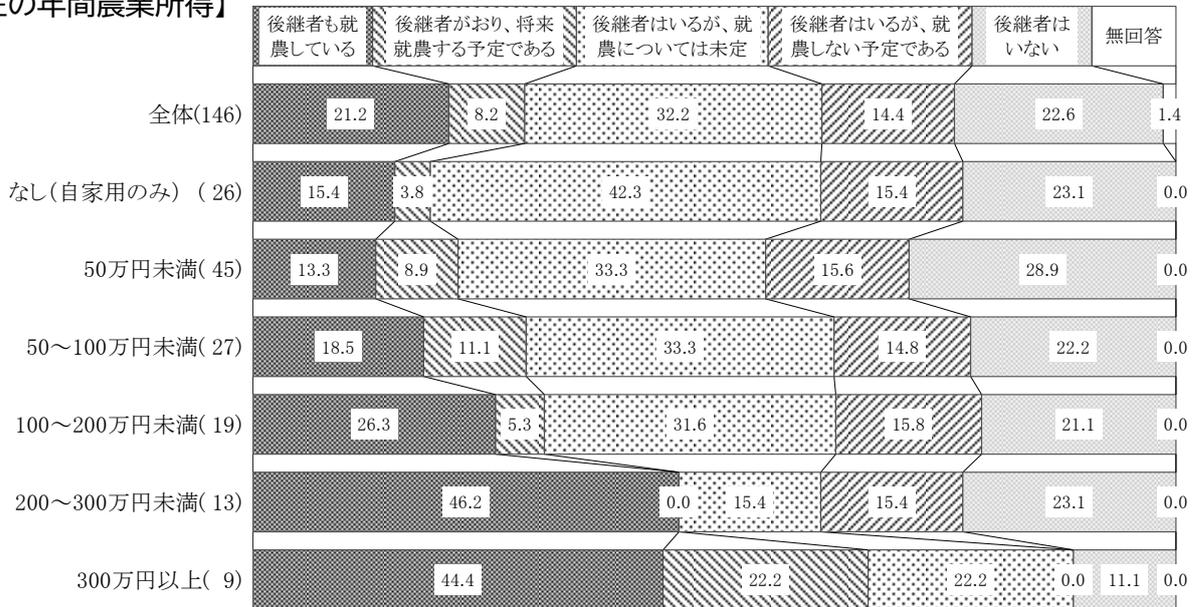
【耕地面積】

単位:%



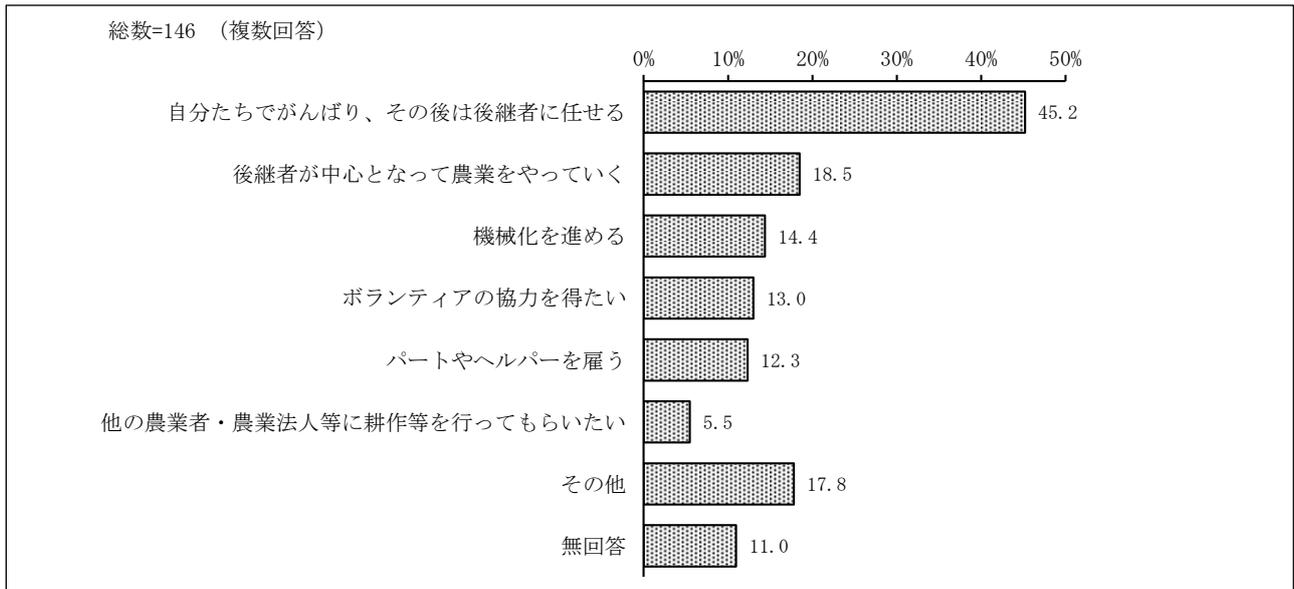
【現在の年間農業所得】

単位:%



## (6) 今後の担い手・労働力について

今後の担い手や労働力について考えていることを教えてください。(いくつでも○)



「自分たちでがんばり、その後は後継者に任せる」が 45.2%で最も多い。以下、「後継者が中心となって農業をやっていく」(18.5%)、「機械化を進める」(14.4%)、「ボランティアの協力を得たい」(13.0%)、「パートやヘルパーを雇う」(12.3%)が 10%台が続いている。

### ■属性別■

#### 【年齢】

「自分たちでがんばり、その後は後継者に任せる」は〈60代〉及び〈70代〉で 50%前後と他の年齢層に比べて多い。また、「機械化を進める」は〈60代〉で 20%代半ばとなっており、他の年齢層に比べて多い。

#### 【営農形態】

「自分たちでがんばり、その後は後継者に任せる」は〈施設野菜を中心とした経営〉で 60%台と多い。また、「パートやヘルパーを雇う」は〈果樹を中心とした経営〉で 20%台半ばと他の年齢層に比べて多い。

#### 【耕地面積】

「後継者が中心になって農業をやっていく」や「パートやヘルパーを雇う」、「機械化を進める」などは耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。

#### 【今後の年間農業所得】

「後継者が中心になって農業をやっていく」や「パートやヘルパーを雇う」、「機械化を進める」などは将来の年間所得が高いほど多い傾向がみられる。

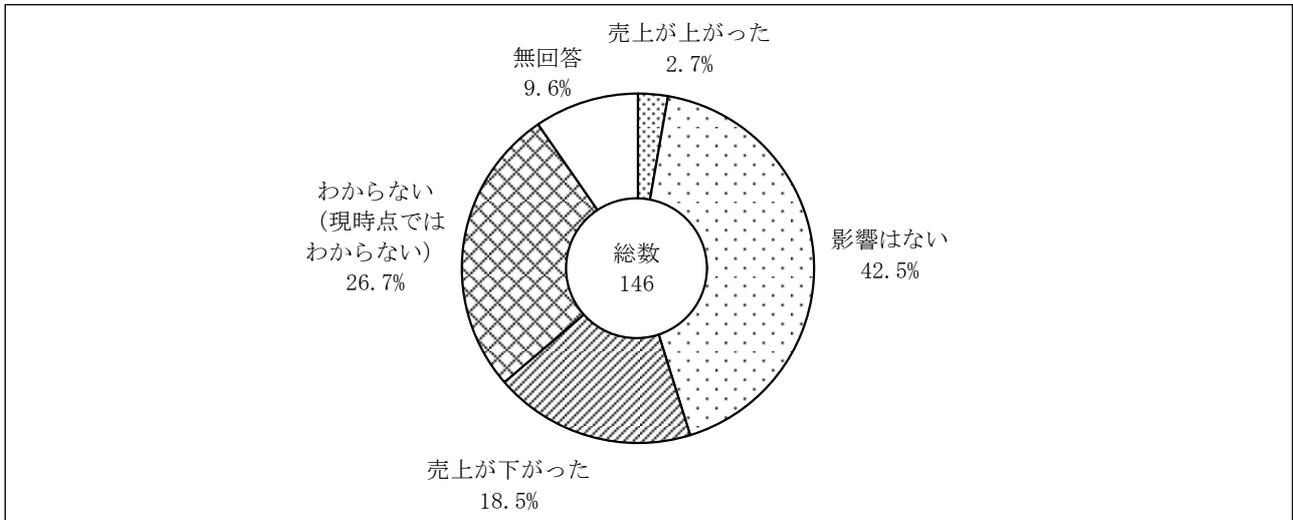
		全体	自分たちでがんばり、その後は後継者に任せる	後継者が中心となって農業をやっていく	ボランティアの協力を得たい	パートやヘルパーを雇う	機械化を進める	他の農業者・農業法人等に耕作等を行ってもらいたい	その他	無回答
	全体	146	<b>45.2</b>	<b>18.5</b>	13.0	12.3	14.4	5.5	17.8	11.0
年齢	60歳未満	25	<b>40.0</b>	16.0	16.0	16.0	12.0	4.0	<b>20.0</b>	16.0
	60代	49	<b>51.0</b>	22.4	16.3	16.3	<b>26.5</b>	6.1	20.4	6.1
	70代	39	<b>48.7</b>	<b>15.4</b>	12.8	7.7	5.1	2.6	<b>15.4</b>	10.3
	80歳以上	29	<b>41.4</b>	<b>17.2</b>	6.9	10.3	10.3	10.3	13.8	10.3
営農形態	露地野菜を中心とした経営	52	<b>44.2</b>	15.4	<b>26.9</b>	13.5	21.2	7.7	17.3	9.6
	施設野菜を中心とした経営	11	<b>63.6</b>	<b>45.5</b>	-	-	9.1	-	-	-
	果樹を中心とした経営	15	<b>53.3</b>	13.3	13.3	<b>26.7</b>	-	-	6.7	13.3
	野菜と果樹の混合経営	16	<b>50.0</b>	<b>18.8</b>	6.3	12.5	<b>18.8</b>	6.3	12.5	-
	花きを中心とした経営	3	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	-
	植木・造園を中心とした経営	29	<b>48.3</b>	20.7	3.4	13.8	13.8	10.3	<b>24.1</b>	10.3
	その他	3	<b>33.3</b>	-	-	-	<b>33.3</b>	-	<b>33.3</b>	-
耕作している農地の面積	10a（1反）未満	27	<b>44.4</b>	-	3.7	3.7	-	3.7	<b>22.2</b>	29.6
	10～30a（1～3反）未満	47	<b>42.6</b>	17.0	17.0	4.3	8.5	4.3	<b>27.7</b>	10.6
	30～50a（3～5反）未満	30	<b>56.7</b>	20.0	16.7	16.7	<b>23.3</b>	6.7	10.0	-
	50a～1ha（5反～1町歩）未満	22	<b>54.5</b>	<b>36.4</b>	9.1	18.2	27.3	-	9.1	4.5
	1ha（1町歩）以上	10	30.0	<b>40.0</b>	30.0	<b>50.0</b>	<b>40.0</b>	10.0	-	-
	耕作していない	4	<b>25.0</b>	-	-	-	-	-	<b>50.0</b>	25.0
今後の年間農業所得	なし（自家用のみ）	23	<b>34.8</b>	4.3	-	-	4.3	8.7	<b>21.7</b>	26.1
	50万円未満	29	<b>27.6</b>	6.9	13.8	13.8	3.4	10.3	<b>20.7</b>	17.2
	50～100万円未満	18	<b>61.1</b>	11.1	<b>16.7</b>	-	11.1	5.6	<b>16.7</b>	16.7
	100～200万円未満	28	<b>60.7</b>	<b>32.1</b>	17.9	17.9	17.9	7.1	14.3	3.6
	200～300万円未満	18	<b>38.9</b>	<b>27.8</b>	5.6	16.7	16.7	-	<b>27.8</b>	-
	300万円以上	23	<b>47.8</b>	34.8	26.1	26.1	<b>39.1</b>	-	4.3	-

※凡例：**99.9**（太文字・下線）：第1位、**99.9**（太文字）：第2位、*99.9*（斜体）：第3位

## 4 新型コロナウイルス感染拡大による影響について

### (1) 農業分野の売上への影響

農業分野の売上にどのような影響がありましたか。(1つだけに○)



「影響はない」が42.5%で最も多い。「売上が下がった」は18.5%、「売上が上がった」は2.7%で、26.7%は「わからない(現時点ではわからない)」と回答している。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

「売上が下がった」は〈60代〉で30%台、〈60歳未満〉では30%弱と年齢層の比較的低い層で影響を感じている人が多い。

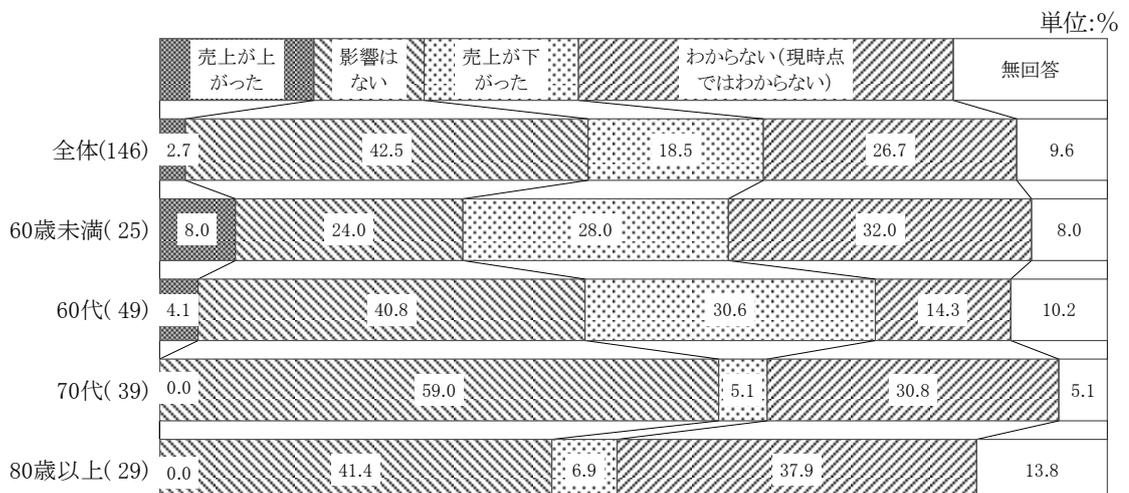
##### 【耕地面積】

「売上が下がった」は耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。

##### 【現在の年間農業所得】

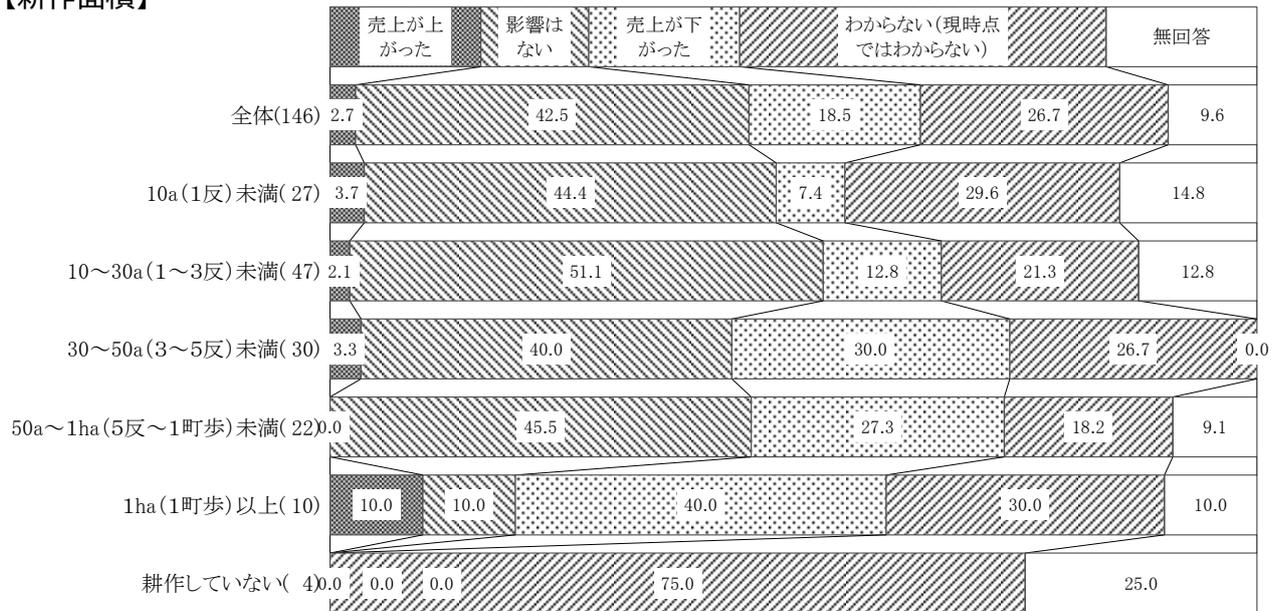
「売上が下がった」は200万円以上の層で30%台と多い。一方、「売上が上がった」は〈100～200万円未満〉で10%台と他の年齢層に比べて多い。

##### 【年齢】



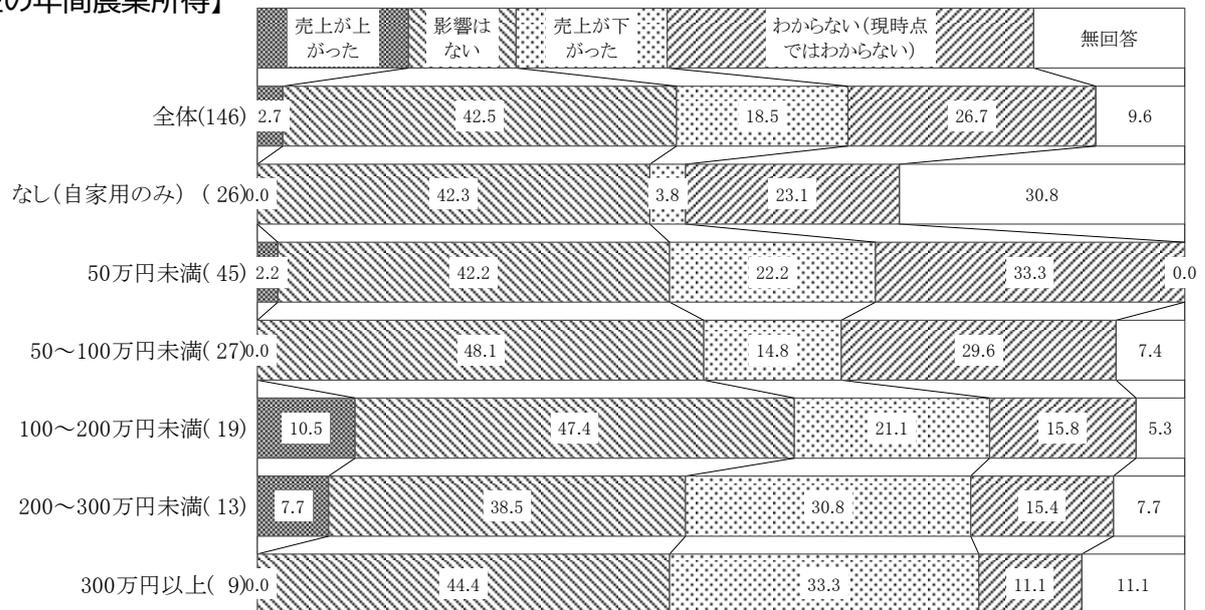
【耕作面積】

単位:%



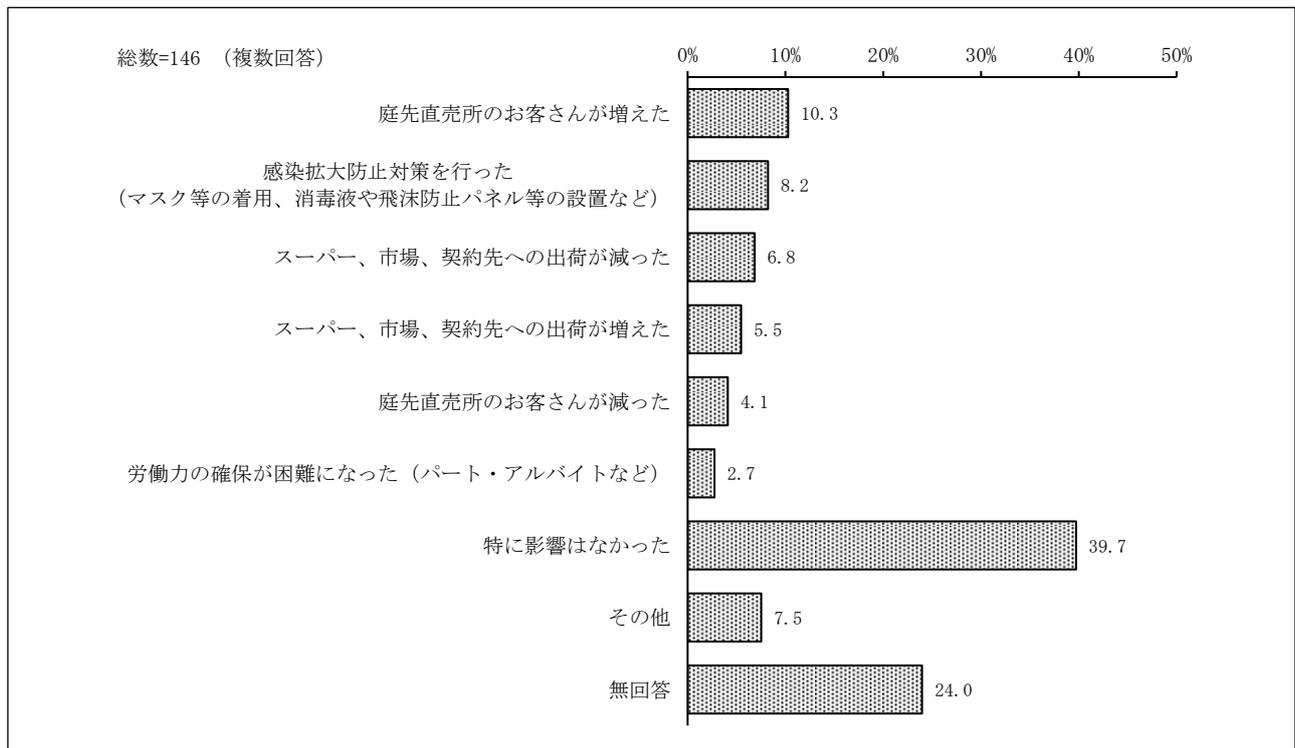
【現在の年間農業所得】

単位:%



## (2) 農業経営への影響

農業経営においてどのような影響がありましたか。(いくつでも○)



「特に影響はなかった」が 39.7%で最も多い。影響があった中では、「庭先直売所のお客さん」については、「増えた」(10.3%)が「減った」(4.1%)を上回っているが、「スーパー、市場、契約先への出荷」は「減った」(6.8%)が「増えた」(5.5%)を上回っている。また、「感染拡大防止対策を行った」は 8.2%となっている。

### ■属性別■

#### 【地区】

〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉では「特に影響はなかった」が 20%と少ない一方、「庭先直売所のお客さんが増えた」が 30%と多い。

#### 【年齢】

「特に影響はなかった」は〈70代〉で 50%台と多い。また、〈60代〉では「スーパー、市場、契約先への出荷が減った」や「スーパー、市場、契約先への出荷が増えた」が 10%台と他の年齢層に比べて多い。

#### 【現在の年間農業所得】

〈100~200万円未満〉や〈50~100万円未満〉では「庭先直売所のお客さんが増えた」が他の属性に比べて多い。一方、100万円以上の層では「スーパー、市場、契約先への出荷が増えた」が比較的多く、〈300万円以上〉では 20%台となっている。

		全体	スーパー、市場、契約先への出荷が増えた	スーパー、市場、契約先への出荷が減った	庭先直売所のお客さんが増えた	庭先直売所のお客さんが減った	感染拡大防止対策を行った(マスク等の着用、消毒液や飛沫防止パネル等の設置など)	労働力の確保が困難になった(パート・アルバイトなど)	特に影響はなかった	その他	無回答
	全体	146	5.5	6.8	<b>10.3</b>	4.1	8.2	2.7	<b>39.7</b>	7.5	24.0
地区	北東エリア(関野町・梶野町)	25	4.0	8.0	<b>12.0</b>	4.0	4.0	-	<b>44.0</b>	8.0	20.0
	中心エリア(緑町・本町)	27	3.7	<b>11.1</b>	7.4	-	7.4	3.7	<b>48.1</b>	3.7	22.2
	北西エリア(桜町・貫井北町)	20	5.0	15.0	<b>30.0</b>	5.0	10.0	-	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>	15.0
	南東エリア(東町・中町)	29	<b>10.3</b>	6.9	3.4	3.4	<b>10.3</b>	-	<b>55.2</b>	3.4	13.8
	南西エリア(前原町・貫井南町)	28	7.1	-	10.7	7.1	<b>14.3</b>	7.1	<b>42.9</b>	3.6	21.4
	市外	3	-	-	-	-	-	-	-	<b>33.3</b>	66.7
年齢	60歳未満	25	4.0	8.0	12.0	4.0	<b>16.0</b>	8.0	<b>36.0</b>	12.0	20.0
	60代	49	10.2	<b>14.3</b>	12.2	4.1	12.2	2.0	<b>30.6</b>	10.2	20.4
	70代	39	5.1	-	7.7	5.1	2.6	-	<b>51.3</b>	2.6	25.6
	80歳以上	29	-	3.4	<b>10.3</b>	-	3.4	3.4	<b>41.4</b>	6.9	31.0
現在の年間農業所得	なし(自家用のみ)	26	-	-	-	-	3.8	-	<b>34.6</b>	7.7	53.8
	50万円未満	45	2.2	<b>11.1</b>	8.9	4.4	2.2	2.2	<b>44.4</b>	11.1	24.4
	50~100万円未満	27	-	7.4	<b>18.5</b>	11.1	3.7	7.4	<b>44.4</b>	3.7	11.1
	100~200万円未満	19	15.8	5.3	21.1	-	<b>26.3</b>	5.3	<b>42.1</b>	-	5.3
	200~300万円未満	13	<b>15.4</b>	7.7	7.7	-	<b>15.4</b>	-	<b>30.8</b>	<b>15.4</b>	15.4
	300万円以上	9	<b>22.2</b>	11.1	11.1	11.1	11.1	-	<b>33.3</b>	11.1	-

※凡例：99.9 (太文字・下線)：第1位、**99.9** (太文字)：第2位、*99.9* (斜体)：第3位

### (3) ウィズコロナの時代における農業経営

今後、ウィズコロナの時代における農業経営について、どのような支援策が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

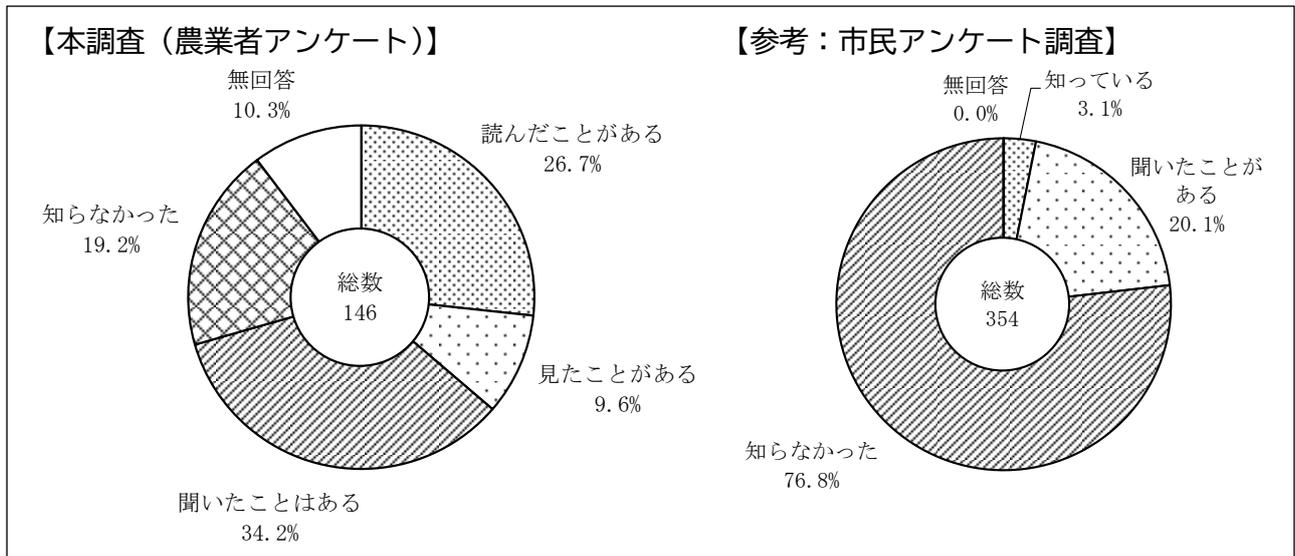
- 担い手の確保。
- 農産物の収穫と物流の支援をお願いしたい。
- 作業効率化のための施設投資に対する助成金、補助金の支援。
- 生産物の付加価値向上の為の技術支援。
- インターネットの活用を増やす。
- キャッシュレス化の普及や地産地消の拡充。
- 予約販売を増やす。
- 特別な枠（何か災害）等の。生産物が盗難にあった時の救済（保険）。
- 自動販売機等購入支援。
- ウィズコロナということではないですが、高齢者の方が重たい野菜を近くの直売の自販機で買ってありがたいと言っていたので、もう少し自販機を増やしやすくするような支援があったらありがたいです。
- 感染症なのでむき出しの野菜を売るのではなく袋やラップ 1 枚でも包装されたものを売る方が良いのではないですか。
- ワクチンを早く打てるようにする。毎年。
- ワクチン接種が全国民に完了すれば感染度が低下し、農業経営には影響がないのではないか。
- 消費税撤廃。
- このままウイルスコロナが続くと非常に困る。支援策と言ってもあるのか？

自動販売機等の購入支援やIT化支援などがあげられている。

## 5 農業施策について

### (1) 農業振興計画の認知度

あなたは、小金井市の農業振興計画をご存じですか。(1つだけに○)

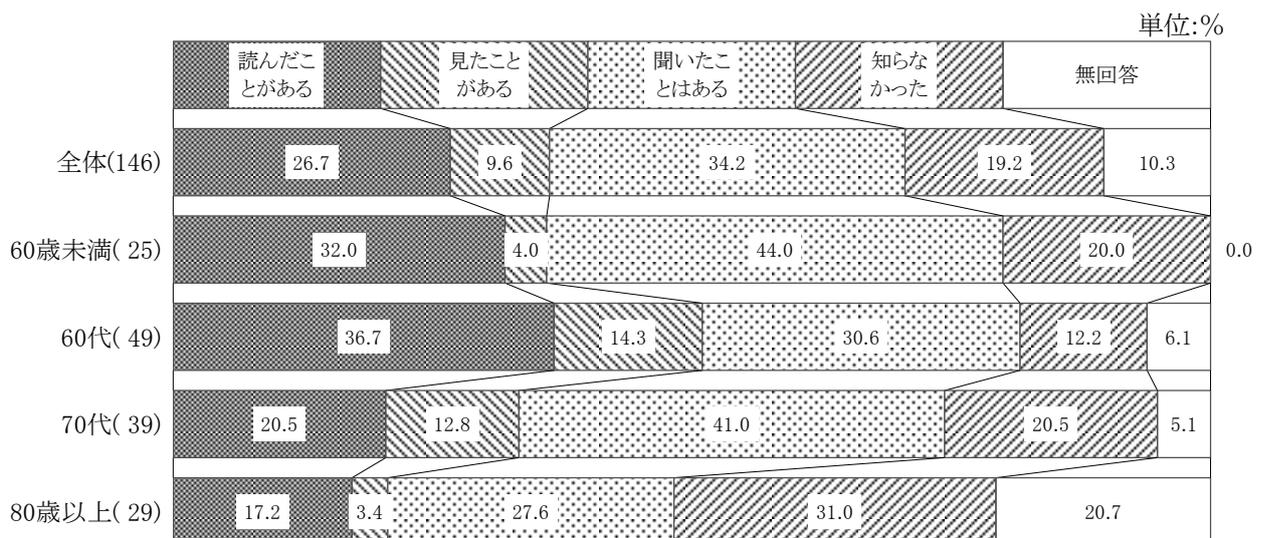


「知らなかった」は19.2%にとどまっており、「知らなかった」が76.8%であった市民アンケートに比べると認知度が高い。「読んだことがある」人も26.7%となっている。

#### ■属性別■

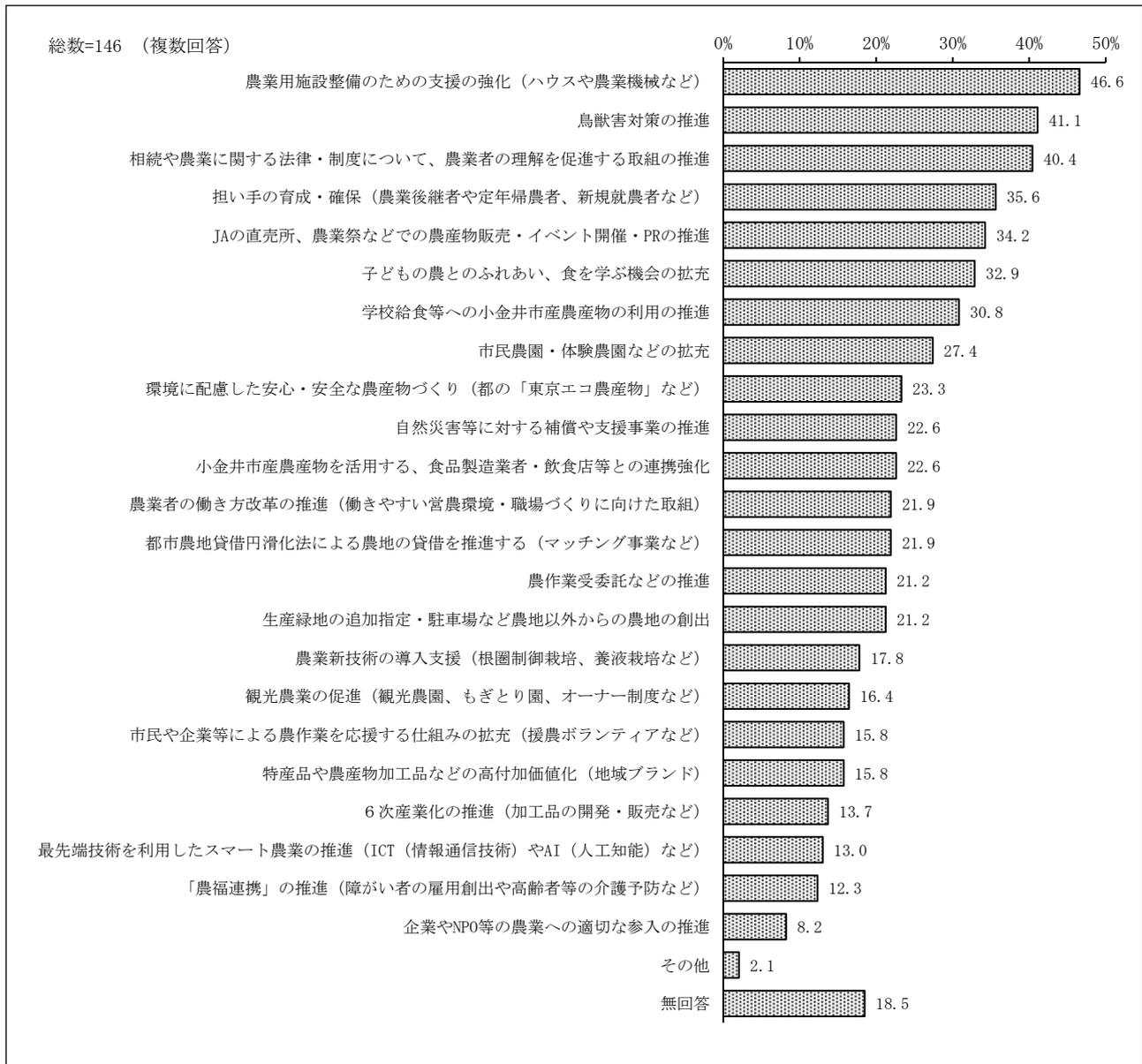
##### 【年齢】

〈60代〉で「読んだことがある」が30%台半ばとなっているなど、〈60代〉を中心に認知度が高くなっている。



## (2) 小金井市の農業をよりよくするための取組

小金井市全体の農業をよりよくするために、特に次の何に力を入れたらよいでしょうか。(いくつかでも○)



「農業用施設整備のための支援の強化 (ハウスや農業機械など)」が 46.6% で最も多く、以下、「鳥獣害対策の推進」(41.1%)、「相続や農業に関する法律・制度について、農業者の理解を促進する取組の推進」(40.4%)、「担い手の育成・確保 (農業後継者や定年帰農者、新規就農者など)」(35.6%)、「JA の直売所、農業祭などでの農産物販売・イベント開催・PR の推進」(34.2%)、「子どもの農とのふれあい、食を学ぶ機会の拡充」(32.9%)、「学校給食等への小金井市産農産物の利用の推進」(30.8%) などが続いている。

### ■属性別■

#### 【地区】

〈北東エリア(関野町・梶野町)〉では「農業用施設整備のための支援の強化 (ハウスや農業機械など)」や「鳥獣害対策の推進」などが市内地区では最多となっているほか、「農作業受委託な

どの推進」や「自然災害等に対する補償や支援事業の推進」なども他の地区に比べ比率が高くなっている。〈北西エリア（桜町・貫井北町）〉では「相続や農業に関する法律・制度について、農業者の理解を促進する取組の推進」が50%以上と多いほか、「市民農園・体験農園などの拡充」も40%と多い。また、〈南西エリア（前原町・貫井南町）〉では「JAの直売所、農業祭などでの農産物販売・イベント開催・PRの推進」が50%台と多くなっている。

#### 【年齢】

「農業用施設整備のための支援の強化（ハウスや農業機械など）」、「鳥獣害対策の推進」、「相続や農業に関する法律・制度について、農業者の理解を促進する取組の推進」、「担い手の育成・確保（農業後継者や定年帰農者、新規就農者など）」、「子どもの農とのふれあい、食を学ぶ機会の拡充」などの全体結果で上位の項目は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。また、〈60代〉では「JAの直売所、農業祭などでの農産物販売・イベント開催・PRの推進」や「学校給食等への小金井市産農産物の利用の推進」が50%前後と他の年齢層に比べて多い。

#### 【耕地面積】

「農業用施設整備のための支援の強化（ハウスや農業機械など）」、「担い手の育成・確保（農業後継者や定年帰農者、新規就農者など）」、「JAの直売所、農業祭などでの農産物販売・イベント開催・PRの推進」、「学校給食等への小金井市産農産物の利用の推進」は耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。また、「鳥獣害対策の推進」も〈1ha（1町歩）以上〉では若干少ないものの、耕地面積が広いほど多い傾向がみられる。

#### 【今後の年間農業所得】

「農業用施設整備のための支援の強化（ハウスや農業機械など）」、「相続や農業に関する法律・制度について、農業者の理解を促進する取組の推進」、「子どもの農とのふれあい、食を学ぶ機会の拡充」、「小金井市産農産物を活用する、食品製造業者・飲食店等との連携強化」、「農業新技術の導入支援（根圏制御栽培、養液栽培など）」などは所得額が高いほど多い傾向がみられる。また、「担い手の育成・確保（農業後継者や定年帰農者、新規就農者など）」は〈100～200万円未満〉及び〈200～300万円未満〉で50%台と多く、「学校給食等への小金井市産農産物の利用の推進」は〈200～300万円未満〉では全体の2/3を占めている。

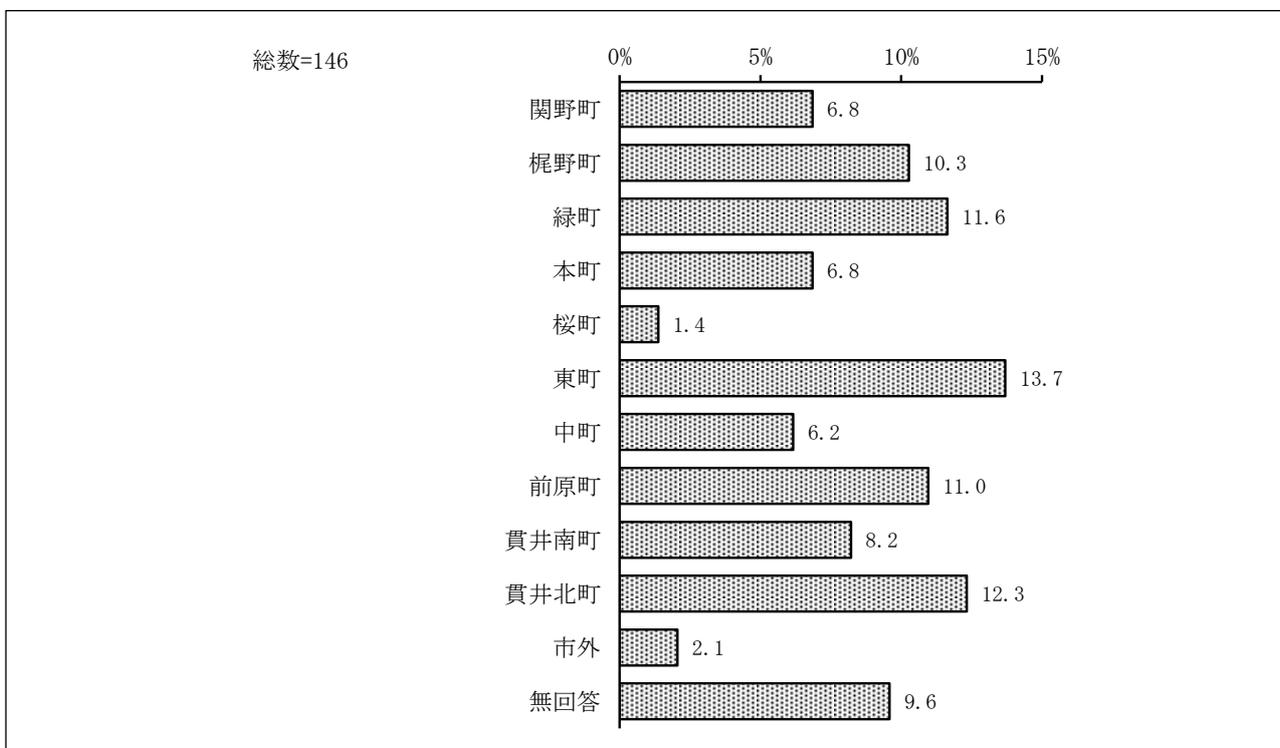
	全体	146	35.6	8.2	21.9	40.4	45.8	15.8	17.8	46.6	23.3	13.7	22.6	15.8	34.2	30.8	27.4	32.9	12.3	16.4	2.1	18.5
地区	北東エリア(関野町・梶野町)	25	48.0	12.0	32.0	48.0	12.0	24.0	20.0	56.0	28.0	16.0	24.0	16.0	40.0	32.0	28.0	44.0	12.0	24.0	-	4.0
	中心エリア(緑町・本町)	27	33.3	7.4	25.9	40.7	18.5	25.9	7.4	51.9	29.6	18.5	22.2	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3	18.5	22.2	-	11.1
	北西エリア(後町・真井北町)	20	20.0	5.0	15.0	55.0	5.0	31.0	10.3	41.4	20.7	13.8	30.0	35.0	27.6	34.5	24.1	15.0	-	15.0	-	20.0
	南東エリア(東町・中町)	29	48.3	17.2	10.3	31.0	13.8	24.1	17.2	51.7	41.4	20.7	10.3	13.8	27.6	27.6	24.1	48.3	13.8	13.8	6.9	17.2
	南西エリア(前原町・真井南町)	28	39.3	3.6	28.6	39.3	25.0	21.4	17.9	42.9	53.6	10.7	17.9	25.0	10.7	53.6	32.1	32.1	32.1	14.3	10.7	3.6
	市外	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3
年齢	60歳未満	25	48.0	12.0	32.0	60.0	20.0	16.0	20.0	48.0	36.0	24.0	40.0	36.0	24.0	36.0	16.0	44.0	12.0	20.0	8.0	8.0
	60代	49	44.9	10.2	28.6	44.9	20.4	30.6	42.9	30.6	24.5	16.3	42.9	28.6	51.0	49.0	38.8	40.8	16.3	22.4	2.0	4.1
	70代	39	25.6	10.3	23.1	38.5	12.8	20.5	43.5	17.9	12.8	12.8	5.1	2.6	20.5	20.5	28.2	28.2	12.8	12.8	-	20.5
	80歳以上	29	27.6	-	17.2	24.1	10.3	13.8	3.4	34.5	13.8	3.4	3.4	3.4	6.9	10.3	20.7	20.7	6.9	10.3	-	37.9
	10a(1反)未満	27	18.5	14.8	18.5	22.2	3.7	11.1	22.2	29.6	14.8	14.8	11.1	11.1	7.4	22.2	7.4	33.3	18.5	7.4	-	40.7
耕作面積	10~30a(1~3反)未満	47	29.8	4.3	14.9	44.7	17.0	23.4	34.0	19.1	23.4	8.5	23.4	19.1	34.0	23.4	31.9	25.5	8.5	12.8	2.1	25.5
	30~50a(3~5反)未満	30	30.0	6.7	33.3	43.3	13.3	23.3	56.7	23.3	13.3	10.0	23.3	16.7	40.0	33.3	33.3	43.3	13.3	13.3	3.3	3.3
	50a~1ha(5反~1町歩)未満	22	54.5	9.1	22.7	36.4	18.2	22.7	63.6	18.2	31.8	36.4	18.2	22.7	45.5	50.0	31.8	40.9	9.1	36.4	-	4.5
	1ha(1町歩)以上	10	70.0	20.0	30.0	70.0	40.0	40.0	30.0	40.0	60.0	10.0	60.0	60.0	20.0	50.0	30.0	30.0	20.0	30.0	10.0	-
	耕作していない	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-
今後5年所得間	なし(自家用のみ)	23	17.4	8.7	17.4	13.0	13.0	17.4	17.4	17.4	8.7	8.7	8.7	8.7	21.7	13.0	17.4	21.7	13.0	8.7	-	47.8
	50万円未満	29	24.1	10.3	6.9	27.6	17.2	20.7	6.9	20.7	6.9	6.9	17.2	13.8	24.1	17.2	27.6	24.1	10.3	13.8	-	41.4
	50~100万円未満	18	27.8	5.6	38.9	50.0	16.7	16.7	22.2	55.6	27.8	16.7	22.2	5.6	38.9	22.2	27.8	33.3	16.7	11.1	-	5.6
	100~200万円未満	28	57.1	7.1	21.4	53.6	14.3	28.6	28.6	50.0	17.9	25.0	28.6	25.0	46.4	25.0	42.9	32.1	14.3	25.0	3.6	3.6
	200~300万円未満	18	50.0	5.6	27.8	44.4	11.1	33.3	38.9	67.1	22.2	16.7	22.2	38.9	50.0	66.7	44.4	44.4	11.1	22.2	5.6	-
	300万円以上	23	43.5	8.7	26.1	56.5	26.1	30.4	56.5	21.7	30.4	17.4	34.8	13.0	34.8	47.8	13.0	47.8	13.0	17.4	-	-

※凡例：99.9 (太文字・下線)：第1位、99.9 (太文字)：第2位、99.9 (斜体)：第3位

## 6 あなた自身について

### (1) 営農地区

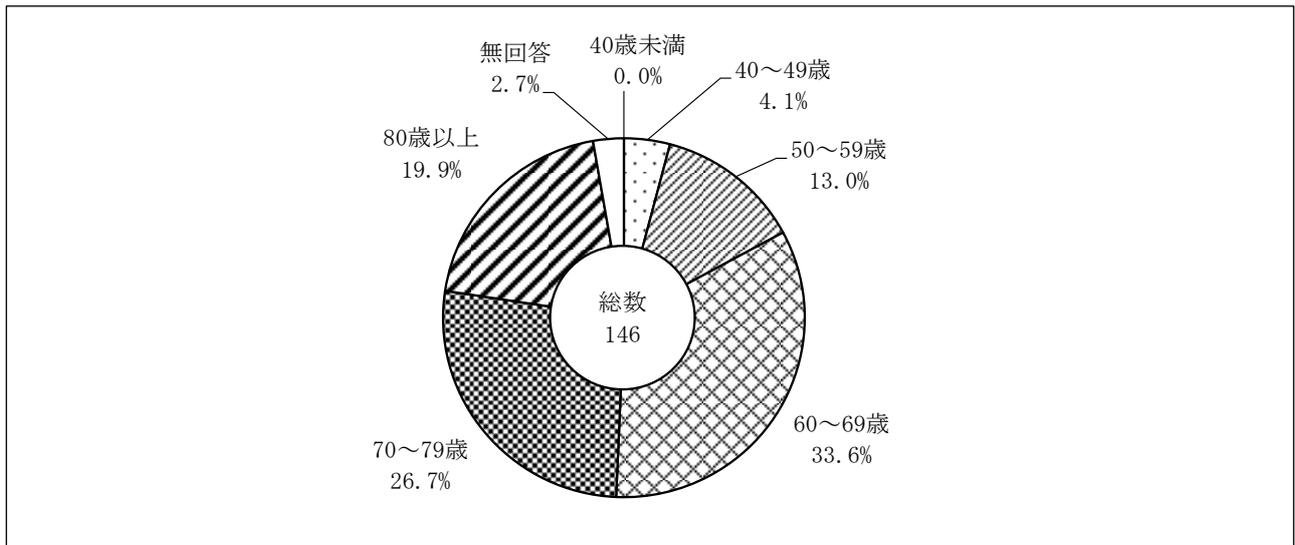
ご自身が耕作する農地のうち、主力となる作物（販売額や収入が多いもの）を作付している地区をお選びください。（1つだけに○）



「東町」が13.7%で最も多く、「貫井北町」（12.3%）、「緑町」（11.6%）、「前原町」（11.0%）、「梶野町」（10.3%）も10%以上と多くなっている。

## (2) 年齢

あなたの年齢を教えてください。(1つだけに○)

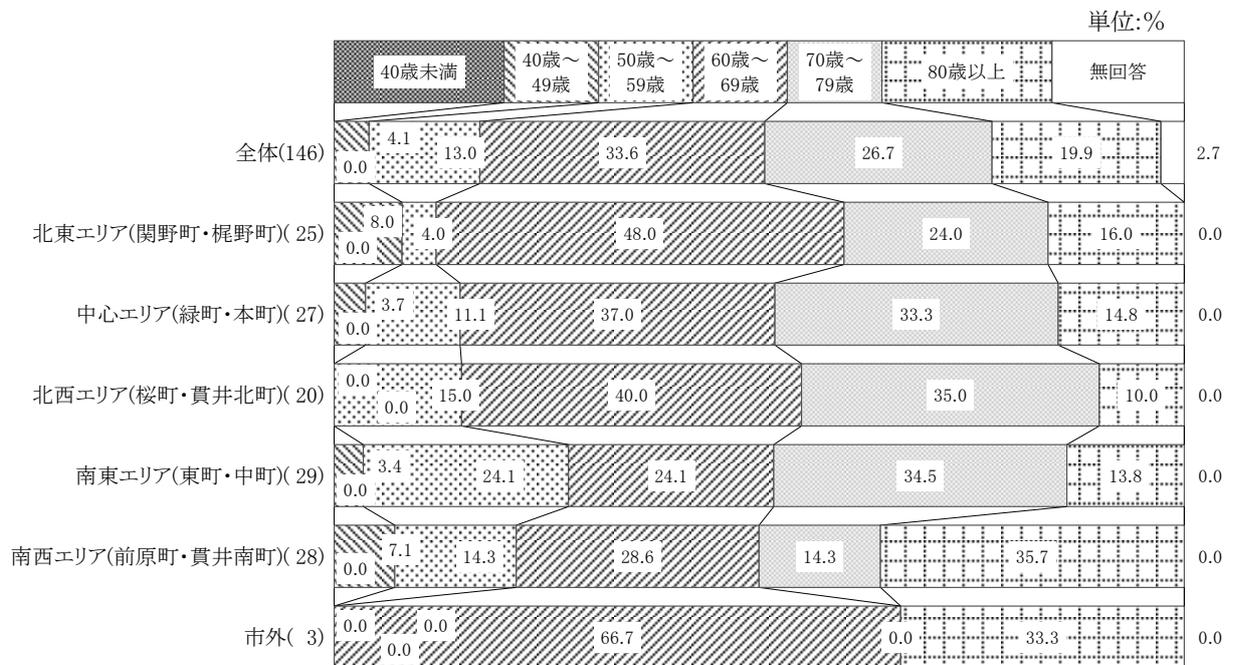


60歳以上が全体80%以上を占める。年齢別にみると「60～69歳」が33.6%で最も多く、「70～79歳」(26.7%)、「80歳以上」(19.9%)がこれに続いている。

### ■属性別■

#### 【地区】

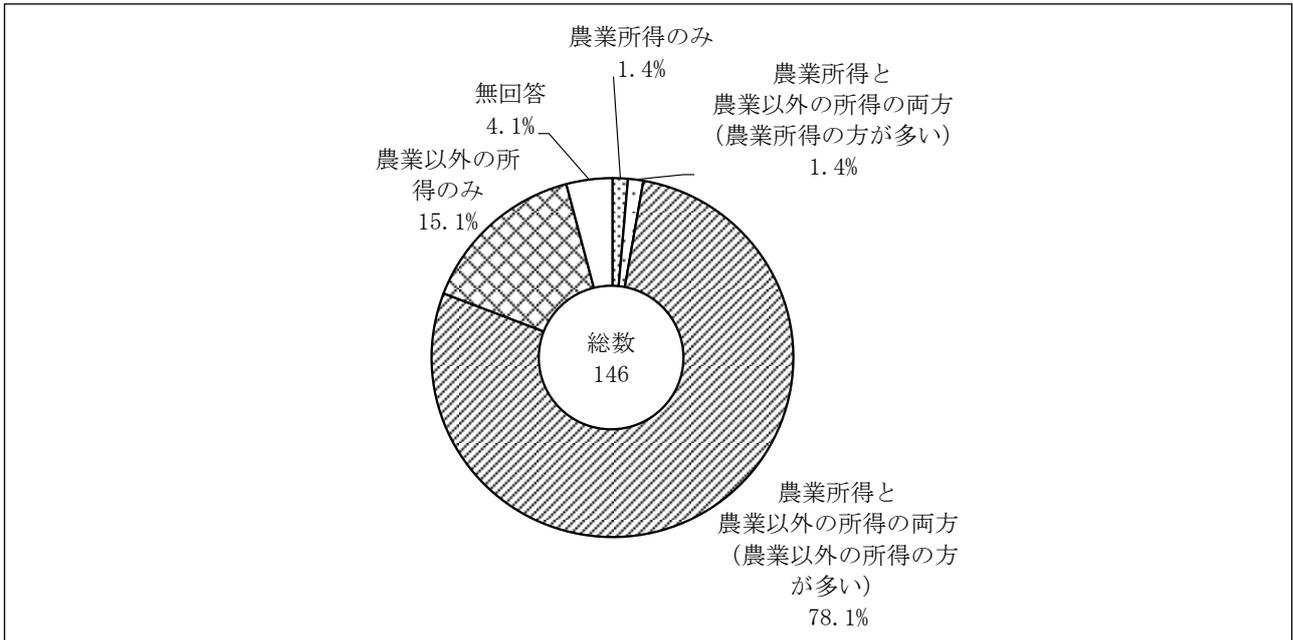
〈南西エリア(前原町・貫井南町)〉では「80歳以上」が30%台半ばと多い。また、〈南東エリア(東町・中町)〉では「50～59歳」が20%台半ばとなっており、比較的若い層が多い。



### (3) 所得構成

あなたの家の家計の主な構成は次のうちどれですか。(1つだけに○)

※農業以外の所得には不動産所得を含む。



「農業所得と農業以外の所得の両方 (農業以外の所得の方が多い)」が 78.1%と全体の 80%近くを占める。「農業所得のみ」と「農業所得と農業以外の所得の両方 (農業所得の方が多い)」はそれぞれ 1.4%と少ない。また、15.1%は「農業以外の所得のみ」と回答している。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

「農業所得のみ」は 60 代以下の年齢層では 0 となっている。「農業以外の所得のみ」は〈80 歳以上〉では 30 台と多い。

##### 【営農形態】

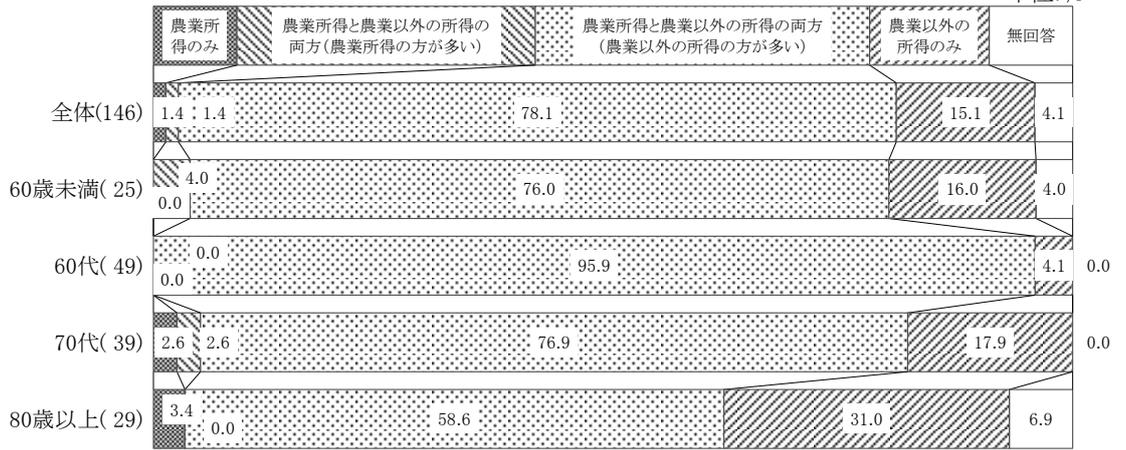
「農業所得のみ」は〈野菜と果樹の混合経営〉及び〈露地野菜を中心とした経営〉以外の属性では 0 となっている。「農業以外の所得のみ」は〈果樹を中心とした経営〉や〈植木・造園を中心とした経営〉で比較的多い。

##### 【耕作面積】

「農業所得のみ」は耕作面積が狭いほど多い傾向がみられ、〈10a (1 反) 未満〉では 30%台となっている。

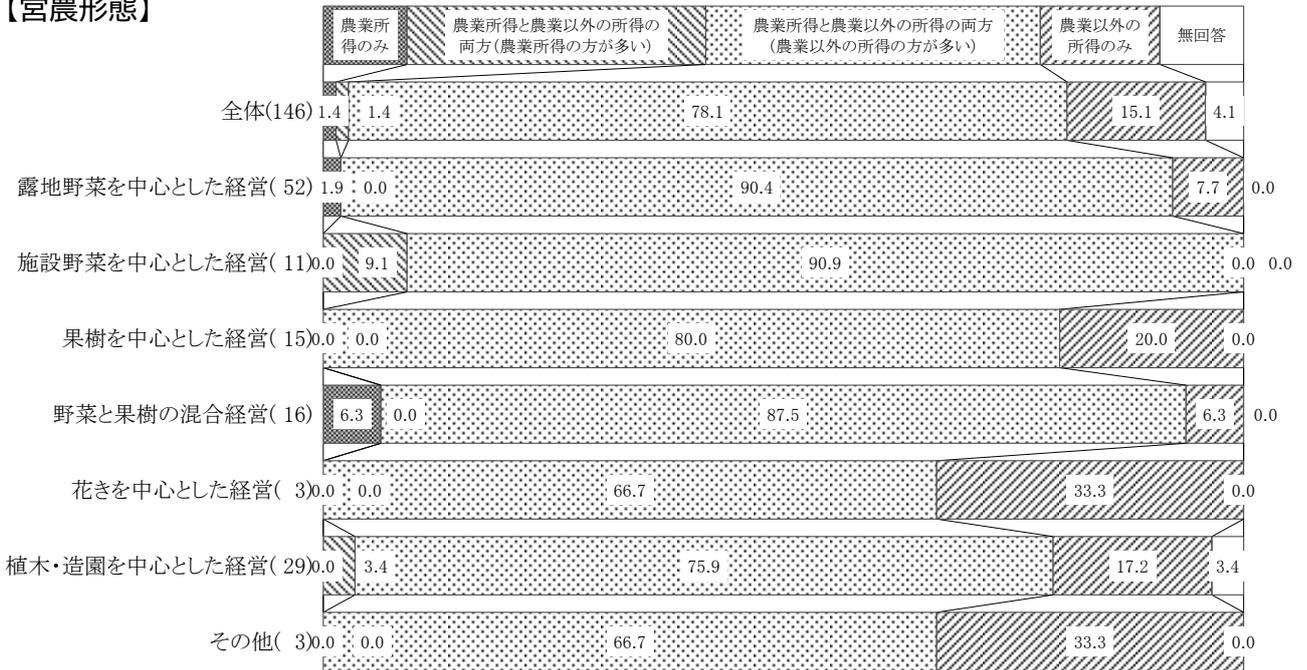
【年齢】

単位:%



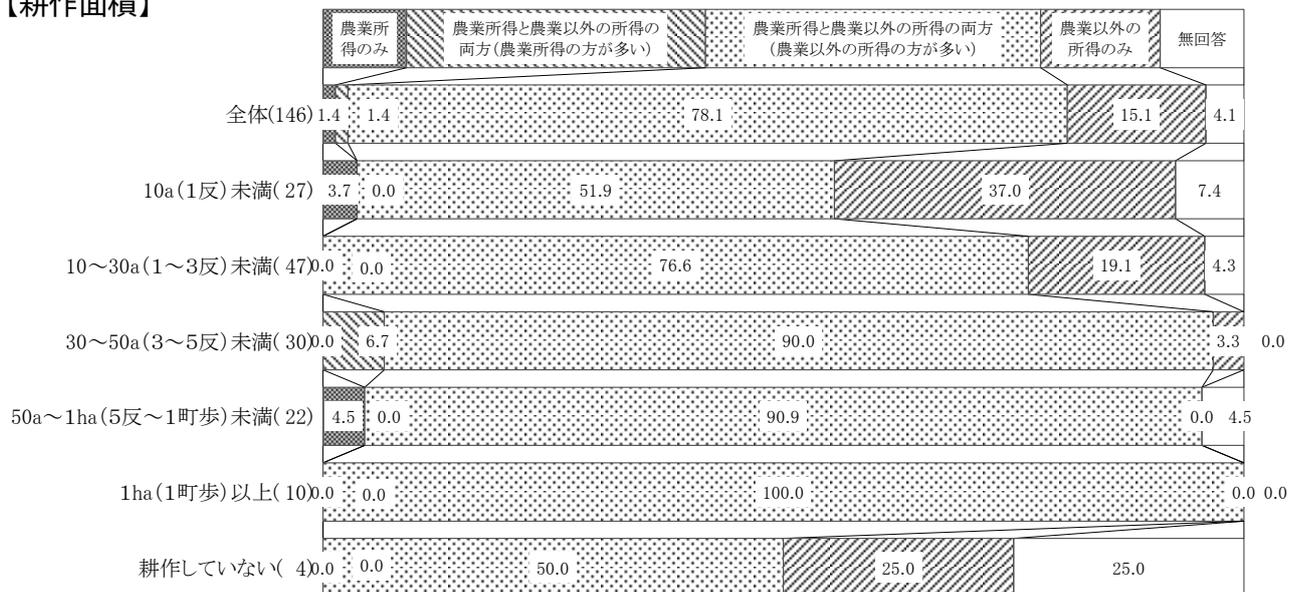
【営農形態】

単位:%



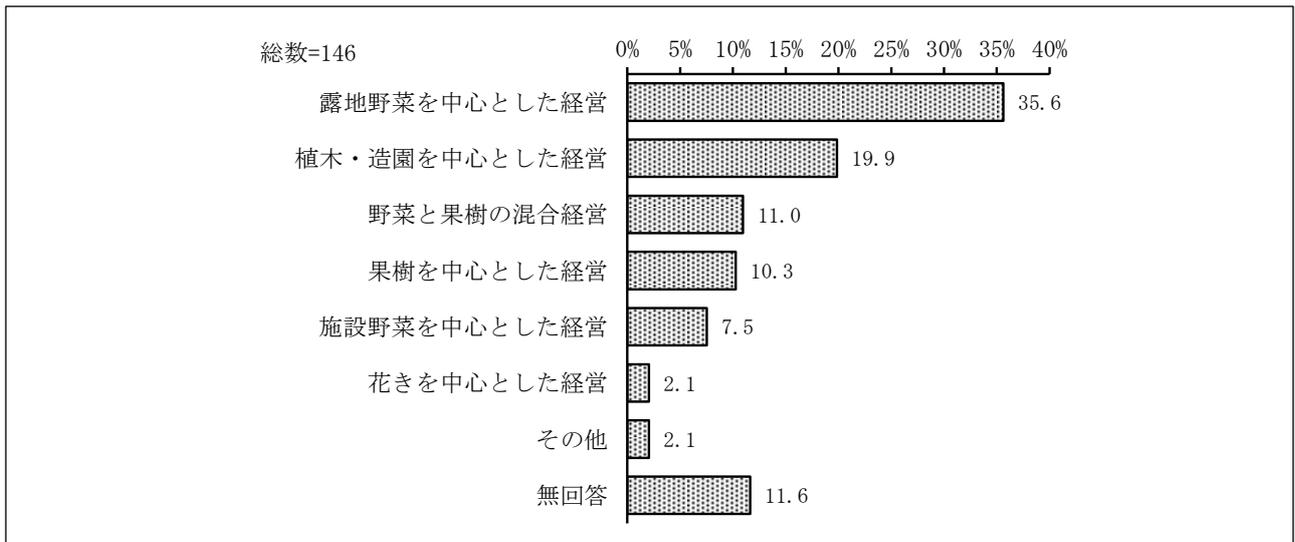
【耕作面積】

単位:%



#### (4) 営農形態

あなたの営農形態で最も近いものを教えてください。(1つだけに○)

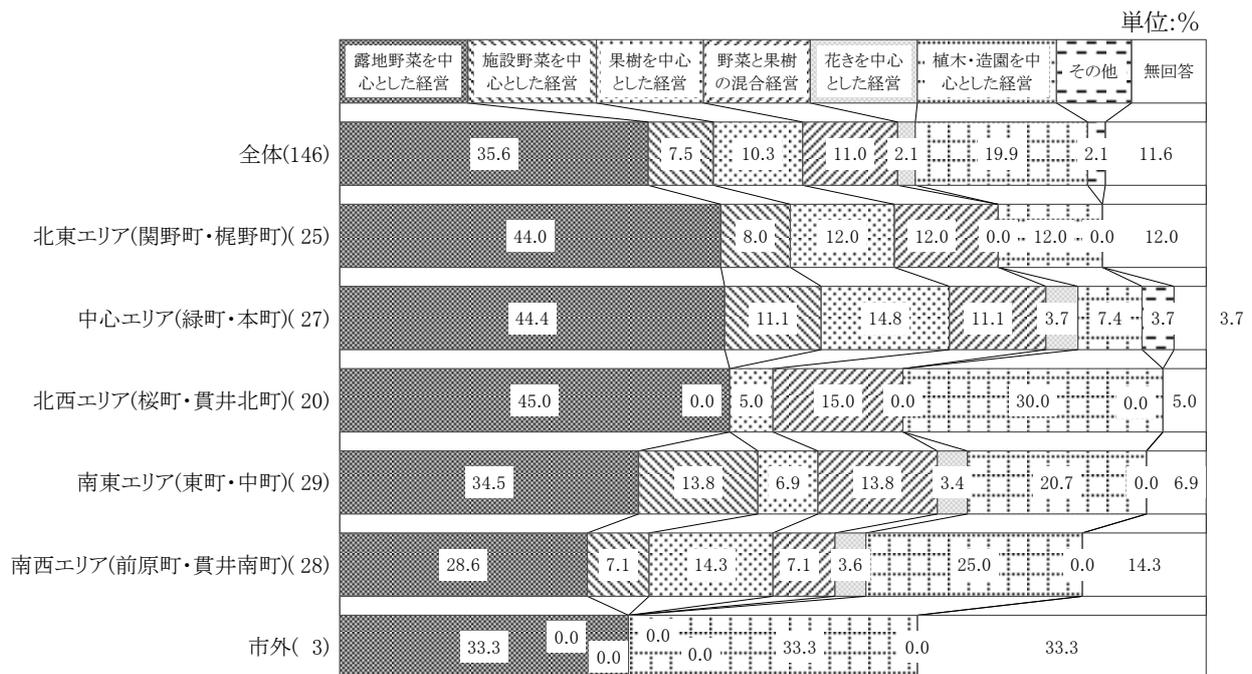


「露地野菜を中心とした経営」が 35.6%で最も多く、「施設野菜を中心とした経営」(7.5%)を加えると 40%以上が野菜中心となっている。また、「植木・造園を中心とした経営」も 19.9%と比較的多い。

#### ■属性別■

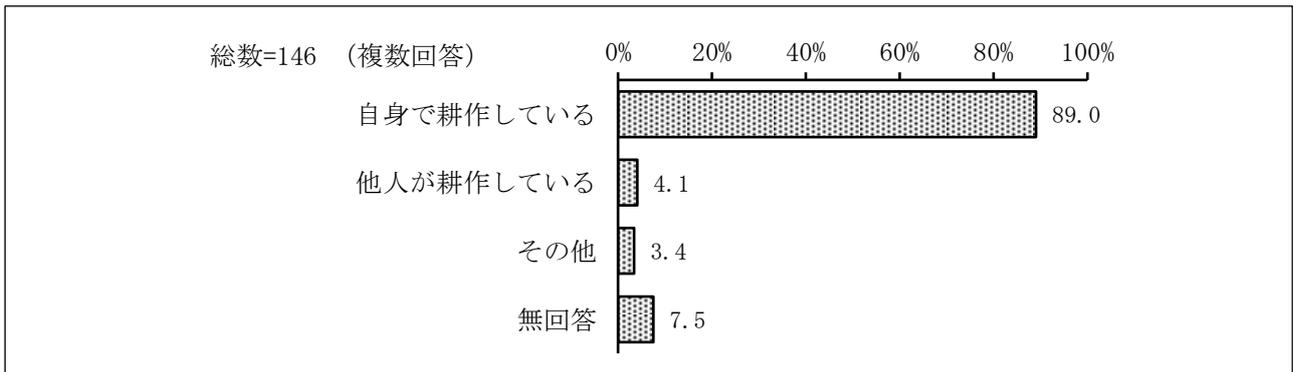
##### 【地区】

「露地野菜を中心とした経営」は〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉、〈中心エリア(緑町・本町)〉〈北東エリア(関野町・梶野町)〉で 40%台と多い。また、「植木・造園を中心とした経営」は〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉で 30%と多い。



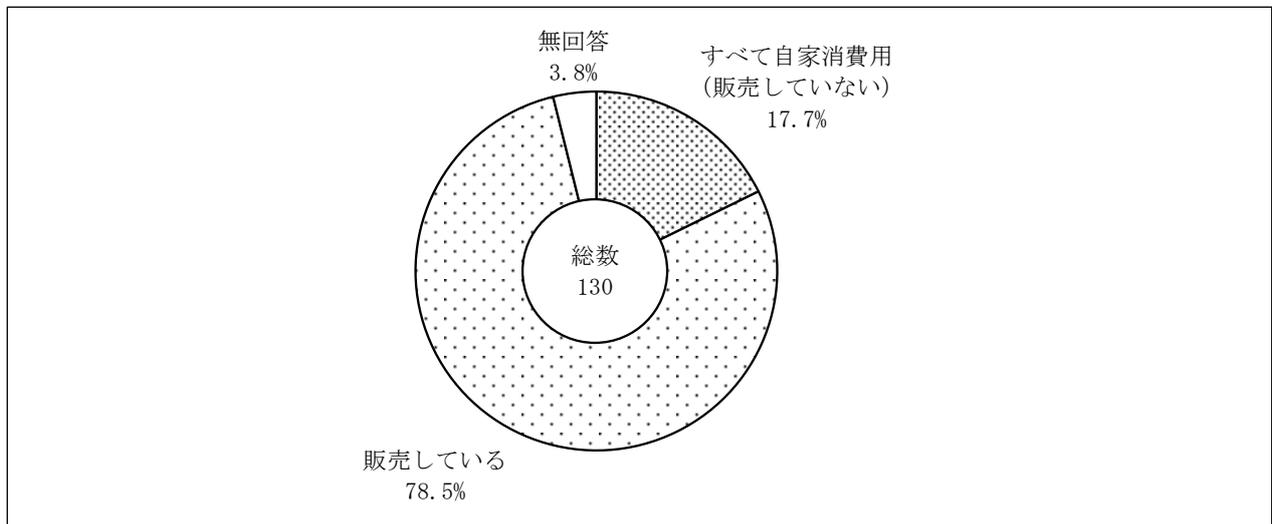
## (5) 所有している農地の利用状況

あなたが所有している小金井市内の農地の利用状況について教えてください。(いくつでも○)



全体約 90%が「自身で耕作している」と回答しており、「他人が耕作している」は 4.1%にとどまっている。

### (5) -1 自身で耕作している場合の販売状況



78.5%は「販売している」と回答しており、「すべて自家消費 (販売していない)」は 17.7%となっている。

## ■属性別■

### 【年齢】

「すべて自家消費 (販売していない)」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

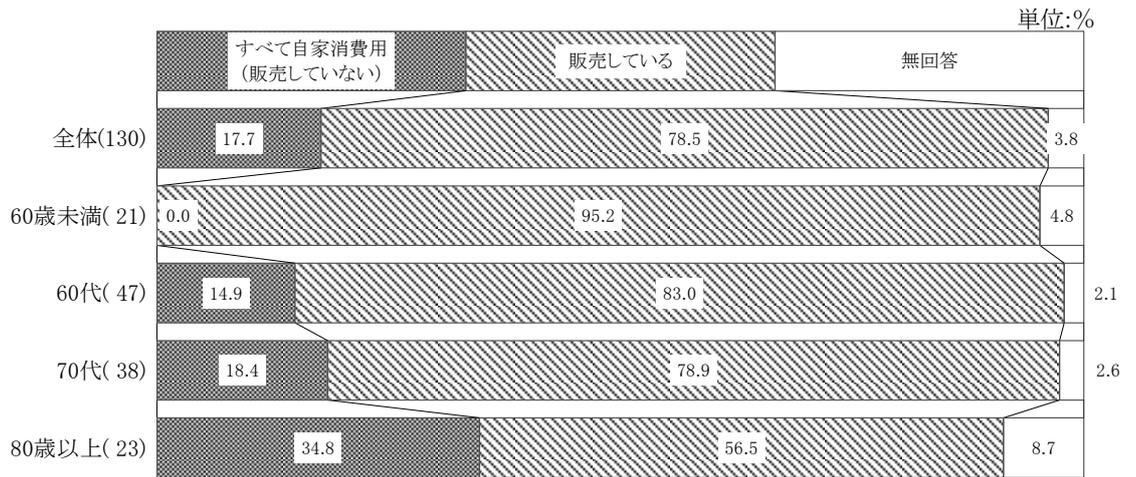
### 【営農形態】

「すべて自家消費 (販売していない)」は〈植木・造園を中心とした経営〉で 30%以上と多いほか、〈野菜と果樹の混合経営〉では 20%弱、〈露地野菜を中心とした経営〉では一桁台であるが存在している。

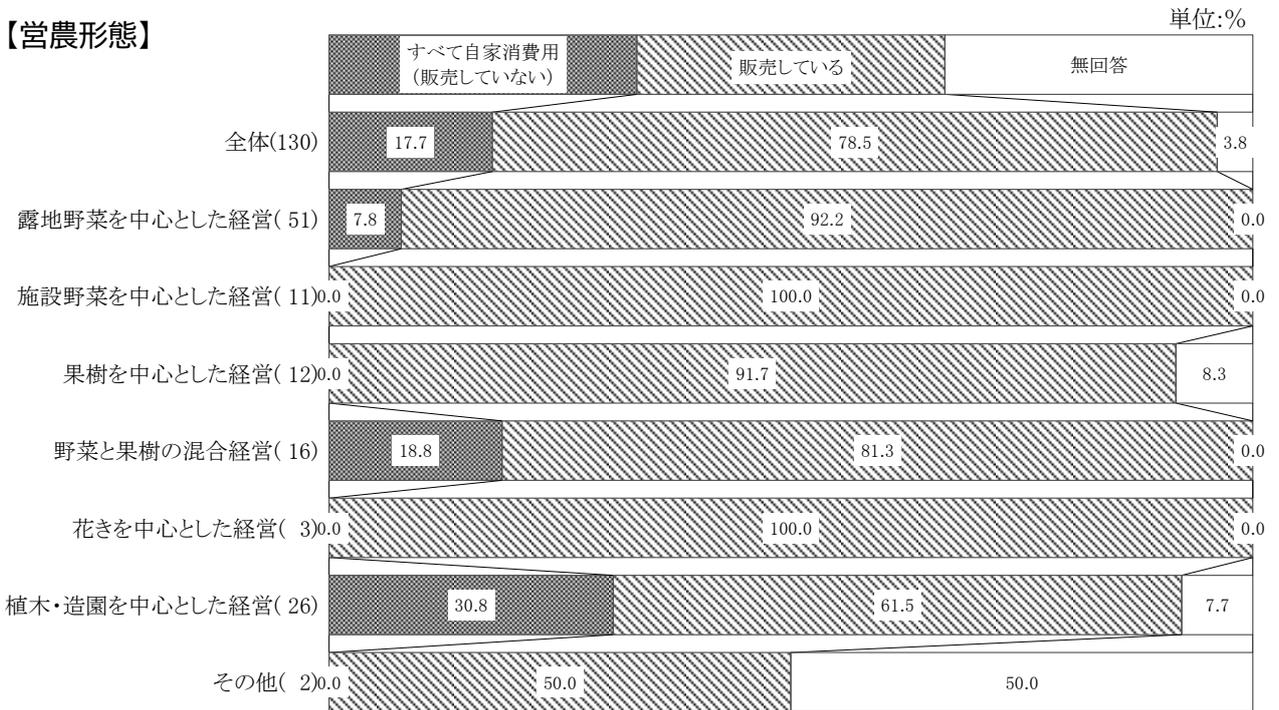
### 【耕作面積】

「すべて自家消費 (販売していない)」は耕作面積が狭いほど多い傾向がみられ、〈10a (1反) 未満〉で 30%台となっている。

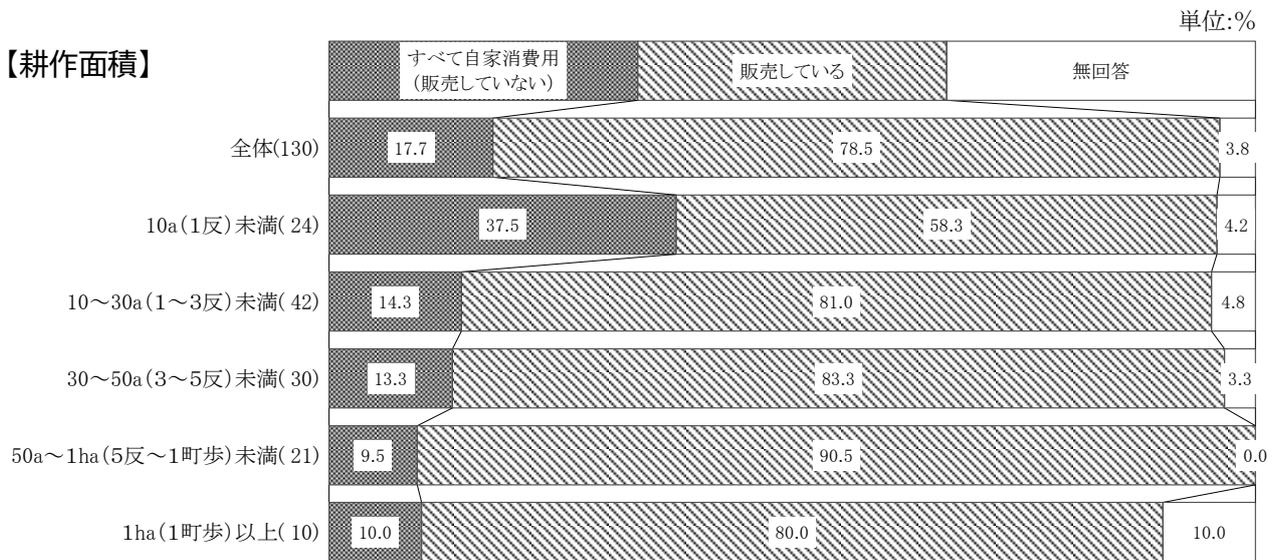
【年齢】



【営農形態】



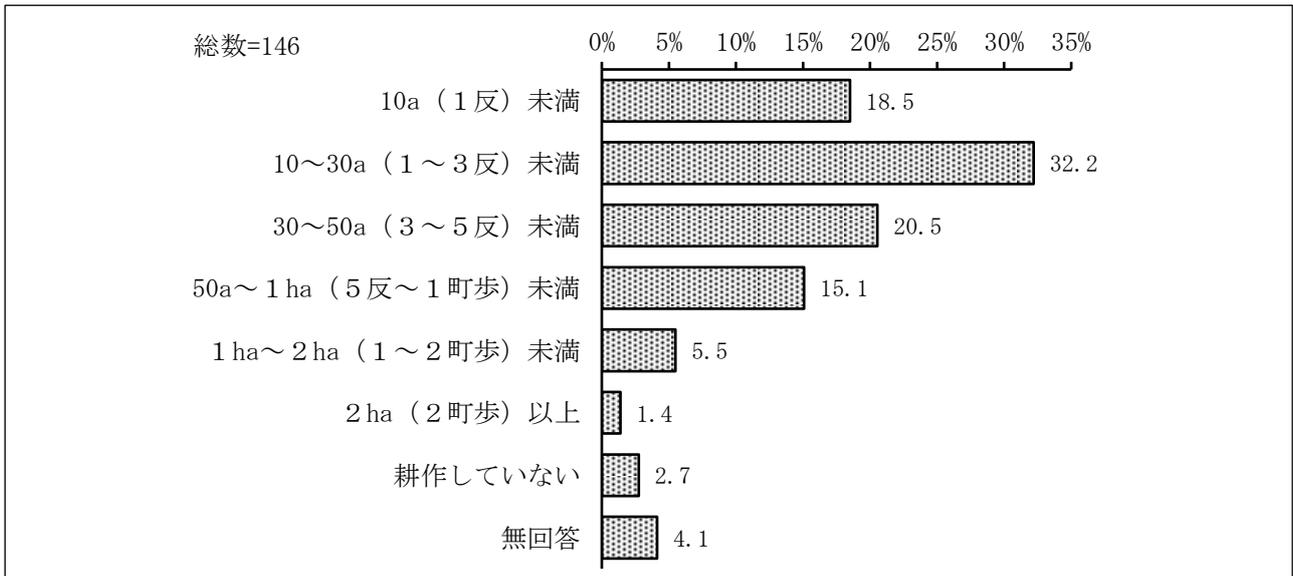
【耕作面積】



耕作していない(0)

## (6) 耕作している農地面積

あなたが耕作している農地の面積を教えてください。(1つだけに○)  
 ※借りている農地での耕作面積も含む。



「10~30a (1~3反) 未満」が32.2%で最も多く、30a未満が過半数を占める。

30a以上では、「30~50a (3~5反) 未満」が20.5%、「50a~1ha (5反~1町歩) 未満」が15.1%となっているものの、1ha以上は6.9%にとどまっている。

### ■属性別■

#### 【地区】

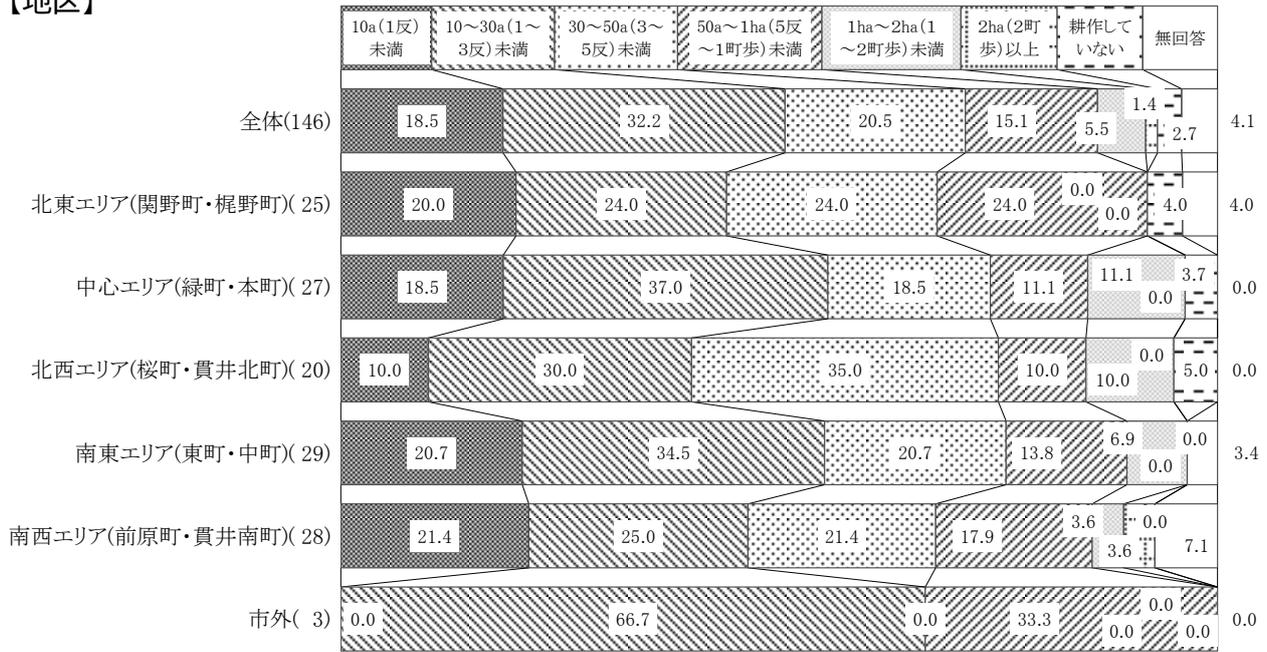
30a (3反) 未満は〈中心エリア(緑町・本町)〉及び〈南東エリア(東町・中町)〉では50%を超え、比較的小規模な農家が多い。一方、〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉は30a (3反) 以上が50%以上と比較的規模の大きな農家が多い。また、〈中心エリア(緑町・本町)〉及び〈北西エリア(桜町・貫井北町)〉では1ha以上の農地が10%以上となっている。

#### 【営農形態】

〈露地野菜を中心とした経営〉では30a (3反) 未満が60%を超えており、小規模な農家が多い。〈施設野菜を中心とした経営〉も10~50a (1~5反) が60%を占めており、比較的小規模な農家が多くなっている。〈野菜と果樹の混合経営〉は「50a~1ha (5反~1町歩) 未満」が40%台と多く、比較的規模が大きい。

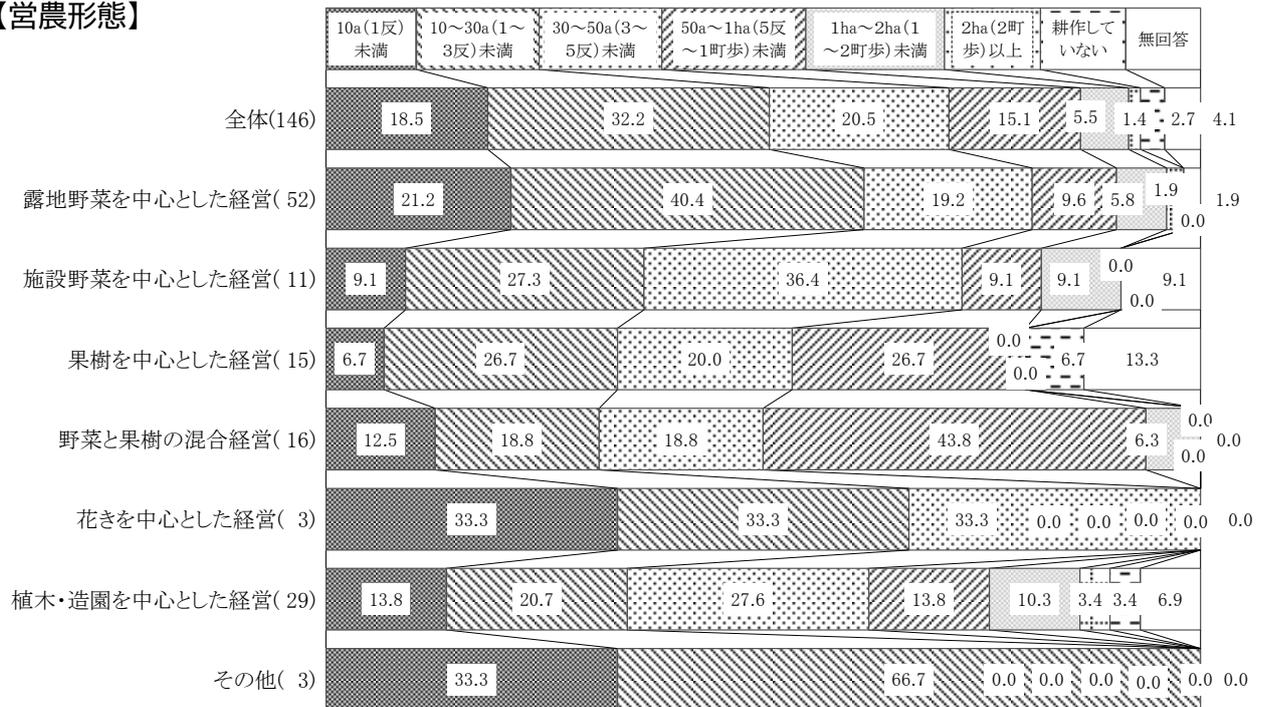
【地区】

単位:%



【営農形態】

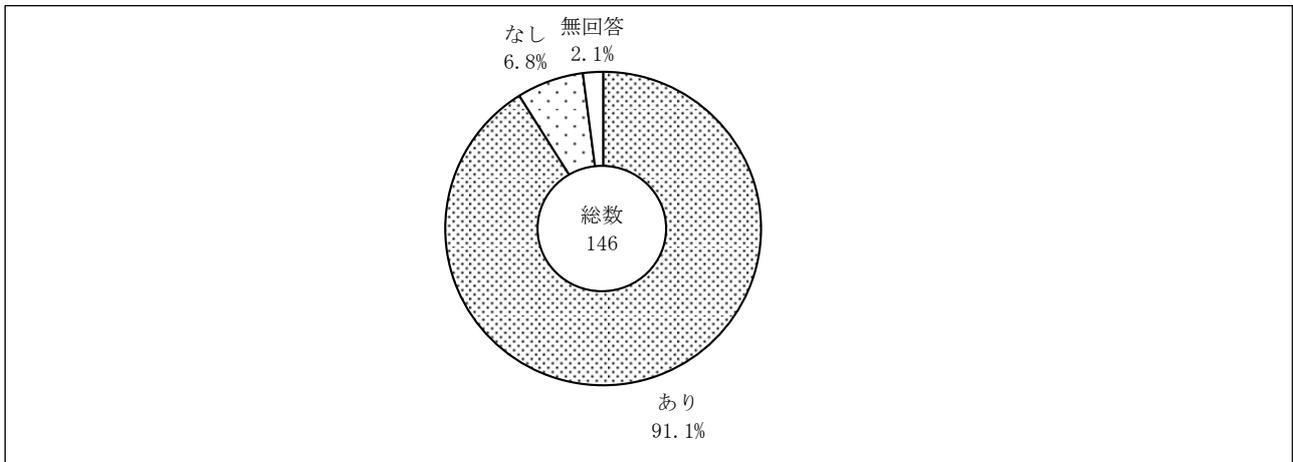
単位:%



## (7) 農業従事者の人数

農業に従事している人数を教えてください。(それぞれ1つだけに○)

### (7) -1 回答者本人を含めた家族従事者の有無

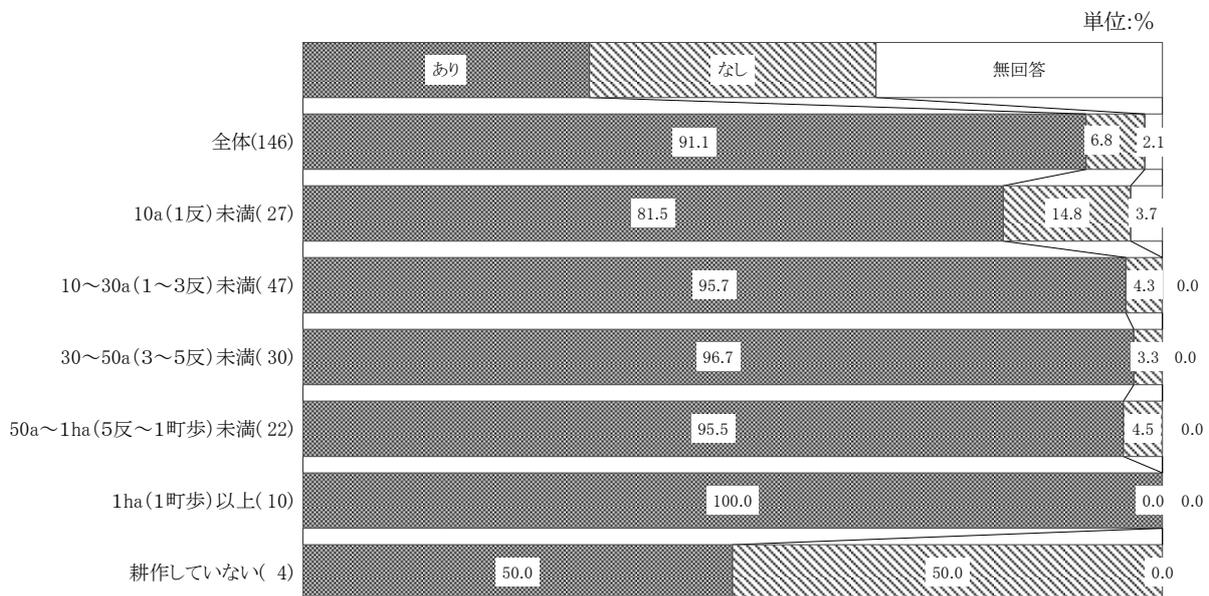


家族従業者「あり」が91.1%を占める。

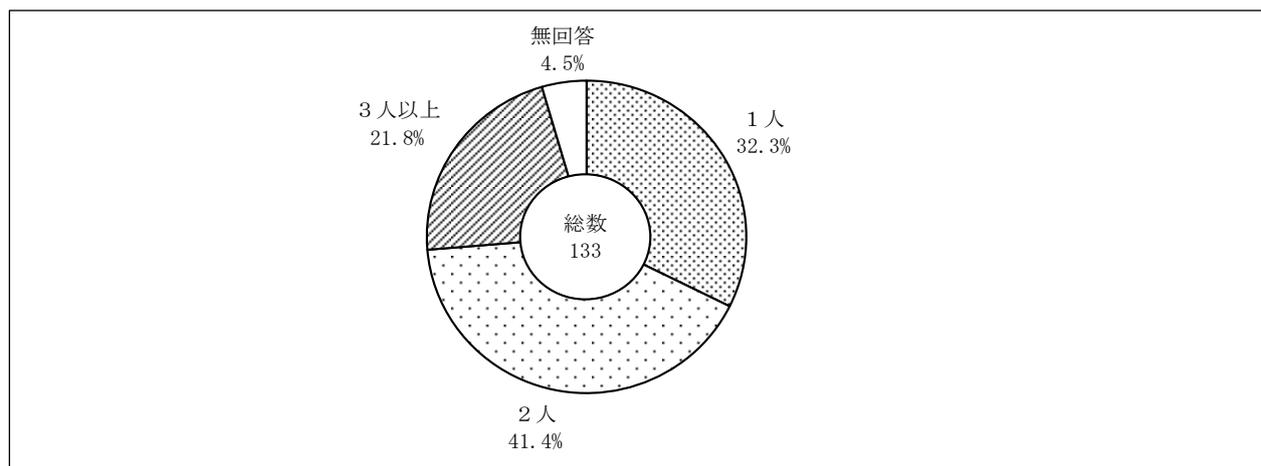
### ■属性別■

#### 【耕作面積】

「なし」は〈10a (1反) 未満〉で10%台半ばと多い。



### (7) -1-a 家族従事者の人数



家族従業者の人数は「2人」が41.4%で最も多く、「1人」は32.3%、「3人以上」が21.8%と、2人以下が全体の70%以上を占めている。

#### ■属性別■

##### 【年齢】

「2人」は年齢層が高いほど多く、「3人以上」は年齢層が低いほど多いという傾向がみられる。

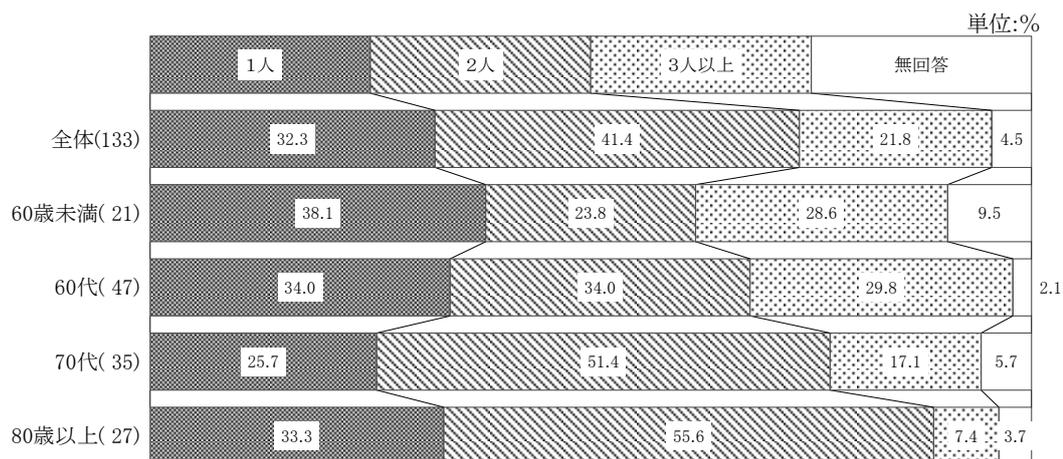
##### 【営農形態】

「2人」は〈果樹を中心とした経営〉で60%以上と多い。「3人以上」は〈施設野菜を中心とした経営〉で70%と多い。

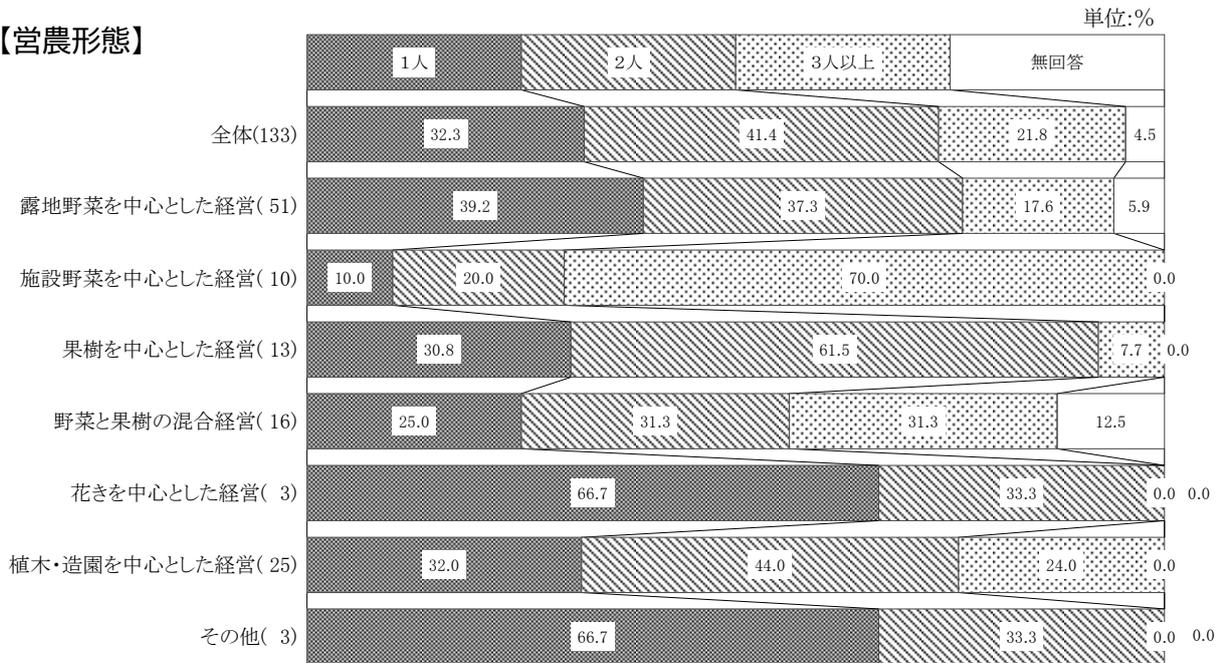
##### 【耕作面積】

「3人以上」は耕作面積が広いほど多い傾向がみられる。

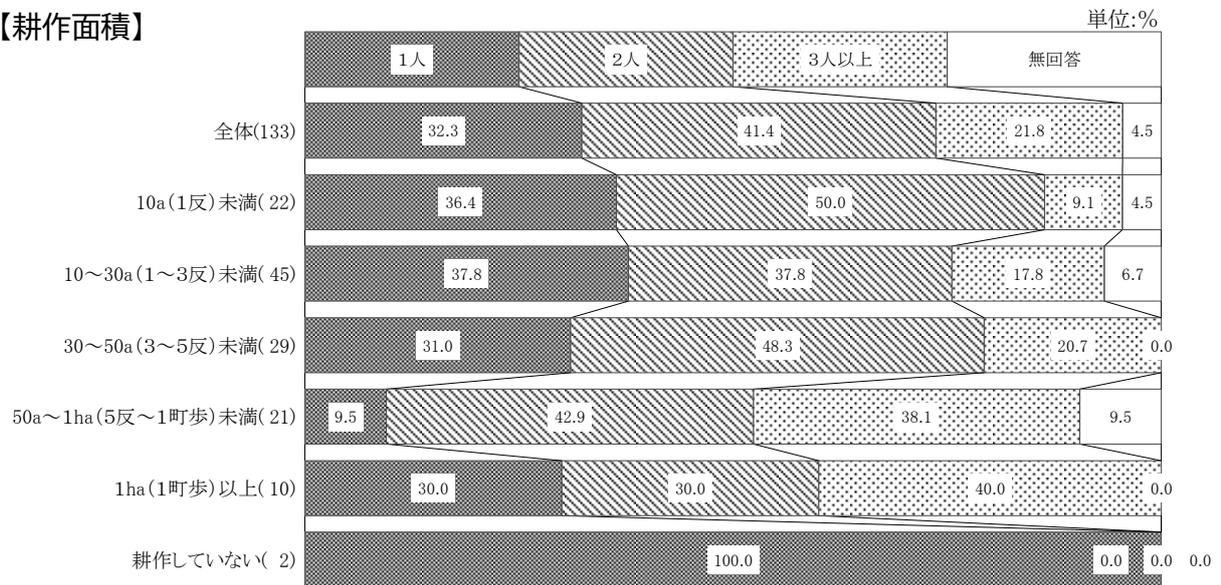
##### 【年齢】



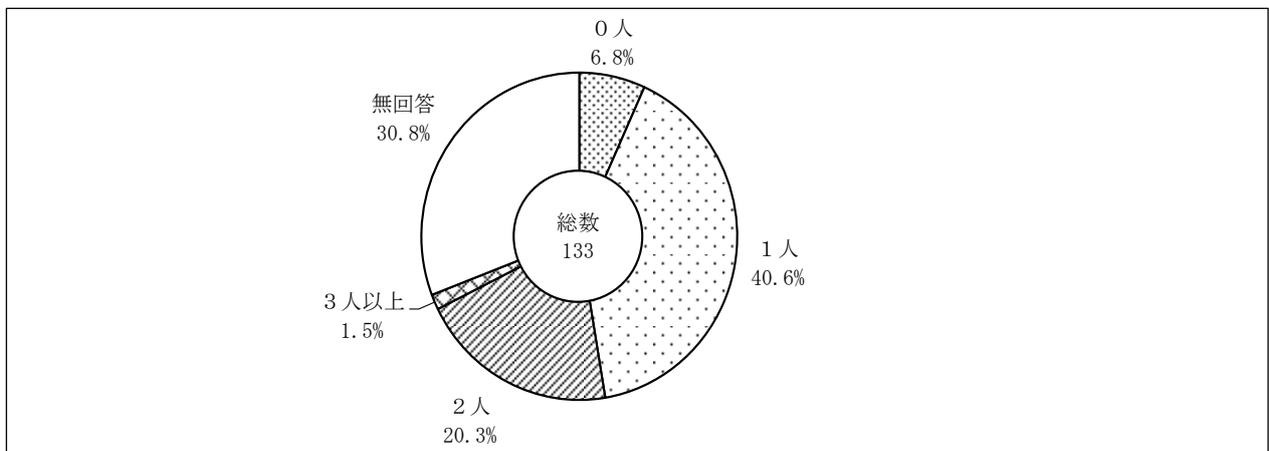
【営農形態】



【耕作面積】

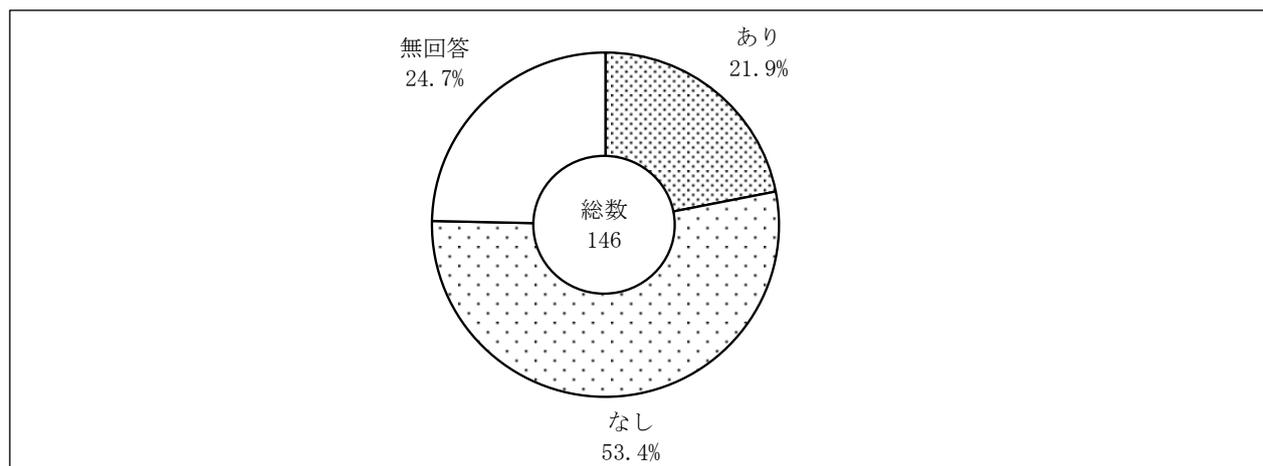


(7) - 1 - b 65歳以上の家族従事者の人数



65歳以上の家族従業者の人数は「1人」が40.6%で最も多く、「2人」が20.3%、「0人」が6.8%で続いており、「1人」もしくは「2人」が全体の60%を占める。

## (7) -2 家族以外の従事者の有無



家族以外の従事者がいるのは21.9%となっている。

### ■属性別■

#### 【年齢】

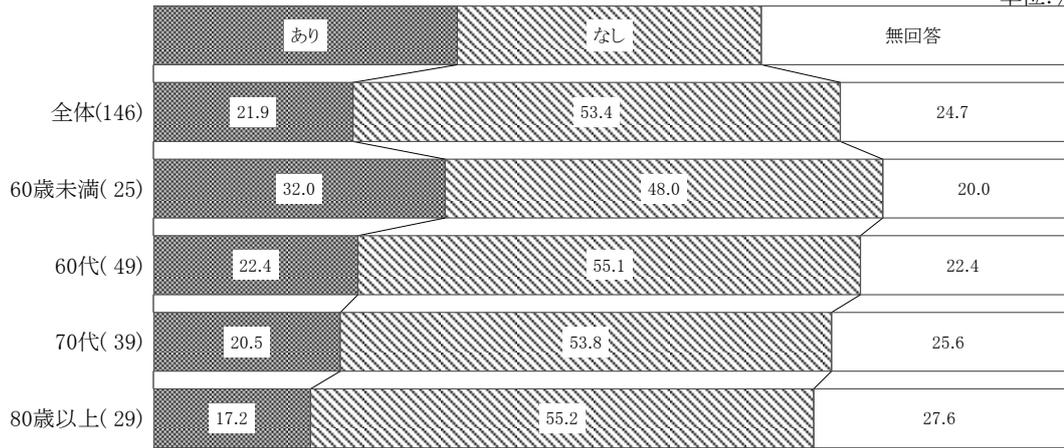
「あり」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

#### 【耕作面積】

「あり」は〈10a（1反）未満〉では0となっているが、10～1ha（1反～1町部）では20～30%程度、〈1ha（1町部）以上〉では60%となっている。

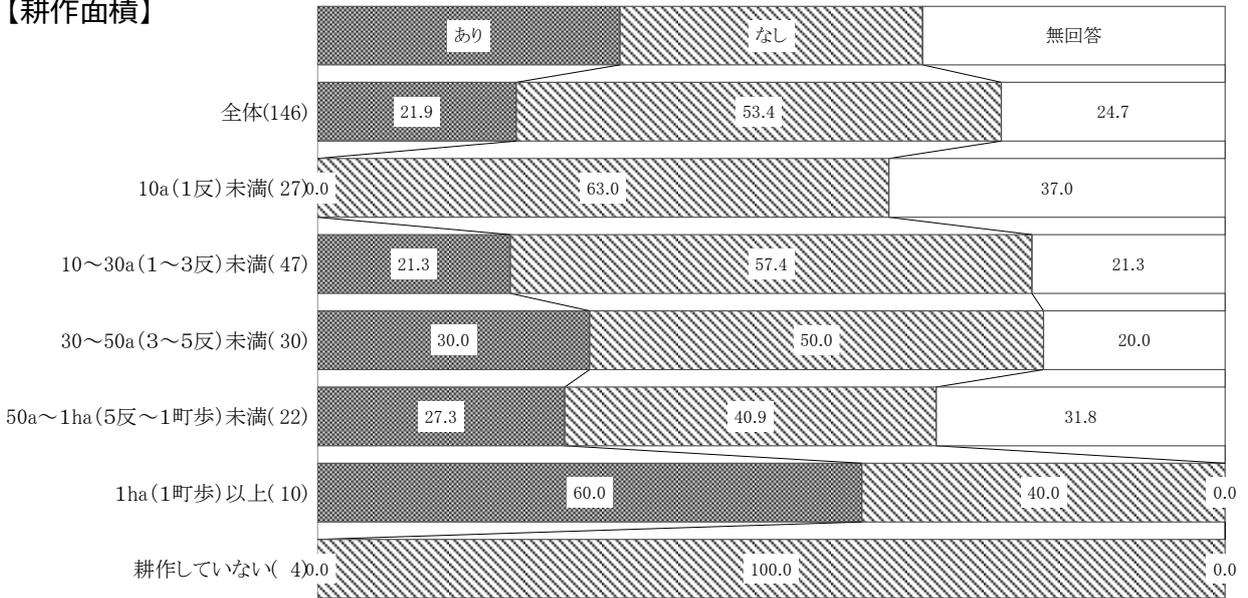
【年齢】

単位:%

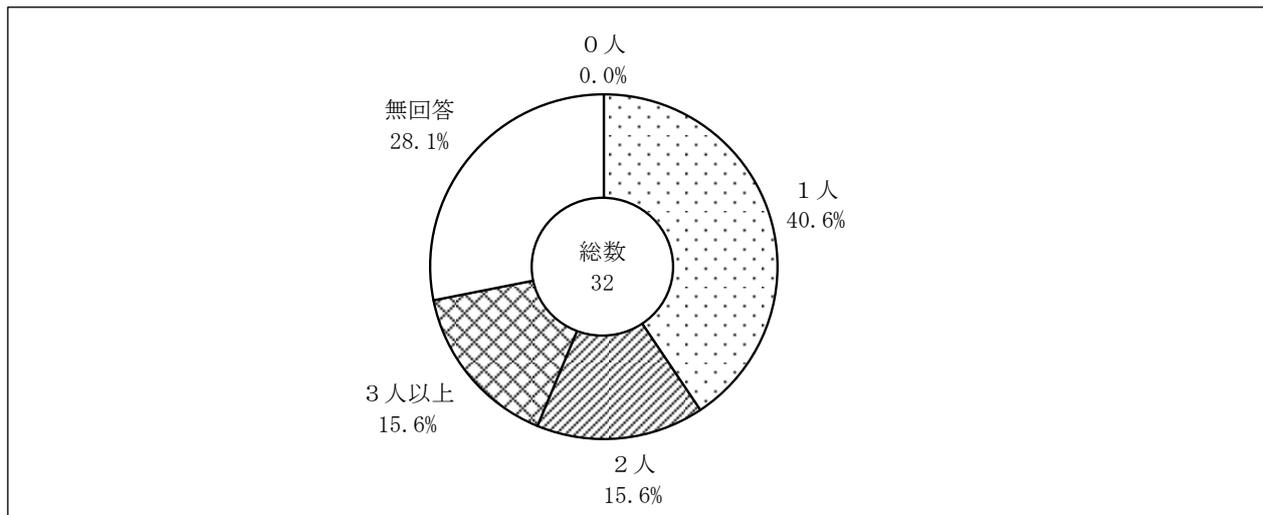


【耕作面積】

単位:%

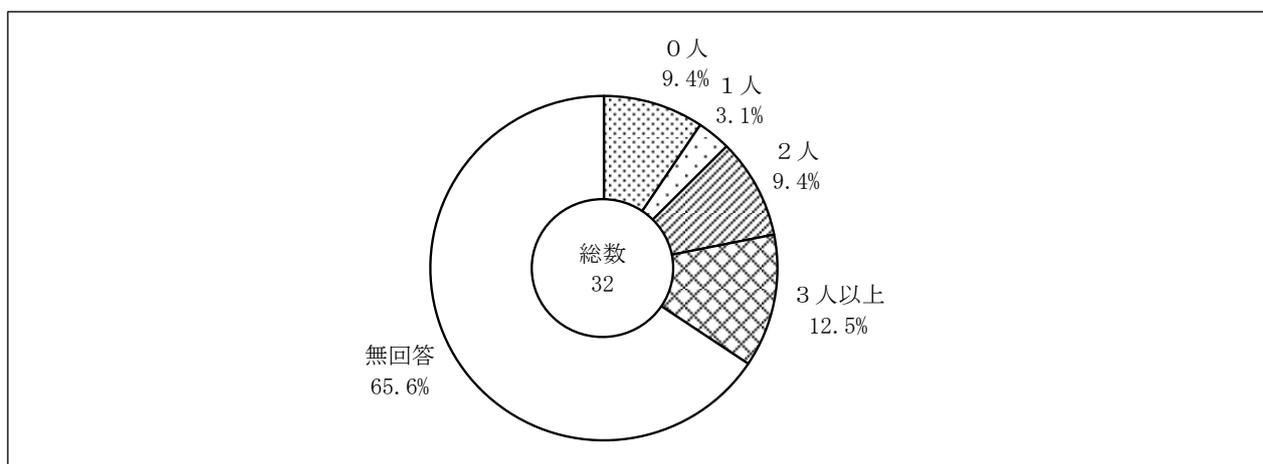


(7) -2-a 家族以外の従事者の雇用人数



雇用人数は「1人」が40.6%で最も多く、「2人」もしくは「3人以上」はそれぞれ15.6%となっている。

(7) -2-b 援農ボランティアの雇用人数



援農ボランティアの雇用人数は「3人以上」が12.5%で最も多く、「2人」が9.4%、「1人」が3.1%、「0人」は9.4%となっている。

## 7 小金井市農業を発展させるアイデアについて（自由意見）

146 件のうち 22 件で自由意見の回答があった。記述内容については、個人情報等を割愛し、誤字脱字等を修正しているが、それ以外は原文のままとしている。

No.	自由意見	年齢
1	○利益の出る農業（価格設定）。 ○特産品を作る（オリジナル品種、加工品など）。 ○市民の方々が体験でき農家に利益が出る仕組み。	40 代
2	地域コミュニティとの連携を増やして行く必要があると思います。開かれた農業にしていきたいです。	40 代
3	○健全な農業経営、作業効率化、生産物価値、品質向上の為、経営者による GAP（JGAP、都 GAP、エコ農産等）認証の取得とその支援。 ○小規模営農者に対する支援の強化、各機関からの指導、提案。 ○新技術導入による所得の増加、そのための設備支援。	50 代
4	小金井市（職員、市長が直売所を運営する）。	50 代
5	相続税について検討していただきたい。	50 代
6	農産物販売場所の市報以外での紹介。外に向けての小金井農業の情報発信。	60 代
7	後継者の確保。後継者への情報提供（制度）。他地区の紹介等。	60 代
8	地産地消を軸としていく。農家と飲食店とのマッチングが重要。農協、庭先販売など地場産野菜を販売する際、少々安価で販売する。	60 代
9	農作物の販路が広がれば増産に繋がります。現状では売り切れず処分するものも多いです。販売支援が必要です。	60 代
10	減農薬野菜を意識されている飲食店と生産農家を認定し、その飲食店に生活保護等で食事が食べられない児童に保留食を用意し、食べてもらうシステムを構築するので、今後説明に伺います。	60 代
11	果樹用施設の補助も良いのですが、安価なハウスを数建てる方が耕作面積も増えて、工夫すれば冬でも無加温で作物の栽培が出来ます。端境期の対策に農薬散布にも有効だと思います。	60 代
12	ブランド化。関連企業とのタイアップ。	60 代
13	ミルクラインの充実。	60 代
14	住宅地に点在する農地の存在価値を見いだす。 多くの農家が貸家、駐車場などの不動産収入で生活が成り立っていると思われませんが、農業収入の意義ある位置づけ。	70 代
15	都立小金井公園で食物残渣と植木剪定の枝で堆肥を大量に作ってほしい。市営の農園を作ってほしい。	70 代
16	学校給食への補助（農業振興連合会から）。	70 代

No.	自由意見	年齢
17	市内で生産物が活発に売られる様にと思います。 又農業者も良い生産物を潤沢に努力する必要あり。	80歳以上
18	小学校での地産地消についての取り組みや学習など、子どもたちへの働きかけを通じて、家庭内にも地元野菜の良さを知らせてほしいです。	80歳以上
19	高齢にて先がないので考えられません。	80歳以上
20	高収益作物の作付け、販売、PR。販路の拡大。	80歳以上
21	市民に農業が楽しく分かるイベントなどを開催する。	80歳以上
22	私は農耕作業は好きです。70歳過ぎて体力向上目的を兼ねてやるには良いと思います。でも我が家の畑地は今の狭さになってしまいました。このあたりの人口がずいぶん増えましたからね。ですから、「農業を発展させるアイデア」は私には分かりません。すみません。	無回答